

首都大学東京  
平成 25 (2013) 年度  
研究年報

第 1 0 号

平成 2 7 年 1 月



## 序

### 研究年報(第10号)の発刊にあたって

平成17年4月に新たな総合大学である首都大学東京を開学して早くも10年が経過した。首都大学東京では、「大都市における人間社会の理想像の追求」を大学の使命として、①都市環境の向上、②ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築、③活力ある長寿社会の実現をキーワードに掲げ、大都市の現場に立脚した教育研究を目指すこととした。

首都大学東京健康福祉学部と大学院人間健康科学研究科では、社会科学から生命科学に亘る基礎と臨床・臨地を含む広範な領域をテーマとして研究を行っている。保健・医療・福祉の専門職への社会の要請と期待に応えるべく、看護学科・理学療法学科・作業療法学科・放射線学科を備え、また大学院では看護科学域、理学療法科学域、作業療法科学域、放射線科学域、フロンティア・ヘルス・サイエンス学域、ヘルス・プロモーション・サイエンス学域を備え、都民の健康・保健・医療の向上に寄与できるスペシャリストや、専門分野において指導的役割を果たす高度実践的専門家を育成することを基本理念に、深く豊かな人間性をもつ人材の育成を目指している。東京都医学研究機構及び東京都健康長寿医療センターとの連携や、都立病院をはじめとした医療機関や福祉施設との研究・教育における協力関係や学術情報のネットワーク化など、地域保健医療の拠点として積極的な展開を図っている。

研究成果の還元においては、産学公連携センターが取りまとめている研究シーズ集による研究成果の公開、日本保健科学学会の活動を通じた研究推進や情報交換が挙げられる。

今回発刊する研究年報第10号は、平成25年度の研究活動の成果を取りまとめたものである。この冊子を通して、本学部での研究活動に対する理解を深めていただくとともに、研究活動のより一層の活性化につながればと願っている。

平成27年1月

首都大学東京  
健康福祉学部長 人間健康科学研究科長  
木下正信



# 目次

## 学部長

教授 木下 正信…………… 3

## 看護学科

学科長 飯村 直子…………… 7

教授 勝野 とわ子…………… 9

教授 齊藤 恵美子……………10

教授 西村 ユミ……………11

教授 安達 久美子……………14

教授 河原 加代子……………16

教授 猫田 泰敏……………18

教授 山村 礎……………19

准教授 飯塚 哲子……………20

准教授 石川 陽子……………21

准教授 木村 千里……………22

准教授 島田 恵……………23

准教授 清水 準一……………25

准教授 習田 明裕……………26

准教授 園部 真美……………28

准教授 種吉 啓子……………29

准教授 福井 里美……………30

准教授 三浦 里織……………32

准教授 山本 美智代……………34

准教授 渡邊 知佳子……………35

助教 新井 清美……………36

助教 坂田 清美……………38

助教 戸村 ひかり……………39

助教 増谷 順子……………40

助教 三輪 聖恵……………41

## 理学療法学科

学科長 池田 誠……………45

教授 新井 光男……………46

教授 新田 収……………47

教授 網本 和……………49

教授 易 勤……………51

教授 竹井 仁……………52

教授 山田 拓実……………56

准教授 池田 由美……………57

准教授 来間 弘展……………58

准教授 古川 順光……………59

助教 宇佐 英幸……………60

助教 神尾 博代……………61

助教 信太 奈美……………62

## 作業療法学科

学科長 石井 良和……………65

教授 小林 法一……………67

教授 大嶋 伸雄……………70

教授 菊池 吉晃……………72

教授 繁田 雅弘……………74

教授 渡辺 賢……………76

准教授 伊藤 祐子……………77

准教授 井上 薫……………79

准教授 蘭牟田 洋美……………81

准教授 谷村 厚子……………83

准教授 橋本 美芽……………84

准教授 ボンジェ・ベーター……………86

准教授 宮本 礼子……………87

助教 石橋 裕……………88

## 放射線学科

学科長 福士 政広……………93

教授 小倉 泉……………97

教授 安部 真治……………98

教授 齊藤 秀敏……………101

教授 古川 顕……………103

教授 八木 一夫……………105

准教授 大谷 浩樹……………109

准教授 加藤 洋……………111

准教授 眞正 浄光……………112

准教授 関根 紀夫……………115

准教授 妹尾 淳史……………116

准教授 乳井 嘉之……………117

准教授 沼野 智一……………118

准教授 明上山 温……………120

助教 井上 一雅……………121

## 《表記方法等》

- 1 研究活動の掲載期間は、2013年4月から2014年3月までである。
- 2 著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。
- 3 学術論文は、原著、総説、速報、短報、技術報告、3頁以上の学会抄録、英文抄録を含んでいる。
- 4 その他は、2頁以下の学会抄録、講演、巻頭言、エディトリアル、映画、ビデオ、新聞・雑誌取材を含んでいる。
- 5 外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している。

健康福祉学部長



## (原著論文)

- 1) Yamashiro M, Hasegawa H, Matsuda A, Kinoshita M, Matsumura O, Isoda K, Mitarai T: A case of water intoxication with prolonged hyponatremia caused by excessive water drinking and secondary SIADH. *Nephrol Urol* 3: 147-152, 2013

## (著書)

- 1) 木下正信: 脳／神経. 浅野嘉延, 吉山直樹編著, 看護のための臨床病態学 改訂2版:417-482, 南山堂, 東京, 2014.

## (国際学会発表)

- 1) Matsuda T, Nitta O, Senoo A, Shiratani T, Amimoto K, Manji A, Watanabe S, Kinoshita M: Change in brain neural activation during stress due to a continued simple cognitive task. The XXI World Congress of Neurology, Sept 21-26, 2013, Vienna, Austria.
- 2) Arahata H, Furuya H, Kinoshita M, Fujii N: A case of familial Rippling muscle disease showing decreased of caveolin-3 in muscle biopsy suggesting an immunological mechanism. The XXI World Congress of Neurology, Sept 21-26, 2013, Vienna, Austria.
- 3) Arahata H, Furuya H, Kinoshita M, Fujii N: A case of familial Rippling disease showing decreased of caveolin-3 in muscle biopsy suggesting an immunological mechanism. The XXI World Congress of Neurology, Sept 21-26, 2013, Vienna, Austria.

## (国内学会発表)

- 1) 木下正信, 魏秀芬, 廣瀬和彦: Myotonic dystrophy type 1(DM1)のCTGリピート長と筋力低下, 白内障の関連. 第110回日本内科学会総会, 4.12-4.14, 東京 2013.
- 2) 木下正信, 魏秀芬, 廣瀬和彦: Myotonic dystrophy type 1(DM1)のCTGリピート長と筋力低下, 白内障の関連. 第54回日本神経学会総会, 5.22-5.24, 東京 2013.
- 3) 新田 収, 藤本泰成, 木下正信, 松田雅弘, 古川順光: 指先の加速度脈波データカオス解析によるストレス評価結果と血中唾液アミラーゼの関連. 第43回日本臨床神経生理学会. 11.7-11.9 高知 2013.

## (研究助成)

- 1) 木下正信(研究代表者), 大野欽司(共同研究者:名古屋大学大学院・教授):首都大学東京 平成25年度 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費) 研究課題:「筋強直性ジストロフィー1型の新規治療戦略のための臨床像の検討ー治験指標を求めてー」.
- 2) 木下正信(研究代表者):「大学院生の国際共同研究恒常化プログラム〜グローバル人材育成を推進する大研究科プロジェクト〜」平成24年度〜平成25年度 首都大学東京 教育改革推進事業(学内提案分)(平成24年から平成25年の2年間).
- 3) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業(業難治性疾患克服研究事業))「希少難

- 治性筋疾患に関する調査研究班」(研究代表者 東北大学大学院医学系研究科 神経内科 青木正志)(研究分担者 高橋正紀, 研究協力者 木下正信)(平成 24 年から平成 25 年の 2 年間).
- 4) 文部科学省科学研究費助成金(基盤研究 (B))「認知症高齢者を対象としたメンタルコミット・パロを活用したケア効果」(研究代表者 井上 薫, 分担研究者 木下正信)(平成 23 年から平成 25 年の 3 年間).

# 看護学科



## 著書

- 1) 飯村直子:4. 患者マネジメント Section1子どもの権利を守るということ. 及川郁子監修, 山元恵子責任編集, 小児看護ベストプラクティス 小児のための看護マネジメント: 116-125, 中山書店. 東京, 2013.

## 研究報告書

- 1) 飯村直子, 安達久美子, 西村ユミ, 猫田泰敏, 加藤星花, 島田恵, 森田牧子, 笠原康代:平成 25 年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)成果報告書. 看護教育・研究の国際化推進と人材育成. 2014.
- 2) 柳井晴夫, 飯村直子他 75 名:平成 23~25 年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書. 共用試験(CBT)を実施して. 臨地実習適正化のための看護系大学教養試験 CBT の実用化と教育カリキュラムへの導入. 2014.

## 国際学会発表

- 1) limura, N.: Teamwork for Family Care in the Pediatric Outpatient Department of a Community Hospital in Japan. 11th International Family Nursing Conference: 35, 2013.
- 2) limura, N., Nishida. S. & Yoshino, J.: The Voices of Japanese Mothers Raising Infants and /or Toddlers; From Interviews with Mothers Attending the Family Support Centers ronning by Non-Profit Organization. 3rd World Academy of Nursing Sceince:41, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する看護管理者の認識. 第 44 回日本看護学会－看護管理－学術集会講演集:119, 2013.
- 2) 飯村直子, 西田志穂:保護者が運営に参画するウィーンの保育園を訪問して. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:26, 2013.
- 3) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子:都内関連施設における認定看護師の活動状況と教育課程へのニーズ. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:24, 2013.

## 研究助成

- 1) 飯村直子, 西田志穂, 吉野 純:首都大学東京平成 25 年度傾斜的研究費(部局分)部局競争的, 被災地における子育てニーズの特殊性と支援事業展開の豊作に関するアクションリサーチ.
- 2) 飯村直子:科学研究費, 臨地実習適正化のための看護系大学共用試験(CBT)の実用化と教育カリキュラムへの導入(分担).

## その他

- 1) 飯村直子, 及川郁子, 濱中喜代, 中村由美子, 草場ヒフミ, 二宮啓子, 武田淳子, 内田雅代, 川口千鶴, 平林優子, 石黒彩子: 法人化の歩み. 第23回日本小児看護学会学術集会パネル発表, 2013. 7. 13, 14.
- 2) 中村由美子, 飯村直子, 杉本晃子: 家族看護とは, 家族システム看護(カルガリー式家族アセスメントモデル・介入モデル). 日本家族看護学会家族看護学実践セミナー(秋田)講演, 2014. 2. 23.
- 3) 飯村直子: 小児看護学の基礎. 千葉県民医療連看護師学習会教育講演. 2013. 12. 21.

## 原著論文

- 1) 岩瀬和恵, 勝野とわ子: 看取りを積極的に行っている特別養護老人ホームにおいて看護師が高齢者の死期を判断したサインとそのサインを察した時期, 日本老年看護学会誌, 18(1), 56-63, 2013.

## 著書

- 1) 勝野とわ子: 高齢者のヘルスアセスメント, 松尾ミヨ子他編, ナーシンググラフィカ基礎看護学②ヘルスアセスメント(第4版):212-224, メディカ出版, 2014.
- 2) 勝野とわ子: 看護過程(nursing process), 志自岐康子他編(第5版), ナーシンググラフィカ基礎看護学①看護学概論(第5版):172-178, メディカ出版, 2014.
- 3) 勝野とわ子: 災害看護の基礎, 志自岐康子他編(第5版), ナーシンググラフィカ基礎看護学①看護学概論(第5版):250-258, メディカ出版, 2014.
- 4) 勝野とわ子: 看護行為に共通する援助技術, 志自岐康子他編(第5版), ナーシンググラフィカ基礎看護学③基礎看護技術(第5版):14-22, メディカ出版, 2014.

## 研究報告書

- 1) 首都大学東京健康福祉学部看護学科:平成 25 年度傾斜研究費(部局長裁量経費)成果報告書 看護教育・研究における国際化推進と危機管理体制のありかた, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Towako Katsuno, Yuko Degai: Stress and anxiety among caregivers of persons with early-onset dementia in Japan. The 19<sup>th</sup> Qualitative Health Research Conference, Halifax, Canada, Oct. 2013.

## 国内学会発表

- 1) 出貝裕子, 勝野とわ子, 他: 認知症家族介護者のストレスとコーピングストラテジー, 日本保健科学学会誌, 11, 297, 2013.
- 2) 勝野とわ子, 青山美紀子, 他: 若年認知症者と介護家族への地域看護支援プログラムの有用性, 第33回日本看護科学学会学術集会講演集, 255, 2013.

## 研究助成

勝野とわ子:平成 25 年度傾斜的研究費(部局分), 若年認知症家族介護者の心身の健康を支援する包括的看護技術開発に関する基礎的研究(主任研究者).

## その他

- 1) 勝野とわ子: 認知症者と介護家族のQOLを支えるケアの構築, 第23回日本保健科学学会学術集会大会長講演, 2013, 10.
- 2) 勝野とわ子: 第33回日本看護科学学会学術集会教育講演座長, 2013, 12.

## 著書

- 1) 斉藤恵美子: 第1章公衆衛生看護実践と技術の特徴. 佐伯和子責任編集, 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術:1-29, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Otomo, M., Saito, E : Inter-organizational collaboration to prevent child maltreatment: maternity nurses, motivational structure. The 3rd World Academy of Nursing Science: 102, 2013.
- 2) Kanzaki, Y., Saito, E : Characteristics of the community-dwelling elderly who receive continuous care from public health nurses. 3<sup>rd</sup> International Public Health Nursing Conference: 25, 2013.
- 3) Oh, CH., Saito, E: Acculturation level and usage of healthcare services among registered elderly Korean women living in an urban area in Japan. 141th American Public Health Association Annual Meeting: 161, 2013.
- 4) Saito, E, Takahashi, K, Yasumura, S: Social role to predict functional disability among community-dwelling older adults in Japan. 141th American Public Health Association Annual Meeting: 94, 2013.
- 5) Suzuki, H., Yano, C., Otomo, M., Saito, E: Parenting difficulty of mothers: concept analysis. The 17th East Asian Forum of Nursing Scholars: 37, 2014.
- 6) Yano, C., Suzuki, H., Kanzaki, Y., Otomo, M., Saito, E., Community activities of the elderly in Japan: concept analysis. The 17th East Asian Forum of Nursing Scholars: 35, 2014.

## 国内学会発表

- 1) 伊澤貴美子, 呉珠響, 斉藤恵美子: 脂肪肝有所見男性の生活習慣の特徴: 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集:201, 2014.

## 研究助成

- 1) 斉藤恵美子: 科学研究費, 地域高齢者の介護予防に向けた社会関係の構築についての支援に関する研究.
- 2) 斉藤恵美子: 科学研究費, 降雪地域の高齢者の心身機能向上を目的とした歩行機能サポートプログラムの構築と評価(分担).

## 原著論文

- 1) 伊藤京子, 西村ユミ: システム利用の相互行為分析～iFaceと名づけられたシステムを用いて. ヒューマンインタフェース学会論文誌, 16(1):51-62, 2014.

## 著書

- 1) 西村ユミ: 現象学的な理論とその展開. やまだようこ, 麻生武, サトウタツヤ, 能智正博, 秋田喜代美, 矢守克也編, 質的心理学ハンドブック:115-135, 新曜社, 東京, 2013.
- 2) 佐藤登美, 西村ユミ編著: “生きるからだ”に向き合う——身体論的看護の試み. へるす出版, 東京, 2014.
- 3) 西村ユミ: 第III部 いま, なぜ身体論なのか. 佐藤登美, 西村ユミ編著: “生きるからだ”に向き合う——身体論的看護の試み:161-203, へるす出版, 東京, 2014.

## 総説・解説

- 1) 西村ユミ: 親の経験の底力に触れる(『小児がんを生きる——親が子どもの病いを生きる経験』ゆみる出版, 2012). 質的心理学研究, 13:255-256, 2014(書評).

## 研究報告書

- 1) 榎原哲也, 西村ユミ他: 平成22年度～平成24年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書. ケアの現象学の基礎と展開. 2013.

## 国際学会発表

- 1) Hiroki Maeda, Yumi Nishimura: The Nursing Station as a “Center of Coordination”: A Study of Work in an Acute Care Ward, 19th Qualitative Health Research Conference. Abstract: 62-62, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 西村ユミ, 前田泰樹: 急性期病棟の管理の編成——病棟師長及び係長の語りに注目して. 保健医療社会学論集, 24:43, 2013.
- 2) 西村ユミ: 医療実践における患者理解. 第45回日本医学教育学会大会予稿集:31, 2013.
- 3) 河原智江, 西村ユミ, 林由美, 池田真理: 訪問看護師のグリーフケアの評価——訪問看護師に対する家族の受け止めのフィードバック結果より. 日本質的心理学会第10回大会 プログラム抄録集:80, 2013.
- 4) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子: がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する看護管理者の認識. 第44回日本看護学会—看護管理—学術集会抄録集:119, 2013.
- 5) 西村ユミ: 病棟の実践を身体化する構造——新人看護師の経験に注目して. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:16, 2013.

- 6) 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習に向けての文献検討. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:23, 2013.
- 7) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美: 臨地実習を志向した成人看護学技術演習の組み立てと演劇ワークショップ——成人看護学教員のグループインタビューより. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:23, 2013.
- 8) 新井清美, 三浦里織, 飯塚哲子, 福井里美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の学習支援プログラム開発——演劇ワークショップの特徴とプログラム試案. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:24, 2013.
- 9) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子: 都内関連施設における認定看護師活動状況と教育課程へのニーズ. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:24, 2013.

#### 研究助成

- 1) 西村ユミ, 前田泰樹: 科学研究費補助金基盤研究(C), 病院の看護をつくる実践知の記述的研究(代表)
- 2) 榊原哲也, 西村ユミ, 他: 科学研究費補助金基盤研究(B), ケアの現象学の具体的展開と組織化(分担)
- 3) 松葉祥一, 西村ユミ, 他: 科学研究費補助金基盤研究(C), 現象学的看護研究の教育方法の確立(分担)
- 4) 前田泰樹, 西村ユミ: 科学研究費補助金基盤研究(C), 遺伝学的知識と病いの経験の語りをめぐる概念分析的研究(分担)
- 5) 西村ユミ, 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 奥原秀盛: 平成 25 年度傾斜的研究(部局分, 部局競争的経費), 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の教育効果と可能性(代表)

#### その他

- 1) 西村ユミ: 自分の経験が拡張される「驚き」の読書体験(村上靖彦著『摘便とお花見』医学書院, 2013). 週刊 医学界新聞, 第 3065 号:7 面, 2014(書評).
- 2) 西村ユミ: 現象学的看護論. 石川県看護教員養成講習会 看護論:2014(講演).
- 3) 西村ユミ: 日本質的心理学会研究交流委員会企画シンポジウム:「割り切れない心」と「研究の出口」をつなげる——社会精神医学と質的心理学の対話(2)(指定討論). 日本質的心理学会第 10 回大会 プログラム抄録集:32, 2013.
- 4) 河原智江, 西村ユミ企画: グリーフケアについて考える. 日本質的心理学会第 10 回大会 プログラム抄録集:68, 2013.
- 5) 河原智江, 西村ユミ企画: 当事者にとって「書くこと」の意味について考える. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:207, 2013.
- 6) 西村ユミ, 河野あゆみ, 綿貫成明企画: 「JANS 若手アカデミー」の組織化——未来を創造, 想像しよう. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:226, 2013.
- 7) 西村ユミ: 自分の身体を使って技術することの意味～看護の実践知について考える. 長野県看護教育研究会 臨床指導者研修会, 2013.10.12(講演).
- 8) 西村ユミ: 看護を深める～言語的コミュニケーションが困難な対象者との関わりについて. 岡崎市立看

護専門学校第6回学園祭講演会, 2013.11.16(講演).

- 9) 西村ユミ: 質的研究方法 Research Question に適合する研究方法を見極める. 第3回 JANS Seminar, 2014.

## 原著論文

- 1) Kaori Sato, Kumiko Adachi: Occupational stress experienced by Japanese midwives. BJM 22(11): 801-806,2013.

## 著書

- 1) 安達久美子:産痛のコントロールと緩和. 北川真理子編, 今日の出産, 改訂第3版:720-731, 南江堂, 東京, 2013.
- 2) 島田三恵子, 杉本充弘, 安達久美子他:科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠のためのガイドライン, 厚生労働科学研究妊娠出産ガイドライン研究班編, 初版, 金原出版, 東京, 2013.
- 3) 池ノ上克, 岡本喜代子, 安達久美子他:公益社団法人日本助産師会 助産業務ガイドライン改定特別委員会編, 助産業務ガイドライン 2014, 第3版, 日本助産師会出版会, 東京, 2014.

## 総説・解説

- 1) 安達久美子:正常分娩急変時のガイドライン(産褥期). 助産師, 68(2):15-16, 2014.

## 国内学会発表

- 1) 安達久美子, 坂田清美, 栗原明子, 橋田あゆみ:大学が行う子育て支援 —大規模集合住宅での子育て広場の開催—. 日本助産学会誌, 27(3):235, 2013.
- 2) 橋田あゆみ, 安達久美子:妊婦の腹部深部体温と腹部皮膚表面温の実態. 日本助産学会誌, 27(3): 184,2013.
- 3) 佐藤香, 安達久美子:助産師の職業性ストレスの現状. 日本助産学会誌, 27(3):126,2013.
- 4) 鈴木小弥香, 安達久美子:助産師の勤務施設における 専門的自律能力に対する 実践評価の比較. 日本助産学会誌, 27(3):98,2013.
- 5) 栗原明子, 安達久美子, 坂田清美:大規模分譲集合住宅における子育てネットワークの現状. 日本保健科学会誌, 16 Suppl:18, 2013.
- 6) 井本寛子, 島田三恵子, 藤 知行, 安達久美子, 前田津紀夫, 岡本喜代子, 山本詩子:入院中の母乳哺育ケアと1ヵ月後の母乳栄養に関する全国調査. 母性衛生, 54(3):333,2013.
- 7) 安達久美子, 島田三恵子, 藤井知行, 前田津紀夫, 井本寛子, 岡本喜代子, 山本詩子:日本の出産ケアに関する全国調査 健やか親子 21 快適な妊娠出産の達成度と課題. 母性衛生, 54(3): 327,2013.
- 8) 島田三恵子, 藤井知行, 安達久美子, 前田津紀夫, 井本寛子, 岡本喜代子, 山本詩子:妊娠出産の全国調査に基づいた母親にとって満足な妊娠出産の規定要因. 母性衛生, 54(3):221,2013.
- 9) 毛利多恵子, 安達久美子, 葛西圭子, 岡本喜代子, 武田智子, 今村理恵子, 山岸由紀子:全国助産所分娩基本データ収集システム. 医療の質・安全学会誌, 8 Suppl:344, 2013.
- 10) 大嶋伸雄, 山田拓実, 安達久美子, 石川陽子, 金 寿蓮, Scott Reeves, 高木大輔:災害時のための動的医療ロジスティクスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて— 東日本大震災後のアンケート調査から —. 保健医療福祉連携, 1:58-59, 2013.

- 11) 栗原明子, 安達久美子, 坂田清美: 子育てひろばに通う母親の居住年数の違いによる「付き合い・交流」の実態. 日本助産学会誌, 27(3):134, 2014.
- 12) 久保幸代, 安達久美子: 唾液コチニンを用いた乳児期における受動喫煙評価. 日本助産学会誌, 27(3):143, 2014.

#### 研究助成

- 1) 安達久美子: 平成 25 年度受託研究, 大規模分譲集合住宅における子育て支援に関する縦断的研究.

#### その他

- 1) 安達久美子: コミュニティベースの子育て支援への新たな取り組み 産学連携による地域密着型の子育て支援の展開. 看護総合科学研究会誌, 15(2):34, 2014.
- 2) 安達久美子: ふら〜りキャンパス研究編 首都大学東京 マンション入居者向け子育て広場. 東京新聞, 9月2日, 2013.

## 原著論文

- 1) 宮崎紀枝, 河原加代子:保健師が行う事業化のストラテジーの構成概念の検討, 日本看護科学学会誌, 33(3):82-90, 2013.
- 2) 早野貴美子, 河原加代子:震災後超急性期の看護活動におけるチームワークの機能を高めるコンピテンシーモデルの開発, 日本災害看護学会誌, 15(2):37-50, 2013.
- 3) 平野美千代, 佐伯和子, 河原加代子:要支援認定を受けた高齢女性の社会活動に対する意味づけ:独居の前期高齢女性に焦点をあてて, 北海道公衆衛生学雑誌, 27(2):69-74, 2014.

## 著書

- 1) 河原加代子:第1部総論編 第2章B家族, 第2部実践編 第5章在宅看護技術, 系統看護学講座統合分野在宅看護論(第版):31-37, 136-155, 医学書院, 東京, 2014.

## 国内学会発表

- 1) 山下美佳, 河原加代子, 島田恵:急性心筋梗塞発症後の外来受診を継続している中年期患者における再発予防行動, 第22回日本健康教育学会誌, 21(特別号), 152, 2013, 6月, 千葉.
- 2) 小原真理子, 齋藤正子, 石田千絵, 久保祐子, 菅野太郎, 河原加代子:避難所における要援護者トリアージの開発ー判断基準を導き出すシミュレーション方法の課題ー, 日本災害看護学会誌, 15(1), 290, 2013, 8月, 札幌.
- 3) 菅野太郎, 齋藤正子, 久保祐子, 石田千絵, 河原加代子, 小原真理子:避難所における要援護者トリアージの開発ー参加型シミュレーションの結果分析ー, 日本災害看護学会誌, 15(1), 291, 2013, 8月, 札幌.
- 4) 石田千絵, 小原真理子, 齋藤正子, 久保祐子, 菅野太郎, 河原加代子:避難所における要援護者トリアージの開発ー判断基準の評価ー, 日本災害看護学会誌, 15(1), 292, 2013, 8月, 札幌.
- 5) 久保祐子, 小原真理子, 河原加代子, 菅野太郎, 石田千絵, 齋藤正子:避難所における要援護者トリアージの開発ー看護職を対象としたシミュレーションの実施評価ー, 日本災害看護学会誌, 15(1), 293, 2013, 8月, 札幌.
- 6) 齋藤正子, 小原真理子, 久保祐子, 石田千絵, 菅野太郎, 河原加代子:避難所における要援護者トリアージの開発ー有識者へのインタビューを通じた評価ー, 日本災害看護学会誌, 15(1), 294, 2013, 8月, 札幌.
- 7) 平原優美, 山下美佳, 河原加代子, 島田恵, 清水準一:地域包括ケアを推進するための訪問看護ステーションおよび地域包括支援センターの在り方に関する調査研究(4)ー訪問看護ステーションと地域包括支援センターの連携における利用者のニーズ分析ー, 日本保健科学学会誌, 16(Suppl), 29, 2013, 10月, 東京.
- 8) 河原加代子, 小原真理子, 石田千絵, 菅野太郎, 齋藤正子, 久保祐子:避難所における要援護者トリアージの開発ー教育教材の評価ー, 日本集団災害学会誌, 18(3), 390, 2014, 2月, 東京.

## 研究助成

- 1) 河原加代子:平成 25 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)), 災害時における要援護者トリアージの開発,(分担)
- 2) 河原加代子:平成 25 年度 傾斜的研究費(部局分), 被災地における要介護者の健康を支援する看護ケアの介入プロトコルの開発,(代表)
- 3) 河原加代子:平成 25 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)), コミュニティケアー栄養と安全な経口摂取を支援する地域連携モデルの開発と評価ー, 不採択.
- 4) 河原加代子:平成 26 年度科学研究費補助金(基盤(B)), 看護職・介護職による災害時要援護者二次トリアージの開発, 分担, 採択.

## その他

- 1) 河原加代子:在宅看護専門看護師に期待される役割, コミュニティケア, Vol. 15(4), 62-63, 日本看護協会, 1013.
- 2) 河原加代子:在宅看護専門看護師, 泌尿器ケア, Vol. 18(4), 66, メディカ出版 2013.
- 3) 東京都訪問看護支援検討委員会 訪問看護 OJT マニュアル作成部会: 訪問看護 OJT マニュアル 新任訪問看護師の育成と定着のために, 東京都, 平成 25 年 3 月.
- 4) 平成 25 年度訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修 研修報告書:東京都福祉保健財団, 平成 26 年 3 月.

## 原著論文

- 1) 小出恵子,岡本玲子,草野恵美子,岡田麻里,小野美穂,猫田泰敏,茅野裕美,山崎光洋,北脇知己:生活習慣病予防のための行動変容を促す初回保健指導における保健師のコアとなる技術項目. 四国公衆衛生学会雑誌, 59(1):103-113, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Mami Sonobe,Masami Usui,Kayoko Hiroi,Mayumi Hiramatsu,Hiromi Asai,Yasutoshi Nekoda,Taiko Hirose:Networks and parenting stress of older primiparas after childbirth.9th INC & 3rd WANS, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 小出恵子,岡本玲子,猫田泰敏,岡田麻里,芳我ちより,草野恵美子,小野美穂,北脇知己,山崎光洋:特定保健指導を実施している保健師における保健指導技術の自己評価の実態. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 72:320, 2013.
- 2) 篁宗一,清水隆裕,猫田泰敏:中学生の精神健康と援助希求に関する実態調査. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 72:484, 2013.
- 3) 小出恵子,岡本玲子,猫田泰敏,岡田麻里,草野恵美子,芳我ちより,小野美穂:特定保健指導における保健師を対象とした保健指導技術向上プログラムの効果－保健指導技術の自己評価・他者評価の変化－. 日本看護科学学会学術集会講演集, 33:335, 2013.

## 研究助成

- 1) 猫田泰敏:科学研究費(基盤研究(C)),看護基礎教育における疫学の教育目標の具体化と教育方法の改善・開発に関する研究.
- 2) 猫田泰敏:科学研究費(挑戦的萌芽研究),乳幼児および保護者を対象としたメンタルヘルス教育の開発に関する基礎的研究(分担).

## 原著論文

- 1) 山村 礎, 中川 知佳, 原 優子, 安田 裕子, 大岩 由季絵, 永利 美花, 太田 みどり, 加藤 千恵子, 小林 恭子, 中野 隆史:大学保健センターの健康管理サービスに対する学生の認知・利用・ニーズに関する調査 4 件法メンタルヘルスチェックリストの検討.CAMPUS HEALTH, 50:423-425,2013.
- 2) 永利 美花, 山村 礎, 中川 知佳, 原 優子, 安田 裕子, 大岩 由季絵, 加藤 千恵子, 太田 みどり, 小林 恭子, 中野 隆史:大学保健センターの健康管理サービスに対する学生の認知・利用・ニーズに関する調査 身体的問題を抱えて精神衛生相談を利用する学生.CAMPUS HEALTH,50:420-422,2013.
- 3) 中川 知佳, 山村 礎, 永利 美花, 原 優子, 安田 裕子, 大岩 由季絵, 太田 みどり, 加藤 千恵子, 小林 恭子, 中野 隆史:保健センターの健康管理サービスに対する学生の認知・利用・ニーズに関する調査 テキストマイニングを用いたスクリーニング面接の探索的分析.CAMPUS HEALTH, 50:417-419,2013.

## 国際学会発表

- 1) Mika Kawazoe, Motoe Yamamura: "Help-Seeking" for Japanese Students with Mental Health Problem - An Evolutionary Concept Analysis-.The 17th EAFONS, 2014.3
- 2) Kiyomi Decker, Toshiko Matsushita, Motoe Yamamura: Survey on Current Tendency toward Mobile Phone Dependency and Social Skills of Nursing College Students. The 17th EAFO NS, 2014.3

## 国内学会発表

- 1) 田上美知佳, 新村 順子, 山村 礎:精神科救急入院料病棟患者の退院後の生活に向けたケア 入院時期による検討.日本看護科学学会学術集会,2013.12
- 2) 山村 礎, 永利 美花, 中川 知佳, 原 優子, 安田 裕子, 大岩 由季絵, 太田 みどり, 小林 恭子, 加藤 千恵子, 中野 隆史:精神的問題を抱える学生は窓口で自分の問題をどのように語っているのか. 51 回全国大学保健管理研究集会,2013.10
- 3) 永利 美花, 山村 礎, 中川 知佳, 原 優子, 安田 裕子, 大岩 由季絵, 太田 みどり, 小林 恭子, 加藤 千恵子, 中野 隆史:何が精神的問題の存在をスタッフに主張するのか. 51 回全国大学保健管理研究集会,2013.10
- 4) 丸山 拓亮, 森田 牧子, 山村 礎:面談時の着席位置の変化による対人関係・印象への影響と関係. 第 23 回日本保健科学学会誌.2013.09
- 5) 川添 美花, 山村 礎:精神病未治療期間(duration of untreated psychosis:DUP)に関する文献検討: 第 23 回日本保健科学学会誌.2013.09
- 6) 野村 梨映子, 森田 牧子, 山村 礎:看護学生の大学進路決定と志望動機との関連について. 第 23 回日本保健科学学会誌.2013.09

## 著書

- 1) 飯塚哲子: 講師の役割. 朝岡幸彦編著, 生涯学習デザインガイド:67-71, 国土社, 東京, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 飯塚哲子: 医療系-保健医療福祉-大学におけるインタープロフェッショナル教育(IPE)の現状——その5. 第60回日本社会教育学会学術集会要旨集:58, 2013.
- 2) 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習に向けての文献検討. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:23, 2013.
- 3) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美: 臨地実習を志向した成人看護学技術演習の組み立てと演劇ワークショップ——成人看護学教員のグループインタビューより. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:23, 2013.
- 4) 新井清美, 三浦里織, 飯塚哲子, 福井里美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の学習支援プログラム開発——演劇ワークショップの特徴とプログラム試案. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:24, 2013.
- 5) 飯塚哲子, 河原智江, 西村ユミ: 当事者にとっての「書く」ことの意味について考える. 第33回日本看護科学学会学術集会講演集:207, 2013.

## 研究助成

- 1) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 奥原秀盛: 平成25年度傾斜的研究費(部局分)(部局競争的), 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の教育効果と可能性(分担)
- 2) 飯塚哲子: 平成25年度ユニバーサル財団研究助成, 尊厳生における家族の絆—健やかでこころ豊かな社会をめざして—(代表)

## その他

- 1) 飯塚哲子: 自宅で看取ることの意味. 大槻宏樹編著, わたしのDeath Education 第13号:153-161, 早稲田大学大槻宏樹研究室, 東京, 2014.3.
- 2) 飯塚哲子: 書評『看護における実践と研究——看護科学研究学会の省察的实践』(梶山委都子著『看護における実践と研究——看護科学研究学会の省察的实践』鳳書房, 東京, 2013). 日本学習社会学会編, 日本学習社会学会年報:124-125, 東京, 2013(書評).
- 3) 飯塚哲子: 自宅で看取ることの意味. 早稲田大学エクステンションセンター公開講座:早稲田大学, 2013年11月9日(講演).
- 4) 飯塚哲子: 講師の役割. 立川市教育委員会主催事業, たちかわ市民交流大学(第4回):東京都立川市女性総合センター, 2014年2月8日(講演).

## 著書

- 1) 石川陽子:国際看護. 川村佐和子, 志自岐康子, 松尾ミヨ子編, 看護学概論(第5版):259-268. メディカ出版, 東京, 2014.
- 2) 石川陽子:診療報酬上の看護の評価の歴史. 福井トシ子, 齋藤訓子編, 診療報酬・介護報酬のしくみと考え方:43-46, 101-105. 日本看護協会出版会, 東京, 2013.

## 総説・解説

- 1) Ishikawa, Y.: Issues in Accepting Foreign Nurses in Japan. Innovative Nursing Journal 2: 35-36. 2013.

## 国内学会発表

- 1) 石川陽子:経済連携協定(EPA)により来日した外国人看護師が抱える課題. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:16. Suppl. 15. 2013.
- 2) 古賀節子, 石川陽子, 中村弘美:日本の臨床看護師と米国在住日本人看護師の「看護師の自律性」. 第33回日本看護科学学会学術集会講演集, 263. 2013.
- 3) 大田博, 石川陽子, 習田明裕他:新人看護職員研修「医療機関受入研修事業」参加と離職傾向・看護技術習得自信度の関係. 第33回日本看護科学学会学術集会講演集, 653. 2013.
- 4) 大田博, 習田明裕, 石川陽子他:新人看護職員研修事業「医療機関受入研修事業」開始初年度において提供された研修, 第33回日本看護科学学会学術集会講演集, 652. 2013.

## 研究助成

- 1) 石川陽子:科学研究費, 日本における外国人看護師の異文化適応(代表).
- 2) 石川陽子:科学研究費, 東南アジア医療福祉にみる看護・介護人材送出実態の実証研究(分担).
- 3) 石川陽子:科学研究費, 「看護師の自律性」と社会的関連要因に関する研究(分担).

## 国際学会発表

- 1) Kimura, C, Ohmori, T: Women with IBD- Complications and support during pregnancy, birth and parenting-. 9<sup>th</sup> International Nursing Conference & World Academy of Nursing Science. 52, October 16-18, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 木村千里:IBD 女性の周産期増悪 クロウン病をもつ女性の家族のケア力.第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集:227, 2014.
- 2) 池田真弓, 木村千里:地域における育児支援ボランティア ネットワークの起動と定着. 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集:177, 2014.
- 3) 木村千里, 池田真弓:子宮頸がん予防に関するセミナー受講前後の成人女性の保健行動と認識 構成的インタビューによる結果の分析から.第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:31, 2013.
- 4) 木村千里, 池田真弓 他:妊娠期からの母乳育児準備教育に関する文献検討—地域と大学の連携による母乳育児準備教育に向けて—.第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:30, 2013.
- 5) 池田真弓, 木村千里:35(産後)サポネット in 荒川「母乳講習会」の実施報告と参加者が求める支援. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:30, 2013.
- 6) 池田真弓, 木村千里 他:地域・行政・大学の協働による子育て支援の実践. 一般社団法人日本助産学会第 4 回(第 28)回学術集会抄録集:184, 2014.
- 7) 山崎あけみ, 木村千里, 津村明美, 峰 博子, 尾立和美, 副田明美:家族看護のケーススタディ研修—教育担当者・受講者が共に成長するための企画・運営手法の検討—. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:209, 2013.

## その他

- 1) 池田真弓, 木村千里:地域で“つながる”助産師ケア 大学・地域・行政で協働する「35(産後)サポネット in 荒川」の取り組みと実践.平成 25 年度一般社団法人東京都助産師会南北関東地区研修会分科会, 2013.

## 原著論文

- 1) 加瀬田暢子, 前田ひとみ, 島田 恵, 宮腰由紀子: HIV 陽性者への在宅療養支援未経験の訪問看護師における HIV ケアに関する認識. 日本在宅医療学会雑誌, 15(5):15-20, 2013.

## 著書

- 1) 島田 恵: 面白い研究と面白くない研究. 編集 菱沼典子・川島みどり, 看護技術の科学と検証 第 2 版 -研究から実践へ, 実践から研究へ-, 第 2 版:96-101, 日本看護協会出版会, 東京, 2013 年 4 月 1 日.
- 2) 島田 恵: HIV 感染症外来. 編集 数間恵子, 外来看護パーフェクトガイド 拡大する看護の役割と診療報酬上の評価, 第 1 版:130-147, 看護の科学社, 東京, 2013 年 6 月 10 日.

## 研究報告書

- 1) 島田 恵(研究協力者), 池田和子(分担研究者): 平成 24 年度 厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」(研究代表者 伊藤俊広)研究成果報告書. HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～. 2014.
- 2) 島田 恵(研究協力者), 大金美和(分担研究者): 平成 24 年度 厚生労働科学研究費補助金「血液凝固因子製剤による HIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究」(研究代表者 木村 哲)研究成果報告書. HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究 コーディネーションと課題解決の提言. 2014.

## 国内学会発表

- 1) 山下美佳, 河原加代子, 島田 恵: 急性心筋梗塞発症後の外来受診を継続している中年期患者における再発予防行動. 第 22 回日本健康教育学会学術大会:21, 2013.
- 2) 伊藤 紅, 河原加代子, 島田 恵, 他: エイズ診療拠点病院の外来看護師によるセルフマネジメント支援の実態とその関連要因に関する調査. 第 27 回日本エイズ学会学術集会. 15(4), 2013.
- 3) 大金美和, 久地井寿哉, 柴山志穂美, 岩野友里, 柿沼章子, 大平勝美, 田中純子, 島田 恵, 他: HIV 感染血友病等患者の医療福祉における課題と連携に関する研究. 第 72 回日本公衆衛生学会: 60(9), 2013.

## 研究助成

- 1) 島田 恵: 科学研究費, 慢性肝炎患者に対する外来看護システムの開発とその有効性の検討.
- 2) 島田 恵: 厚生労働科学研究費, 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～」(協力).
- 3) 島田 恵: 厚生労働科学研究費, 「血液凝固因子製剤による HIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究」分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究: コーディネーションと課題解決の提言」(協力).

- 4) 島田 恵: 科学研究費, HIV 陽性者へのセクシャルヘルス支援に関する看護師向け教育プログラムの開発研究(協力).

その他

- 1) 島田 恵: 慢性疾患看護 CNS による新連載に期待すること. 日本慢性看護学会誌:7(1), 2013.

## 原著論文

- 1) 清水準一, 長内さゆり: 緩和ケアに関して専門性の高い看護師が行う訪問看護師との同行訪問の実施可能性—国内分布と地理的関連性の分析—. 日本保健科学学会誌, 16(4):177-183, 2014.

## 総説・解説

- 1) 福井小紀子, 藤田淳子, 清水準一, 高砂裕子, 上野桂子, 齋藤訓子, 星芝由美子: 平成 24 年度介護報酬・診療報酬同時改定後の訪問看護の現状と課題(第 1 回) 訪問看護事業所が黒字化するサービス提供の要素 全国訪問看護事業所のサービス提供実態調査の分析結果を基に. コミュニティケア, 15(9): 58-64, 2013
- 2) 福井小紀子, 藤田淳子, 清水準一, 高砂裕子, 上野桂子, 齋藤訓子, 星芝由美子: 平成 24 年度介護報酬・診療報酬同時改定後の訪問看護の現状と課題(第 2 回) 平成 24 年度の介護報酬・診療報酬の改定内容が訪問看護事業所の経営へ与えた影響. コミュニティケア, 15(10): 67-73, 2013
- 3) 藤田淳子, 福井小紀子, 清水準一, 高砂裕子, 上野桂子, 齋藤訓子, 星芝由美子: 平成 24 年度介護報酬・診療報酬同時改定後の訪問看護の現状と課題(第 3 回) 訪問看護事業所の質管理の取り組みと関連要因の検討. コミュニティケア, 15(11): 67-71, 2013.
- 4) 清水準一, 福井小紀子, 藤田淳子, 高砂裕子, 上野桂子, 齋藤訓子, 星芝由美子: 平成 24 年度介護報酬・診療報酬同時改定後の訪問看護の現状と課題(第 4 回)〈最終回〉訪問看護事業所経営の黒字化かつ良質なサービス提供の両方をかなえる要因の検討. コミュニティケア, 15(12):65-69, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 福井小紀子, 藤田淳子, 清水準一: 訪問看護事業所の黒字化のための経営指標 全国調査による収支比率との関連分析の結果から. 日本看護科学学会学術集会講演集, 33:257, 2013.
- 2) 平原優美, 山下美佳, 河原加代子, 島田恵, 清水準一: 地域包括ケアを推進するための訪問看護ステーションおよび地域包括支援センターの在り方に関する調査研究(4)—訪問看護ステーションと地域包括支援センターの連携における利用者のニーズ分析—. 日本保健科学学会誌:16 Suppl.:29, 2013.
- 3) 清水準一: 地理情報システムを用いた小地区指向型訪問看護需給バランスの検討. 日本保健科学学会誌:16 Suppl.:18, 2013.

## 原著論文

- 1) Tanimizu N, Shuda A, Imanishi T, Akazawa C, Hayashi Y, Hagiwara K : The existence of experience and frequency and severity of related concerns of ethical issues in nursing practice encountered in organ transplantation. *Transplant Proc.*46(4): 1029-1031, 2013.
- 2) 今西誠子, 谷水名美, 習田明裕: 移植看護における倫理的問題への取り組みに関する国内文献の動向－1985～2011年 看護の視点から－. *日本移植・再生医療看護学会誌* 8巻2号:3-10, 2013.

## 著書

- 1) [改訂]習田明裕: 生命の徴候を観察する技術. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 習田明裕編:57-84, ナーシング・グラフィカ 18 基礎看護学/基礎看護技術, 大阪, 2014.
- 2) [改訂]習田明裕: 食事・栄養の援助技術. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 習田明裕編:261-287, ナーシング・グラフィカ 18 基礎看護学/基礎看護技術, 大阪, 2014.
- 3) [改訂]習田明裕: 看護を展開する技術. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 習田明裕編:152-175, ナーシング・グラフィカ 18 基礎看護学/基礎看護技術, 大阪, 2014.
- 4) [改訂]習田明裕: 体温を調整する技術. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 習田明裕編:338-351, ナーシング・グラフィカ 18 基礎看護学/基礎看護技術, 大阪, 2014.
- 5) [改訂]習田明裕: 腹部(消化器)のアセスメント. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 城生弘美編:120-132, ナーシング・グラフィカ 17 基礎看護学/ヘルスアセスメント, 大阪, 2014.
- 6) [改訂]習田明裕: 筋・骨格系のアセスメント. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 城生弘美編:143-160, ナーシング・グラフィカ 17 基礎看護学/ヘルスアセスメント, 大阪, 2014.
- 7) [改訂]習田明裕: アセスメントの視点; 排泄パターンのアセスメント. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 城生弘美編:269-273, ナーシング・グラフィカ 17 基礎看護学/ヘルスアセスメント, 大阪, 2014.
- 8) [改訂]習田明裕: アセスメントの視点; コーピング/ストレス耐性のアセスメント. 松尾ミヨ子, 志自岐康子, 城生弘美編:295-298, ナーシング・グラフィカ 17 基礎看護学/ヘルスアセスメント, 大阪, 2014.
- 9) [改訂]志自岐康子, 習田明裕: 看護における倫理と価値. 志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕編:128-149, ナーシング・グラフィカ 16 基礎看護学/看護学概論, 大阪, 2014.

## 研究報告書

- 1) 佐藤政枝, 川口孝泰, 小西美和子, 東ますみ, 習田明裕, 志自岐康子, 三輪聖恵, 笠原康代: 平成 23～25 年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書. 外来患者のセルフモニタリングカを高める遠隔看護実践モデルの構築. 2013.
- 2) 柳井晴夫, 他 76 名: 平成 23～25 年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書. 臨地実習適正化のための看護系大学共用試験(CBT)実用化と教育カリキュラムの導入.

## 国際学会発表

- 1) Nami Tanimizu, Akihiro Shuda, Chiharu Akazawa, Yuko Hayashi, Tomoko Imanishi, Kuniko Hagiwara: The existence of

experience and frequency of ethical issues in nursing practice encountered in organ transplantation. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation, 2013

#### 国内学会発表

- 1) 大林智子, 習田明裕, 石川陽子: 大都市圏の中小規模病院における看護者の就業継続意志と職務満足との関連. 第 17 回日本看護管理学会学術集会講演集:65, 2013.
- 2) 谷水名美, 林 優子, 赤澤千春, 習田明裕, 今西誠子, 萩原邦子: 移植医療における看護師が抱える倫理的ジレンマ 臓器移植看護の倫理的場面における看護師の苦悩. 第 49 回日本移植学会雑誌 48 巻:265, 2013.
- 3) 藤田厚美, 習田明裕: 看護学生の実習における自己教育力の変化 - 実習での体験に焦点をあてて - . 第 23 回日本保健科学学会学術集会講演集:14, 2013.
- 4) 笠原康代, 島崎敢, 中村愛, 三品誠, 石田敏郎, 習田明裕, 三輪聖恵: 看護場面における看護学生のハザード知覚. 第 23 回日本保健科学学会学術集会:25, 2013.
- 5) 今西誠子, 谷水名美, 習田明裕: 臓器移植看護における倫理的問題に関する国内文献の動向. 第 9 日本移植・再生医療看護学会学術集会 9 巻・1 号:34, 2013.
- 6) 山田理絵, 習田明裕: クリティカルケアに関わる ICU 看護師が直面する倫理的問題. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:587, 2013.
- 7) 習田明裕, 赤澤千春, 谷水名美, 林優子, 今西誠子, 萩原邦子: 臓器移植看護の倫理的場面における苦悩の構造とその影響因子. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:593, 2013.
- 8) 今西誠子, 習田明裕, 赤澤千春, 谷水名美, 林優子, 萩原邦子: 臓器移植医療で看護者が遭遇する倫理的場面での悩みとその程度. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:593, 2013.
- 9) 大田 博, 石川陽子, 習田明裕, 志自岐康子: 新人看護職員研修「医療機関受入研修事業」参加と離職傾向・看護技術習得自信度の関係. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:653, 2013.
- 10) 大田 博, 習田明裕, 石川 陽子, 志自岐康子: 新人看護職員研修事業「医療機関受入研修事業」開始初年度において提供された研修. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:652, 2013.

#### 研究助成

- 1) 習田明裕: 科学研究費補助金基盤研究(C), 臓器移植医療における院内コーディネーターの倫理的対応モデルの構築(代表).
- 2) 佐藤政枝, 川口孝泰, 小西美和子, 東ますみ, 習田明裕, 志自岐康子, 三輪聖恵, 笠原康代: 平成 23~25 年度科学研究費補助金基盤研究(B), 「外来患者のセルフモニタリング力を高める遠隔看護実践モデルの構築(分担).
- 3) 柳井晴夫, 習田明裕, 他 75 名: 平成 23~25 年度科学研究費補助金基盤研究(A), 臨地実習適正化のための看護系大学共用試験(CBT)実用化と教育カリキュラムの導入(連携研究者).

#### その他

- 1) 習田明裕: 若手研究者たちによる挑戦「看護の成果を可視化する」看護倫理学の立場から. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:179, 2013.
- 2) 習田明裕: 移植医療について一緒に考えてみませんか「臓器移植のケースを通して考える」. 第 33 回日本看護科学学会学術集会講演集:217, 2013

## 国際学会発表

- 1) Sonobe M, Usui M, Hiroi K, et al.: Networks and parenting stress of older primiparas after childbirth. 9<sup>th</sup>INC & 3<sup>rd</sup>WANS International Nursing Conference & World Academy of Nursing Science: 52, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 臼井雅美, 園部真美, 鍋田美咲, 他: 高年初産婦における出産後1年の親子相互作用—35歳未満の初産婦夫婦との比較より—, 第54回日本母性衛生学会総会学術集会抄録集: 291, 2013.
- 2) 池田真弓, 木村千里, 鈴木享子, 園部真美, 他: 地域・行政・大学の協働による子育て支援の実践, 日本助産学会誌 27(3):184, 2014.

## 研究助成

- 1) 園部真美: 科学研究費(基盤C), 妊娠期からの早期育児支援介入プログラムの開発研究(代表).

国内学会発表

- 1) 藤田春奈, 河村紀美江, 佐々木祥子, 種吉啓子: 学童前期の子どもの入院に対する捉え方.  
日本小児看護学会第23回学術集会 講演集:89, 2013.

## 研究報告書

- 1) 福井里美: 終末期看護のやりがい感とは(Positive and Career-Fulfilling Experiences of End-of-Life Care Nurses in Japan) 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科看護科学域 (2010~2012 年度科学研究費助成事業 科学研究費補助金 若手研究(B), 「終末期看護の醍醐味—看護師のターミナルケアに携わる困難と魅力」課題番号: 22792189 研究代表者: 福井里美のまとめ). 2014.

## 国際学会発表

- 1) Yoshie HIGUCHI, Minako MORITA, Mitsuko YOSHIDA, Hidemori OKUHARA, Etsuko SHINDO, Satomi FUKUI, Takami TANAKA, Shiori SAKAI, Yuko ADACHI: How to share a terminal patient's desire amongst the medical team? - From the experience of a nurse on terminal sedation, 13th World congress of the European Association For Palliative Care, Prague(CZECH REPUBLIC). 2013.

## 国内学会発表

- 1) 福井里美, 三浦里織, 新井敏子, 坂元敦子, 広瀬寛子, 米村法子: がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の終末期看護のやりがい感と職務満足度とメンタルヘルスの関連, 第26回日本サイコoncロジー学会総会抄録集, 106, 2013.
- 2) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子: がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する看護管理者の認識, 第44回日本看護学会 看護管理学会抄録集, 119, 2013.
- 3) 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習における文献検討, 日本保健科学学会学術集会 16, Suppl(第23回日本保健科学学会学術集会抄録集), 23, 2013.
- 4) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美: 臨床現場を志向した成人看護学技術演習の組み立てと演劇ワークショップ成人看護学教員のグループインタビューより, 日本保健科学学会学術集会 16, Suppl(第23回日本保健科学学会学術集会抄録集), 23, 2013.10.
- 5) 新井清美, 三浦里織, 飯塚哲子, 福井里美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の学習支援プログラム開発-演劇ワークショップの特徴とプログラム試案, 日本保健科学学会学術集会 16, Suppl(第23回日本保健科学学会学術集会抄録集), 24, 2013.
- 6) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子: 都内関連施設における認定看護師の活動状況と教育課程へのニーズ, 日本保健科学学会学術集会 16, Suppl(第23回日本保健科学学会学術集会抄録集), 24, 2013.
- 7) 福井里美, 三浦里織, 新井敏子, 坂元敦子, 米村法子, 広瀬寛子: 終末期看護のやりがい感—全国がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の実態, 第28回日本がん看護学会学術集会講演集, 122, 2014.
- 8) 米村法子, 福井里美, 三浦里織, 新井敏子, 坂元敦子, 広瀬寛子: 終末期看護のやりがい感の経験年数による特徴—全国がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の実態調査から, 第28回日本がん看護学会学術集会講演集, 122, 2014.
- 9) 三浦里織, 坂元敦子, 福井里美, 新井敏子, 米村法子, 広瀬寛子: 終末期看護のやりがい感におけ

る認定看護師・専門看護師の特徴－全国がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の実態調査から. 第 28 回日本がん看護学会学術集会講演集, 123, 2014.2.8.

#### 研究助成

- 1) 福井里美:平成 25～28 年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C), 「がん闘病生活 10 年間におけるサポートグループ参加と当事者間支援の実際とその意味」(課題番号: 25463420)
- 2) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 奥原秀盛:平成 25 年度傾斜的研究費(部局分)(部局競争的), 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の教育効果と可能性(分担)

## 総説・解説

- 1) 三浦里織:食道がん患者の看護 第2章再発・転移の病態と治療・看護 再発がんの治療と看護 患者の思いに寄り添ってかかわる. 月刊ナーシング4月増刊号, 33(5):85-87, 2013.
- 2) 三浦里織:治療選択に対する看護のかかわり 第4章再発がん患者への具体的看護 再発がんの治療と看護 患者の思いに寄り添ってかかわる. 月刊ナーシング4月増刊号, 33(5):193-195, 2013.

## 研究報告書

- 1) 福井里美, 三浦里織, 新井敏子, 坂元敦子, 米村法子, 広瀬寛子:平成22~24年度 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)研究成果報告書, 終末期看護の醍醐味—看護師のターミナルケアに携わる困難と魅力. 2014.

## 国内学会発表

- 1) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する看護管理者の認識, 第44回日本看護学会—看護管理—学術集会抄録集(2013), 119, 2013.
- 2) 福井里美, 三浦里織, 廣瀬寛子, 坂元敦子, 新井敏子, 米村法子:がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の終末期看護のやりがい感と職務満足度とメンタルヘルスの関連, 第26回日本サイコオンコロジー学会総会抄録集, 29, 106, 2013.
- 3) 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習に向けての文献検討, 第23回日本保健科学学会誌, 16(Suppl), 23, 2013.
- 4) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美:臨地実習を志向した成人看護学技術演習の組み立てと演劇ワークショップ—成人看護学教員のグループインタビューより, 第23回日本保健科学学会誌, 16(Suppl), 23, 2013.
- 5) 新井清美, 三浦里織, 飯塚哲子, 福井里美, 西村ユミ:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の学習支援プログラム開発—演劇ワークショップの特徴とプログラム試案, 第23回日本保健科学学会誌, 16(Suppl), 24, 2013.
- 6) 三浦里織, 福井里美, 新井敏子, 西村ユミ, 飯村直子:都内関連施設における認定看護師活動状況と教育課程へのニーズ, 第23回日本保健科学学会誌, 16(Suppl), 24, 2013.
- 7) 三浦里織, 福井里美, 廣瀬寛子, 坂元敦子, 新井敏子, 米村法子:認定看護師・専門看護師の終末期看護のやりがい感, 第28回日本がん看護学会誌, 28(Suppl), 123, 2013.
- 8) 福井里美, 三浦里織, 廣瀬寛子, 坂元敦子, 新井敏子, 米村法子:終末期看護のやりがい感—全国がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の実態, 第28回日本がん看護学会誌, 28(Suppl), 122, 2013.
- 9) 米村法子, 福井里美, 三浦里織, 廣瀬寛子, 坂元敦子, 新井敏子:終末期看護のやりがい感の経験年数による特徴—全国がん診療連携拠点病院に勤務する看護師の実態調査から, 第28回日本がん看護学会誌, 28(Suppl), 122, 2013.

## 研究助成

- 1) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 奥原秀盛:平成 25 年度傾斜的研究費(部局分)(部局競争的), 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習の教育効果と可能性(分担)

## 原著論文

- 1) 山本美智代, 中川薫, 米山明, 石上ゆか, 加藤久美子, 大久保嘉子: 首都圏に住む発達障害児の母親の東日本大震災での体験. 小児保健研究, 73:52-58, 2014.

## 国内学会発表

- 1) 山本美智代, 中川薫, 石上ゆか, 加藤久美子, 大久保嘉子: 東日本大震災時の外来看護・訪問看護-首都圏に住む重度障害児者の防災対策の検討-. 第18回日本在宅ケア学会学術集会抄録集:113, 2014.

## 研究助成

- 1) 山本美智代, 中川薫: 平成24～26年度科学研究費助成事業基盤研究(C), 災害時における在宅障害児者の直面する問題とその防止に関する研究(代表).

## 著書

- 1) 岩崎和代, 及川裕子, 大澤豊子, 加藤章子, 齋藤益子, 佐藤喜美子, 富岡由美, 榎原洋子, 濱寄真由美, 樋口実里, 平田伸子, 平田礼子, 松永佳子, 宮崎文子, 山崎圭子, 渡邊知佳子: 新生児期, 母子の健康に影響を及ぼす因子, 性と生殖の形態・機能. 助産師資格試験研究会編, 助産師国家試験突破のコツ 助産師国家試験予想問題 2014:22-31, 173-188, 356-362, 468-472, 助産師資格試験研究会, 東京, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 渡邊知佳子: 成熟期女性の冷えの自覚と体温及び月経随伴症状との関係. 日本助産学会誌, 26(3):182, 2013.
- 2) 関瑤子, 渡邊知佳子: 生殖補助医療に対する意識 —看護学生と一般学生の比較から—. 日本母子看護学会誌, 7(1):41, 2013
- 3) 渡邊知佳子: 不妊治療を受けている女性の体温の特徴と冷えの予防対策 —出産経験のある女性との比較から—. 母性衛生, 54(3):234, 2013
- 4) 池田真弓, 木村千里, 鈴木享子, 園部真美, 渡邊知佳子, 坂田清美, 安達久美子, 恵美須文枝: 地域・行政・大学の協働による子育て支援の実践. 日本助産学会誌, 27(3):184, 2014.

## 研究助成

- 1) 渡邊知佳子: 科学研究費 基盤研究(C), 不妊症女性の冷えの特徴と, 健康感及び妊孕性の向上をめざした教育プログラムの検討

## 原著論文

- 1) 新井清美, 森田展彰, 葦澤博一: プレアルコホリックの認識における変化のプロセス—アルコール依存症患者とその家族の語りからの分析—. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 48(3):198-215, 2013.
- 2) Arai, K., Oka, M, Moteji, E : Awareness of Pre-alcoholic Status and Changes in such Awareness: Analysis of Narratives by Male Japanese Patients and their Families. Journal of Addictions Nursing 25(1):35-40, 2014.

## 研究報告書

- 1) 宮岡等, 森田展彰, 新井清美: 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 研究成果報告書. 精神障害分野 様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 分担研究 4「病的ギャンブリングの実態調査と回復支援のための研究」「病的ギャンブリングにおける家族の関わりの研究」. 2013.
- 2) 新井清美: 平成 25 年度 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)研究成果報告書. アディクションの認識における変化のプロセス—患者と家族の語りから—. 2013.

## 国内学会発表

- 1) 新井清美, 三浦里織, 飯塚哲子, 福井里美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護技術演習の学習支援プログラム開発—演劇ワークショップの特徴とプログラム試案—. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl):24, 2013.
- 2) 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護技術演習における文献検討. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl):23, 2013.
- 3) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美: 臨地実習を志向した成人看護学技術演習の組み立てと演劇ワークショップ—成人看護学教員のグループインタビューより. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl):23, 2013.
- 4) 森田展彰, 田中裕子, 玉井紀子, 新井清美, 谷部陽子, 梅野充, 和田一郎: アディクションと子ども虐待の重複する事例への対応. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 48(4), 137, 2013.

## 研究助成

- 1) 新井清美: 平成 24 年～平成 26 年度 科学研究費補助金 若手研究(B), プレアルコホリックのアセスメントツールの開発.
- 2) 新井清美: 平成 25 年度 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費), アディクションの認識における変化のプロセス—患者と家族の語りから—.
- 3) 西村ユミ, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 奥原秀盛: 平成 25 年度 傾斜的研究費(部局分), 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学技術演習(分担).
- 4) 宮岡等, 森田展彰, 新井清美, 他: 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(精神障害分野 様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 分担研究 4「病的ギャンブリングの実態調査と回復支援のための研究」(研究協力).

その他

- 1) 森田展彰, 新井清美: 日本クレジット協会 アドバイザーカウンセラー講習会, 2013年10月25日.

## 国内学会発表

- 1) 坂田清美, 池田真弓, 矢島床子: 新生児の早期臍帯脱落に向けての臍処置法の検討. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集: vol.16, 31, 2013.
- 2) 栗原明子, 安達久美子, 坂田清美: 大規模分譲集合住宅における子育てネットワークの現状. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集: vol.16, 18, 2013.
- 3) 木村千里, 池田真弓, 坂田清美: 妊娠期からの母乳育児準備教育に関する文献検討. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集: vol.16, 30, 2013.

## 原著論文

- 1) 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代, 鈴木樹美:退院支援看護師の個別支援における職務行動遂行能力評価尺度の開発. 日本看護科学会誌, 33(3):3-13, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代, 成瀬昂:退院支援看護師の実践能力と関連要因の検討 - 全国調査の結果より-. 第 16 回日本地域看護学会学術集会抄録集:110, 2013.
- 2) 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代:全国の病院における看護師の退院支援の実践状況 - 「退院支援看護師」と「退院支援担当の病棟看護師」との比較 -. 第 51 回日本医療・病院管理学会学術集会抄録集:218, 2013.
- 3) 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代:「退院支援看護師」と「退院支援担当の看護師」による実践能力向上のための取り組み. 第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集:28, 2013.
- 4) 伊藤翠, 錦織梨沙, 永田智子, 戸村ひかり:訪問看護ステーション実習がもたらす病棟看護師の退院支援実施状況にもたらす効果. 第 18 回日本在宅ケア学会学術集会抄録集:130, 2014.
- 5) 錦織梨沙, 伊藤翠, 永田智子, 戸村ひかり:退院支援係を有する病院の特徴と病棟看護師の退院支援への取り組みに及ぼす効果. 第 18 回日本在宅ケア学会学術集会抄録集:131, 2014.

## 研究助成

- 1) 戸村ひかり:平成 25～27 年度 科学研究費 基盤研究 C, 病院の退院支援システムを構築するためのモデルの開発と, 有用性の検討(代表).

## その他

- 1) 石塚裕美子, 永田智子, 戸村ひかり, 村嶋幸代:内科病棟における循環器・呼吸器疾患を有する高齢患者の計画外再入院の分類と, 再入院予防策の検討. 平成 25 年度日本地域看護学会優秀論文賞

## 原著論文

- 1) 増谷順子, 太田喜久子: 軽度・中等度認知症高齢者に対する園芸活動プログラムの有効性の検討. 人間・植物関係学会雑誌, 13 (1):1-7, 2013.
- 2) 増谷順子: 園芸活動における軽度・中等度の認知症高齢者の行動変化の特徴. 日本認知症ケア学会誌, 12 (3):602-618, 2013.
- 3) 増谷順子: 認知症高齢者のためのパーソン・センタード・ケアの理論を基盤とした園芸活動プログラムの開発と有効性の検討. 慶應義塾大学, 2013, 博士論文(看護学)

## 研究助成

- 1) 増谷順子: 平成 25 年度 基本研究費, 認知症高齢者に対するケア体制のあり方に関する研究.
- 2) 増谷順子: 平成 25 年度 傾斜的研究費 部局分 若手奨励経費, 軽度・中等度認知症高齢者に対する園芸活動プログラムと音楽療法との心理・行動的効果の比較検討.
- 3) 増谷順子: 平成 25 年度 科学研究費助成(研究活動スタート支援), 認知症高齢者における園芸活動の有効性に関する実証的研究.

## 国内学会発表

- 1) 三輪聖恵:我が国における心不全看護研究の動向. 第55回全日本病院学会抄録集:100,2013.
- 2) 笠原康代, 習田明裕, 三輪聖恵,他:看護場面における看護学生のハザード知覚. 第23回日本保健科学学会学術集会抄録集:25,2013.

## 研究助成

- 1) 習田明裕, 三輪聖恵, 他:科学研究費 基盤研究(C), 臓器移植医療における院内コーディネーターの倫理的対応モデルの構築(分担).
- 2) 佐藤政枝, 三輪聖恵, 他:科学研究費 基盤研究(B), 外来患者のセルフモニタリング力を高める遠隔看護実践モデルの構築(分担).



# 理学療法学科



## 原著論文

- 1) 平野恵健, 西尾大祐, 池田誠, 新田収, 皆川知也, 木川浩志:在宅復帰した脳卒中片麻痺患者の退院後の下肢装具の使用状況と移動能力の変化について—回復期リハビリテーション病棟での家族指導の効果—. 日本義肢装具学会誌 Vol.30(1):31-37, 2014.1.

## 国際学会発表

- 1) Yoshitake Hirano, Daisuke Nishio, Shinichiro Maeshima, Aiko Osawa, Makoto Ikeda Megumi Hirano, Tomoya Minakawa, Ryota Kaneko, Kazunari Hata, Hiroshi Kigawa :Lower extremity orthosis and ambulation in stroke patients after discharge from the hospital. The 7th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine. China, 2013.6.16-20.

## 国内学会発表

- 1) 寺田友明, 池田誠:地域在住要介護者の外出に影響を与える要因の検討, 第 2 回暮らしとリハビリテーション研究会, 2014.3.15

## 原著論文

- 1) Arai M, Shiratani T. Effect of remote after-effects of resistive static contraction of the pelvic depressors on improvement of restricted wrist flexion range of motion in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther, <http://dx.doi.org/10.1016/j.jbmt.2014.11.004>, 2014.
- 2) Arai M, Shiratani T. Comparison of the effects of remote after-effects of static contractions for different upper-extremity positions and pinch-force strengths in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther. 2014, <http://dx.doi.org/10.1016/j.jbmt.2014.11.005>, 2014.
- 3) Shiratani T, Arai M.. Remote neurophysiological rebound effects of resistive static contraction using a proprioceptive neuromuscular facilitation pattern in the mid-range pelvic motion of posterior depression on the soleus H-reflex. PNF Res.15(1); 24-32, 2015.
- 4) 榎本一枝, 新井光男, 他、異なる側臥位での骨盤の静止性収縮が立位での患側の荷重量に及ぼす後効果、PNF リサーチ,15(1); 39-45, 2015.
- 5) Arai M, Shiratani T, Yanagisawa K, Ikeda M. Effect of Static Contractions Through Different Upper Extremity Position and Different Pinch Force Strengths on Improvement of Maximal Active Range of Motion of Wrist. 6(8 Suppl 2). S159, 2014.
- 6) Shiratani T, Arai M, Kuruma H, Yanagisawa K. The Effects of a Static Contraction of Pelvic Posterior Depressors on the Brain Activities Induced By an FMRI in Normal Volunteers. 6(8 Suppl 2). S122-S123. 2014.
- 7) 坪井章雄, 林隆司, 新井光男, 白谷智子, 長島緑, 目黒篤:施設版 FIM(Geriatric Health Services Facility version Functional Independence Measure: G-FIM)の信頼性・妥当性の検討. 総合リハ(. 42(5): 445-453. 2014.

## 原著論文

- 1) Goto M, Takedani H, Haga N, Kubota M, Ishiyama M, Ito S, Nitta O. Self-monitoring has potential for home exercise programs in patients with hemophilia. Haemophilia. 2014.1-7
- 2) 楠本泰士, 新田収, 松田雅弘: 歩行可能な脳性麻痺児における大腿直筋および内側ハムストリングス延長術後4週の関節トルク変化, 日本保健科学学会誌 16(1),p38-42,2013.
- 3) 後藤美和, 竹谷英之, 久保田実, 芳賀信彦, 新田収. 血友病患者に対するホームエクササイズが身体機能と日常生活活動能力に及ぼす影響. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 37 巻 1 号. 2014 年 3 月 予定.(掲載決定)
- 4) 後藤美和, 竹谷英之, 川間健之介, 新田収: 血友病患者における日常生活活動尺度の開発. 日本保健科学学会誌 16(4), 2014(掲載決定)
- 5) 平野恵健, 西尾大祐, 池田 誠, 新田収, 皆川知也, 木川浩志: 在宅復帰した脳卒中片麻痺患者の退院後の下肢装具の使用状況と移動能力の変化について—回復期リハビリテーション病棟での家族指導の効果—. 日本義肢装具学会誌 30 巻 1 号(2014 年 1 月号)(掲載決定)

## 著書

- 1) 新田収, 他 翻訳:ムーブメント, ナップ, 東京, 2013.
- 2) 新田収, 他: 小児・発達期の包括的アプローチ, 文光堂, 東京, 2013

## 総説・解説

- 1) 新田収: 子供の発達と評価の考え方および進め方, 理学療法 vol30(10),1059-1064,2013.
- 2) 新田収: 電動昇降座椅子, Journal of Clinical Rehabilitation Vol22(6),576-579.2013

## 国際学会発表

- 1) Osamu Nitta, 他 3 名: RELATIONSHIP BETWEEN SITTING POSITION AND AMYLASE, 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain,Dobai,October27-31/2013.査読あり
- 2) Osamu Nitta, 他 4 名: THE EFFECT OF BALANCE EXERCISE USING A PILLAR ON DEEP-SEATED MUSCLE OF THE BODY TRUNK, 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain,Dobai,October27-31/2013.査読あり
- 3) 3)T Matsuda ,K Shiota,O Nitta, T Shiratani・他:Effect on brain activity of cognitive motor task in healthy elderly; an fMRI study. 23rd Meeting of the European Neurological Society(Barcelona, Spain), 平成 25 年 6 月
- 4) 4)T Matsuda, O Nitta, A Senoo, T Shiratani, K Animoto, A Manji, S Watanabe, M Kinoshita : Change in brain neural activation during stress due to a continued simple cognitive task. 21st World Congress of Neurology(Vienna, Austria), 平成 25 年 9 月
- 5) 5)Matsuda T, Nitta O, Koyama T, Koshida S, Kawada K , Miyajima S, Takanashi A, Shiratani T : CHANGE IN TRUNK AND LOWER EXTREMITIES MUSCLE ACTIVITIES AND STAND-TO-SIT MOVEMENT FOLLOWING BACK TRUNK MUSCLE FATIGUE . 8th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Pain(Dubai, UAE), 平成 25 年 10 月

- 6) Matsuda T, Nitta O, Shiratani T, Koyama T, Senoo A : CHANGE IN PSOAS MAJOR MUSCLE SECTION BY TRUNK STABILITY TRAINING-AN MRI STUDY-. 8th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Pain(Dubai, UAE), 平成 25 年 10 月

#### 国内学会発表

- 1) 高橋彰子, 松田雅弘, 花井丈夫, 新田收, 根津敦夫・他: 動的脊柱装具(プレーリーくん)の装着時の外的変化と家族満足感に関するアンケート調査. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 2) 松田雅弘, 高橋彰子, 花井丈夫, 新田收, 根津敦夫・他: 脳性麻痺両麻痺児のカーボン製短下肢装具装着時の歩行効率の変化. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 3) 松田雅弘, 新田收, 小山貴之, 久保田直行, 網本和・他: 半側空間無視における iPad による動的評価と ADL 評価の関連性について. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 4) 来間弘展, 新田收, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健: ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第 48 回日本理学療法学会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5 月 26 日, 2013
- 5) 三木啓嗣, 新田收: 健常者における寝返り動作の類型化～三次元動作解析システムを用いた分析～, 第 48 回日本理学療法学会, 名古屋, 5 月 25 日, 2013 年
- 6) 三木啓嗣, 新田收: 健常者における寝返り動作の類型化～三次元動作解析システムを用いた分析～, 第 48 回日本理学療法学会, 名古屋, 5 月 25 日, 2013 年
- 7) 松田雅弘, 新田收, 藤本泰成, 妹尾淳史, 木下正信, 古川順光, 楠本泰士, 多田祐一, 小山貴之: 長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について-機能的 MRI による検討-. 第 43 回日本臨床神経生理学会学会(高知, 日本), 平成 25 年 11 月

#### 共同研究

- 1) 介護用スーツの開発 共同研究(ベル工房)
- 2) 頸部トレーニング装置の開発研究, 共同研究(旭工業)
- 3) ロボット型シルバーカーの開発研究(JST A-Step 探索型)
- 4) 介護用スーツの開発 共同研究(ベル工房)
- 5) 頸部トレーニング装置の開発研究, 共同研究(旭工業)
- 6) ロボット型シルバーカーの開発研究(JST A-Step 探索型)

## 原著論文

- 1) 藤野 雄次, 網本 和, 佐藤 大, 播本 真美子, 深田 和浩, 門叶 由美, 高石 真二郎: 健常高齢者における座位最大側方移動動作での体幹角度分析 検者内信頼性の検討. 理学療法-臨床・研究・教育 20 卷 47-50(2013.)
- 2) 万治 淳史, 網本 和, 諸持 修, 内田 亮太: 脳卒中後片麻痺患者における移乗動作の動作相別時間の特性 健常若年者・健常中高年者・片麻痺患者での 3 群比較. : 理学療法-臨床・研究・教育 20 卷 15-19(2013)

## 著書

- 1) 網本和, 菅原憲一・編著:「物理療法学 第4版」医学書院 2013年
- 2) 網本和, 渡辺学「高次脳検査」:原寛美・吉尾雅春編著「脳卒中理学療法の理論と技術」pp241-265. メジカルビュー 2013年6月
- 3) 網本和「高次脳機能障害①」:石川朗・他編著「臨床実習フィールドガイド第2版」pp70-79,南江堂, 2014年2月.

## 総説・解説

- 1) 網本 和, 渡辺 学:【脳のシステム障害と理学療法】視床・頭頂葉系の障害と理学療法:理学療法ジャーナル 47 卷 19-26(2013)

## 国際学会発表

- 1) Fujino Y, Saito T; Hosoya T; Fukata K; Koizumi Y; Takaishi S; Maeshima S; Togano Y; Yanagisawa K; Amimoto K; Harimoto M; Ootsuka Y: ANALYSIS OF EMG ACTIVITY OF THE TRUNK DURING LATERAL TRANSFER IN SITTING ON ACUTE HEMIPARETIC PATIENTS. ISEK2012, PMRE\_P1.1
- 2) YotaKunieda, Kazu Amimoto, Seiki Kaneko, Toru Matsumoto, Tomoya Imai, Hiroshi Miki, HaruhikoHoshino: FFECT OF SIT-TO-STAND EXERCISE WITH WEIGHT BEARING BIOFEEDBACK ON THE FUNCTIONAL OUTCOME OF THE AFFECTED LIMB IN ACUTE STROKE PATIENTS. ISEK2012, PMRE\_P2.3
- 3) Atsushi Manji, Kazu Amimoto, Osamu Moromochi, Mamiko Suzuki,Seibi Kobara, Ryota Uchida: THE EFFECT OF HANDRAIL ON MUSCULAR ACTIVITY OF THE TRUNK AND LOWER EXTREMITIES DURING SIT-TO-STAND TASK. ISEK2012, POBG\_P3.7

## 国内学会発表

- 1) 渡辺 学, 網本 和:半側空間無視例の電動車いす操作能力. 高次脳機能研究 34 卷 1 号 46(2014.03)
- 2) 深田 和浩, 藤野 雄次, 網本 和, 井上 真秀, 蓮田 有莉, 森田 菜々恵, 細谷 学史, 高石 真二郎, 牧田 茂, 高橋 秀寿: 健常者の前額面・矢状面における垂直認知の測定の再現性の検討. 神経心理学 85)29 卷 4 号 314(2013.12)

- 3) 藤野 雄次, 網本 和, 井上 真秀, 深田 和浩, 細谷 学史, 蓮田 有莉, 森田 菜々恵, 高石 真二郎, 牧田 茂, 高橋 秀寿: 発症早期の脳血管障害患者における垂直認知の半球間差異. 神経心理学 29 卷 4 号 314(2013.12)
- 4) 万治 淳史, 諸持 修, 内田 亮太, 石塚 慎一, 大河内 真奈, 網本 和: 回復期片麻痺患者における視覚的および身体的垂直認知に関する検討. 37 回日本神経心理学学会総会プログラム・予稿集 Page155(2013.08)

#### 研究助成

- 1) 平成 24 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局競争的)

## 原著論文

- 1) Terayama H, Yi SQ, Hirai S, Qu N, Naito M, Hatayama N, Kawata S, Itoh M: Gross anatomical study of bilateral megaureters associated with renal pelvis dilatation and a giant urinary bladder: an adult cadaver with a brief review of the literature. Anat Sci Int 88:171-174, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 山口 豪, 堀 紀代美, 小酒井 友, 中村恒夫, 白石昌武, 易 勤, 尾崎紀之: イソプロテレノール投与による虚血性心筋傷害疼痛モデルの有用性の検討. 形態・機能:12, 2013.
- 2) 山口 豪, 易 勤, 堀 紀代美, 白石昌武, 中村恒夫, 尾崎紀之: Isoproterenol 虚血性心筋傷害疼痛モデルにおける行動学的ならびに脊髄後角ニューロンにおけるc-fos発現の変化. 第118回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 88, 2013.
- 3) 堀 紀代美, 林 功栄, 安井正佐也, 杉浦康夫, 白石昌武, 中村恒夫, 易 勤, 山口 豪, 尾崎紀之: 新たに開発したモデル動物を用いた末梢性動脈疾患に伴う疼痛機序の解明. 第118回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集:88, 2013.

## 研究助成

- 1) 易 勤: 科学研究費, スクスにおける抗内臓脂肪蓄積のメカニズムの解析(研究代表者).

## 原著論文

- 1) 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 見供翔, 松村将司, 畠昌史, 清水洋治, 竹井仁:超音波画像を用いた深筋膜移動距離測定信頼性の検討. 日保学誌 16(1):21-28,2013.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 見供翔, 竹井仁:若年健常者の骨盤と下肢の姿勢分類-アライメント・関節可動域・筋力との関係-. 日保学誌 16(1):29-37,2013.
- 3) 見供翔, 竹井仁, 石井彩也香, 市川和奈:健常者に対する有酸素性運動と低周波電気刺激を併用した運動が運動耐容能及び筋力におよぼす影響. 日保学誌 16(2):66-73,2013.
- 4) 勝又泰貴, 竹井仁, 若尾和昭, 田中進吾, 小川真由, 堀拓朗:筋膜リリースを施行した筋に対する筋再教育の影響. 徒手理学療法 13(2):39-45,2013.

## 著書

- 1) 竹井仁:リハビリテーション 1 物理療法. 198-205. 森本昌宏編, 肩こりの臨床-関連各科からのアプローチ-. 克誠堂出版株式会社, 東京, 2013.
- 2) 竹井仁:リハビリテーションのための病期分類システム. 41-59, 竹井仁, 鈴木勝監訳, 続 運動機能障害症候群のマネジメント-頸椎・胸椎・肘・手・膝・足-, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2013.
- 3) 竹井仁:筋膜マニピュレーション. 46-60, 嶋田智明・有馬慶美・斉藤秀之編, 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイダンス 筋・骨格系理学療法, 文光堂, 東京, 2013.
- 4) 竹井仁(監修):ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典. 株式会社西東社, 東京, 2013.
- 5) 竹井仁(全訳):運動療法・徒手療法ビジュアルポケットガイド(Carolyn Kisner, Lynn Allen Colby). 医歯薬出版株式会社, 東京, 2013.
- 6) 竹井仁・金子満寛:徒手療法. 424-439, 新田収・竹井仁・三浦香織編, 小児・発達期の包括的アプローチ-PT・OTのための実践的リハビリテーション, 文光堂, 東京, 2013.

## 総説・解説

- 1) 竹井仁:姿勢の評価と治療アプローチ. 脊髄外科 27(2):119-124,2013.
- 2) 竹井仁:ストレイン・カウンターストレインの理論と治療手技の紹介. 医道の日本 72(10)81-85,2013.

## 国際学会発表

- 1) Daisuke Ogawa, Hideyuki Usa, Teppei Abiko, Kazuna Ichikawa, Youji Shimizu, Masashi Matsumura, Shou Mitomo, Masafumi Hata, Hitoshi Takeji: Analysis of separation distance that accompanies continuous traction of normal knee joints using ultrasound imaging. PROGRAM & ABSTRACTS(The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT congress 2013)I-P191,2013.
- 2) Ricoh Hirao, Hitoshi Takeji, Jun Kurokawa, Akihiro Tsuchiya, Izumi Kanisawa, Kenji Takahashi, Hiroki Sakai, Tomonori Nagai: The effect of conservative interventions for femoroacetabular impingement in athletic patients. PROGRAM & ABSTRACTS(The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT congress 2013)K-P220,2013.

## 国内学会発表

- 1) 古谷英孝, 見供翔, 吉田昂広, 朝重信吾, 竹井仁: 健常者における肩関節運動方向の違いが烏口肩峰靭帯の上方歪み量に及ぼす影響. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 基礎-046,2013.
- 2) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井仁, 柳澤健: 徒手筋力検査 grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違 - 膝関節伸展運動での検討 -. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-038,2013.
- 3) 小川大輔, 宇佐英幸, 安彦鉄平, 松村将司, 畠昌史, 市川和奈, 見供翔, 清水洋治, 竹井仁: 超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離解距離の解析 - 牽引時間の違いが及ぼす影響について -. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-156,2013.
- 4) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 見供翔, 竹井仁: 健常成人における骨盤と下肢アライメントの年代比較と性差の分析. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-218,2013.

## その他

- 1) 竹井仁: タイプ別肩こり解消講座. すこやかファミリー4月号:6-9, 株式会社法研, 東京, 2013.
- 2) 竹井仁: 「大人の保健室」年々, 肩こりがひどくなる… . マリソル 7(2):217, (株)集英社, 東京, 2013.
- 3) 竹井仁: 悪い姿勢を正したるみ撃退! 指を組んで引っ張ると二の腕が締まりバストアップ. 壮快 40(7):30-33, 株式会社マキノ出版, 2013.
- 4) 竹井仁: 運動で健康 梅雨こそ肩こり解消!. NHK テレビテキストきょうの健康 2013年6月号:28-31, 日本放送出版協会, 2013.
- 5) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「腰周辺の筋肉をほぐして, 伸ばして, 腰のたるさや腰痛を解消」. 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0103.html>
- 6) 竹井仁: “あの頃の顔”戻ります! 整形いらずのアラフォー「顔たるみ」解消テク. からだにいいこと 9(7):12-19, 祥伝社, 東京, 2013.
- 7) 竹井仁: 骨盤矯正は本当に痩せるか?. ターザン 28(12):56-57. マガジンハウス, 2013.
- 8) 竹井仁: 体の負担を減らせるバッグの持ち方. 日経ビジネス Associé12(10):70-72. 日経 BP 社, 2013.
- 9) 竹井仁: 肩こりの原因は猫背にあり! 姿勢改善ストレッチのすすめ. メジャークラブ通信 No.34:16. 大陽日酸株式会社, 2013.
- 10) 竹井仁: ぶり返す, 消えないこりは, “深い部分のこり”が原因! 現代人の“ミルフィーユこり”. ピップ製品情報 2013. <http://www.pip-club.com/enjoy/millefeuille/index.html>.
- 11) 竹井仁: ストレッチで姿勢を変えて, お尻とバスのたるみを解決! 日経ヘルス 16(10):14-21, 日経 BP 社, 2013.
- 12) 竹井仁: はじめよう! 自分でできる体づくり. NHK テレビテキストきょうの健康 2013年9月号:4-23, 日本放送出版協会, 2013.
- 13) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 6 脚のむくみ」. 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0106.html>
- 14) 竹井仁: 「筋膜リリース」でシワとたるみを撃退. オレンジページ 29(20):88-91, (株)オレンジページ, 東京, 2013.
- 15) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 7 太もも裏側」. 株式会社

- 法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0108.html>
- 16) 竹井仁:まるで「ミルフィーユ」, しつこい肩こりの解消法は. 日本経済新聞 Web 版, 2013 年 10 月 9 日. [http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK25011\\_V20C13A9000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK25011_V20C13A9000000/)
  - 17) 竹井仁:頑固な肩凝りはミルフィーユが原因だ. 日刊ゲンダイ 14 面, 2013 年 10 月 16 日.
  - 18) 竹井仁:姿勢が悪いと腹肉が溜まるって知ってた?. シュシュアリス vol.1:28-31, 株式会社 KADOKAWA, 2013.
  - 19) 竹井仁:「ミルフィーユこり」かも. 東京新聞 28 面. 2013 年 11 月 19 日発行.
  - 20) 竹井仁:夜や明け方に脚がつるのは, 座りっぱなしと関係があるの?. 日経ヘルス 1 月号 17(1):50, 日経 BP 社, 2013.
  - 21) 竹井仁:goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 8 お尻の外側」. 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0110.html>
  - 22) 竹井仁:ミルフィーニこり. みんなの家庭の医学. 2014Vol.5:59, 2013.
  - 23) 竹井仁:ミルフィーニこりが原因. 朝日新聞 be:e5 面. 2013 年 12 月 21 日発行.
  - 24) 竹井仁:たるみ解消! 朝の 20 歩「見返り歩き」. 日経ヘルス 2 月号 17(3):22-25, 日経 BP 社, 2014.
  - 25) 竹井仁:知っていると知らないでは大違い, 日本の理学療法士界の現状とは. ターザン 29(3):86-87. マガジンハウス, 2014.
  - 26) 竹井仁:goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 9 足の冷え」. 株式会社法研, 東京, 2014. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0112.html>
  - 27) 竹井仁:竹井式 90 秒超伸びストレッチ. 健康情報「2014 年春」第 55 号:14-17. 明治安田ライフプランセンター株式会社, 東京, 2014.
  - 28) 竹井仁:ポッコリ下腹・ずん胴・太ももが締まる! 確実にやせる「寝たまま筋トレ」. ゆほびか 20(5):31-41, マキノ出版, 2014.
  - 29) 竹井仁:整えるだけで 5 歳若返る!?カラダの要, 股関節&仙腸関節. ターザン 29(6):24-29. マガジンハウス, 2014.
  - 30) 竹井仁:頭痛, 肩こり, 腰痛ケア最前線! 鍵は「脳神経」と「筋膜」にあり. an・an45(13):40-43, マガジンハウス, 2014.
  - 31) 竹井仁:ミルフィーユ肩こり. ホットペッパー(渋谷・恵比寿)4 月号:224-225, リクルート, 2014.
  - 32) 竹井仁:あさいち. すご技 Q「めざせ!“首美人”」. 2013 年 5 月 14 日(火)NHK 総合.
  - 33) 竹井仁:世界一受けたい授業. 「最新科学でわかった! 腰痛危険度チェック&奇跡のストレッチ」. 2013 年 6 月 8 日(土)日本テレビ.
  - 34) 竹井仁:所さんの目がテン! 「大人気ストレッチの科学」. 2013 年 6 月 9 日(日)日本テレビ.
  - 35) 竹井仁:きょうの健康. 「運動で健康 梅雨こそ肩こり解消!」. 2013 年 6 月 27 日(木)NHK E テレ.
  - 36) 竹井仁:世界一受けたい授業. 「世界一受けたい授業 SP48 人は短期間でどこまで変えられるか? スペシャル」JO 脚改善. 2013 年 6 月 29 日(土)日本テレビ.
  - 37) 竹井仁:クイズ面白ゼミナール R. 「日本人とスマホ」. 2013 年 7 月 20 日(土)NHK BS プレミアム.
  - 38) 竹井仁:はなまるマーケット. 足のむくみ・膝の黒ずみ・こむら返り. 2013 年 8 月 12 日(月)TBS.
  - 39) 竹井仁:きょうの健康. 「はじめよう! 自分でできる体づくりー手・腕の力を取り戻す」. 2013 年 9 月 9 日(月)NHK E テレ.
  - 40) 竹井仁:きょうの健康. 「はじめよう! 自分でできる体づくりー上半身を鍛えよう」. 2013 年 9 月 10 日(火)NHK E テレ.

- 41) 竹井仁:きょうの健康。「はじめよう！自分でできる体づくりー足腰をもっと丈夫に」。2013年9月11日(水)NHK E テレ.
- 42) 竹井仁:きょうの健康。「はじめよう！自分でできる体づくりー全身の動きを改善」。2013年9月12日(木)NHK E テレ.
- 43) 竹井仁:モーニングバード。「アカデミヨシズミ」肩こり。2013年9月23日(月)テレビ朝日.
- 44) 竹井仁:おはよう日本。「けんコン！」肩こり。2013年9月24日(火)NHK 総合.
- 45) 竹井仁:人体科学ミステリー アノ有名人のカラダを最新科学で大解剖SP. SKE 須田さんのコーナーの監修。2013年9月26日(木)TBS.
- 46) 竹井仁:世界一受けたい授業。「下半身太り解消」。2013年10月12日(土)日テレ.
- 47) 竹井仁:駆け込みドクター！運命が変わる健康診断。姿勢の改善エクササイズ紹介。2013年11月24日(日)TBS.
- 48) 竹井仁:TBS ラジオ 森本毅朗スタンバイ！「現場にアタック」。2013年11月25日(月)TBS.
- 49) 竹井仁:姫のわがままライフサイエンス。ストレッチングの解説。2013年12月2日(月). BS 日テレ.
- 50) 竹井仁:グッド！モーニング。ミルフィーユこり。2013年12月11日(水)テレビ朝日.
- 51) 竹井仁:グッド！モーニング。冬の肩こり。2013年12月25日(水)テレビ朝日.
- 52) 竹井仁:モーニングバード。尿もれ予防体操。2013年12月30日(月)テレビ朝日
- 53) 竹井仁:スッキリ!!!。深い肩こり。2014年1月21日(火)日テレ.
- 54) 竹井仁:はなまるマーケット。寒い冬でもお家でできる！簡単痩せ習慣「体のゆがみ・たるみを取る！見返りストレッチ&ウォーキング」。2014年2月17日(月)TBS.
- 55) 竹井仁:世界一受けたい授業。「冬についての脂肪も顔たるみもスッキリ！太る原因 骨ゆがみを1日3分でリセット！」。2014年3月1日(土)日テレ.
- 56) 竹井仁:あさイチ。すご技 Q「バッグ美人への道(3)さらば！肩こりバッグ」。2014年3月4日(火)NHK 総合.
- 57) 竹井仁:中西哲生のクロノス“追跡 ヘルシアコーヒー スマートライフ”「第49回:脂肪燃焼強化月間！脂肪燃焼の基礎知識」。2014年3月4日(火). TOKYO FM.
- 58) 竹井仁:中西哲生のクロノス“追跡 ヘルシアコーヒー スマートライフ”「第49回:脂肪燃焼強化月間！脂肪燃焼と運動の関係」。2014年3月11日(火). TOKYO FM.

## 国内学会発表

- 1) 新潟県三条市さんちゃん健康サークル活動の介護保険給付費抑制効果, 山田 拓実, 72 回日本公衆衛生学会総会, 411, 2013 年 10 月, 三重
- 2) 運動メニューを強化した総合型プログラム「おげんきランチ」の効果, 今泉 厚子, 渡邊 友香里, 山田 拓実, 72 回日本公衆衛生学会総会, 397, 2013 年 10 月, 三重
- 3) 変形性膝関節症患者の膝関節間力に対する股関節内転筋群の作用のシミュレーションによる検討, 大見武弘, 山田拓実, 江原義弘, 第 48 回日本理学療法学会大会, 理学療法学 40 巻大会特別号 3 PageP-A, 名古屋
- 4) 災害時のための動的医療ロジスティクスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて 東日本大震災後のアンケート調査から, 大嶋 伸雄, 山田 拓実, 安達 久美子, 石川 陽子, 金 寿蓮, Reeves Scott, 高木 大輔, 保健医療福祉連携 7 巻 1 号 58-59, 2014.3 月, 宮城
- 5) 車いすクッションと車いす座面のたわみが座位動作に与える影響の検討, 森田智之, 山田拓実, 第 9 回日本シーティング・シンポジウム, 平成 25 年 11 月, 東京

## 研究助成

- 1) 平成 24～26 年 基盤研究(C)障害者・要介護高齢者向け健康体操の参加者, 介護者, および地域社会への影響

## 著書

- 1) 池田由美・浅野大喜:認知の発達を知らう. 新田收・竹井仁・三浦香織(編), 小児・発達期の包括的アプローチ-PT・OTのための実践的リハビリテーション:87-100, 文光堂, 東京, 2013.

## 国際学会発表

- 1) K. Goto, Y. Ikeda, T. Matsuda, H. Kuruma, A. Senoo: Analysis of cerebral neural activity during dual-task performance of cognitive motor tasks. 23th Meeting of the European Neurological Society. vol. 260 (supplement1): S101, 2013.
- 2) T. Matsuda, K. Shiota, O. Nitta, T. Shiratani, A. Senoo, Y. Ikeda, K. Goto: Effect on brain activity of cognitive motor tasks in healthy elderly : an fMRI study. 23th Meeting of the European Neurological Society. vol. 260 (supplement1): S103, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 榎戸淳・池田由美:足関節位置覚の変化が立位制御に影響を及ぼした一症例～パーキンソン病患者に対する効果～. 第48回日本理学療法学会大会 40(suppl. 1):143, 2013.
- 2) 中里瑠美子・池田由美:運動制御から動作の構築へ-「身体を介して世界の意味を創る」を再考する. 日本認知神経リハビリテーション学会学術集会抄録集:33, 2013.

## 原著論文

- 1) 國廣哲也・来間弘展・向井英司・小川健:膝痛に対し多面的アプローチが功を奏した一症例. 徒手理学療法, 13:53-59, 2013.

## 総説

- 1) 来間弘展:【アスリートに対するコンディショニング-徒手療法と体幹トレーニングの意義と実際-】徒手療法 筋膜リリース. 臨床スポーツ医学, 30:1163-1167, 2013

## 国際学会発表

- 1) Kuruma H, Nitta O, Tawara N, Shida N, Kamio H, Furukawa Y, Watanabe S, Yanagisawa K: Application of magnetic resonance imaging signal intensities for evaluating the activities of shoulder cuff muscles. The 12<sup>th</sup> Annual Conference and Supplementary Education of KSPTA, 21-23, 2013

## 国内学会発表

- 1) 来間弘展, 新田收, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健:ハヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第48回日本理学療法学会大会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5月26日, 2013
- 2) 瓦田恵三, 中丸宏二, 波戸根行成, 相澤純也, 小山貴之, 松本高志郎, 来間弘展, 新田收, 橋本明秀:頸部痛に対する専用機器を用いた頸部屈曲エクササイズが主観的・客観的アウトカムに及ぼす影響. 第48回日本理学療法学会大会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5月26日, 2013
- 3) 神尾博代, 山口光圀, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田收, 金子誠喜:歩行における身体組成への効果についての検討. 第23階日本保健科学学会学術集会, 日本保健科学学会誌 16:32, 2013
- 4) 國廣哲也・来間弘展・向井英司・小川健:鼠径部痛に対し胸郭・骨盤帯へのアプローチにて改善を認めた症例. 第18回日本徒手理学療法学会学術大会, 9月21日, 2013

## 研究助成

- 1) 来間弘展:科学研究費:慢性頸部痛に対する頸部深部筋トレーニングの確立.

## 国際学会発表

- 1) Nitta O, Takebayashi M, Matsuda T, Koyama T, Furukawa Y: The effect of balance exercise using a pillar on deep-seated muscle of the body trunk. Proc. of 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain: 2013.
- 2) Nitta O, Matsuda T, Koyama T, Furukawa Y: Relationship between sitting position and amylase. Proc. of 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain: 2013.

## 国内学会発表

- 1) 古川順光:姿勢保持・変換時における心拍数変化の分析. 理学療法学, 40(Suppl.2):PA-基礎-161, 2013
- 2) 来間弘展, 新田収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健:ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 理学療法学, 40(Suppl.2):PA-基礎-227, 2013
- 3) 山元佐和子, 古川順光, 新田収:虚血性心疾患患者の運動負荷試験における運動開始時の換気応答と嫌気性代謝閾値の関係. 理学療法学, 40(Suppl.2):OC-内部-065, 2013
- 4) 神尾博代, 山口光國, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田 収, 金子誠喜:歩行による身体組成への効果についての検討. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl.):32, 2013
- 5) 浅野貞美, 上畑昭美, 古川順光, 臼井直人, 小林拓郎:末梢動脈疾患を合併した血液透析患者に対する低負荷運動療法の効果についての検討. 日本透析医学会雑誌, 46(Suppl.1):788, 2013
- 6) 中俣修, 山崎敦, 古川順光, 新田収:連続跳躍動作における下肢・体幹運動と床反力との関係. 体力科学, 62(6):640, 2013
- 7) 新田収, 藤本泰成, 木下正信, 松田雅弘, 古川順光:指先の加速度脈波データカオス解析によるストレス評価結果と血中唾液アミラーゼの関係. 臨床神経生理学, 41(5):465, 2013
- 8) 松田雅弘, 新田 収, 藤本泰成, 妹尾淳史, 木下正信, 古川順光, 楠本泰士, 多田裕一, 小山貴之:長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について 機能的MRIによる検討. 臨床神経生理学, 41(5):487, 2013

## 原著論文

- 1) 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 見供 翔, 松村将司, 畠 昌史, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた深筋膜移動距離測定信頼性の検討. 日本保健科学学会誌, 16(1):21-28, 2013.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 見供 翔, 竹井 仁: 若年健常者の骨盤と下肢の姿勢分類 —アライメント・関節可動域・筋力との関連—. 日本保健科学学会誌, 16(1):29-37, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井 仁, 柳澤 健: 徒手筋力検査 grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違 膝関節伸展運動での検討. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 2) 来間弘展, 新田 収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤 健: ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 3) 小川大輔, 宇佐英幸, 安彦鉄平, 松村将司, 畠 昌史, 市川和奈, 見供 翔, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離解距離の解析 牽引時間の違いが及ぼす影響について. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 4) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 見供 翔, 竹井 仁: 健常成人における骨盤と下肢アライメントの年代比較と性差の分析. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.

## 研究助成

- 1) 宇佐英幸: 平成 25 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費), MRIによる脊椎椎間孔の断面積および孔径計測の信頼性.

## 国内学会発表

- 1) 神尾 博代, 山口 光国, 信太 奈美, 古川 順光, 来間 弘展, 新田 収, 金子 誠喜: 歩行による身体組成への効果についての検討. 日本保健科学学会誌, 16(suppl):32, 2013.
- 2) 来間 弘展, 新田 収, 古川 順光, 信太 奈美, 神尾 博代, 宇佐 英幸, 柳澤 健: ハヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 理学療法学, 40(Suppl.1), 2013.

## 研究助成

- 1) 神尾博代, 信太奈美: 平成24年度共同研究費, 株式会社タコー. 製品「脚の体操 1.2.3.®」の使用効果に関する研究.

## 国内学会発表

- 1) 来間弘展, 新田収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健 ハイヒール形状の違いが立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について 理学療法学 P-A 基礎-227 2013
- 2) 神尾博代, 山口光国, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田収, 金子誠喜 歩行による身体組成への効果についての検討 日本保健科学学会誌 16(suppl): 32-32, 2013.

## 研究助成

- 1) 信太奈美:平成 25 年度首都大学東京傾斜的配分研究費(部局分・若手奨励経費)競技用車いすの駆動フォームを決定づける要因に関する研究
- 2) 信太奈美:平成 23~25 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B):障害者スポーツの社会的意義に基づいたマネジメントモデルの提案

# 作業療法学科



## 原著論文

- 1) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発. 作業行動研究 17(1):1-9. 2013年6月.
- 2) 野藤弘幸, 山田孝, 小林法一, 石井良和: 日本語版・人間作業モデルスクリーニングツールの信頼性に影響する要因の検討. 作業行動研究 17(1):19-25. 2013年6月.
- 3) 久米裕, 石井良和: 入院から地域生活へ移行するアルコール性認知症のクライアントに対する人間作業モデルアプローチの有用性. 作業行動研究 17(1):46-55. 2013年6月.
- 4) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 「高齢者における余暇活動の楽しさ」定義の妥当性の検討. 作業療法, 32(6):547-557, 2013.
- 5) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 「高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法」の表面的・内容的妥当性の検討. 作業行動研究 17(3):163-173. 2013年9月.
- 6) Hiroyuki Notoh, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Kirsty Forsyth: Examining the Psychometric Properties of the Model of Human Occupation Screening Tool-Japanese Version. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 26-31, 2013.

## 著書

- 1) 石井良和: OSA II (作業に関する自己評価・改訂版). 齋藤佑樹・編集, 作業で語る事例報告: 作業療法レジメの書きかた・考えかた:58-59, 医学書院, 東京, 2013.

## 総説

- 1) Kirsty Forsyth(山田孝・編, 石井良和, 港美雪・訳): 総説 作業療法におけるプロフェッショナルリーズニング. 作業行動研究 17(2):71-74. 2013年9月.

## 研究報告書

- 1) 石橋裕, 石井良和: メイクアップによる障害者支援方法の確立: カネボウ化粧品株式会社, 東京工科大学3社連携事業報告書, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Hitomi ISHIBASHI, Yoshikazu ISHII, Yu Ishibashi, Yumi Takada, Mika Shimoda : Cosmetic issues with women with mental disorder.- By inquiries for occupational therapists-. World Psychiatric Association Congress ,Vienna, Austria, 2013
- 2) Tanimura A, Ishii Y: Outcomes of the community-based participatory action research by users of mental health services. World Psychiatric Association International Congress 2013, October 27-30, 2013.
- 3) Norikazu Kobayashi , Takashi Yamada, Hironori Kawamata, Yu Ishibashi, Atsuko Tanimura, Yoshikazu Ishii: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, 2013.
- 4) Toshihiro Honke, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi, Li Congno: Development of the Elderly version

### 国内学会発表

- 1) 麓文太, 石井良和:発症早期からの叙述的リーズニング～自宅退院に至った症例への経験を通して～. 第44回北海道作業療法学会. 2013年6月. 札幌.
- 2) 谷村厚子, 山田孝, 石井良和:精神保健サービス利用者による当事者参加型アクションリサーチの成果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 3) 石橋裕, 石橋仁美, 石井良和, 高田夕美, 下田美香:社会参加支援プログラム(SSPC)参加者の化粧と健康づくりへの関心の傾向. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013.
- 4) 石橋仁美, 石橋裕, 石井良和, 高田夕美, 下田美香:「化粧」を用いた支援の実態調査-精神障害領域における文献レビューより. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013.
- 5) 上原 栄一郎, 石井良和:精神科デイケア「初期適応質問紙」臨床版と面接シートの開発～臨床試用版によるデイケア利用者の項目分析から～. 日本精神障害者リハビリテーション学会第21回 沖縄大会, 2013年11月.
- 6) 佐藤早希, 石井良和:緩和ケア期・終末期における作業療法士の実践プロセス～末期がんを患ったクライアントは「何者であろうとしたか」～. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 112, 2013. 岡山.
- 7) 高木大輔, 石井良和, 山田孝:高齢者における健康統制感が作業療法プログラムの効果指標に与える影響～MOHOプログラムと手芸プログラムの比較～. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 117, 2013. 岡山.
- 8) 神保洋平, 石井良和, 小林法一:作業の意味に焦点をあてた作業療法に対する文献研究. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 130, 2013. 岡山.
- 9) 山田孝, 小林法一, 石井良和, 會田玉美:認知症高齢者に対する作業療法士のニーズ調査. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 136, 2013. 岡山.
- 10) 石井良和, 藤田尚子, 石井奈智子, 阿部勇太:精神療養病棟における認知症患者の行動評価と人間作業モデルスクリーニングツールとの関連性に関する研究. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013. 大阪.
- 11) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発 表面的・内容的妥当性の検討. 第47回日本作業療法学会抄録集:P430-Lf, 2013.

## 原著論文

- 1) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:「高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法」の表面的・内容的妥当性の検討. 作業行動研究 17(3):163-173, 2013.
- 2) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:「高齢者における余暇活動の楽しさ」定義の妥当性の検討. 作業療法, 32(6):547-557, 2013.
- 3) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発. 作業行動研究 17(1):1-9, 2013.
- 4) 野藤弘幸, 山田孝, 小林法一, 石井良和:日本語版・人間作業モデルスクリーニングツールの信頼性に影響する要因の検討. 作業行動研究 17(1):19-25, 2013.
- 5) 井口知也, 山田孝, 小林法一:認知症高齢者の絵カード評価法を用いた2事例の報告 認知症高齢者に対するクライアント中心の考え方と作業に焦点を当てた作業療法実践を目指して. 作業行動研究 17(2):75-87, 2013.
- 6) 小林法一, 谷村厚子:作業療法における地域生活支援 登録された事例報告のレビュー. 作業療法, 32(3):206-213,2013.
- 7) 小林幸治, 小林法一, 山田孝:病院の作業療法で行われている脳血管障害者の心理社会面への支援を構成する要因の検討. 作業行動研究 16(4):237-247, 2013.
- 8) 藤田芽名, 川又寛徳, 小林法一, 山田孝:施設生活で求められる作業療法支援 クライアントを作業的存在として捉えた支援の一事例. 作業行動研究 16(3):193-200, 2012.
- 9) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The relationship between homebound status, occupational competence, and HRQOL. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 4-13, 2013.
- 10) Hiroyuki Notoh, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Kirsty Forsyth: Examining the Psychometric Properties of the Model of Human Occupation Screening Tool-Japanese Version. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 26-31, 2013.

## 著書

- 1) 小林法一:VQ(意志質問紙). 齋藤佑樹編集, 作業で語る事例報告: 作業療法レジメの書きかた・考えかた:64-65, 医学書院, 東京, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Toshihiro Honke, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi, Li Congno: Development of the Elderly version of Leisure-time Activity Enjoyment Scale. 8th Beijing International Forum on Rehabilitation, Beijing, China, 2013.
- 2) Norikazu Kobayashi, Takashi Yamada, Hironori Kawamata, Yu Ishibashi, Atsuko Tanimura, Yoshikazu Ishii: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 小林法一, 山田 孝, 川又寛徳, 石井良和:作業療法学生の大学生生活適応状況に関する調査. 第47回日本作業療法学会抄録集:0396, 2013.
- 2) 鈴木絵里子, 小林法一:当院外来作業療法に長期に渡って通院する脳血管障害者の外来通院理由についての探索的検討. 第47回日本作業療法学会抄録集:P588-Lf, 2013.
- 3) 野本潤矢, 楠本直紀, 小林法一:我が国の認知症予防を目的とした作業療法介入効果に関する文献的考察. 東京作業療法 2:65-66, 2013.
- 4) 江口悠樹, 小林法一:脳血管疾患者に対する調理を用いた作業療法の実践内容と効果に関する文献レビュー. 東京作業療法 2:65, 2013.
- 5) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕:学生生活適応プログラムの効果. 第47回日本作業療法学会抄録集:0397, 2013.
- 6) 小林幸治, 山田孝, 小林法一:脳卒中者の心理社会面への援助モデルの臨床的活用法プレセミナー. 東京作業療法 2:49, 2013.
- 7) 川又寛徳, 山田孝, 小林法一:平成24年度沖縄市65歳大学のプロセス評価. 第47回日本作業療法学会抄録集:P460-La, 2013.
- 8) 猪股英輔, 三浦南海子, 折茂賢一郎, 小林法一:認知症高齢者に対する「色カルタ(クオリア・ゲーム)」の効果～感情表出に着目して～. 認知症ケア学会誌 12(1):237, 2013.
- 9) 山田孝, 小林法一, 石井良和, 會田玉美:認知症高齢者に対する作業療法士のニーズ調査. 作業行動研究 17(2):136, 2013.
- 10) 岡義広, 小林法一, 山田孝, 川又寛徳:作業に関する知識の共有から自発的にニーズを見出した事例. 作業行動研究 17(2):110, 2013.
- 11) 井口 知也, 山田 孝, 小林法一:アプリ版認知症高齢者の絵カード評価法の開発と臨床使用の経験. 作業行動研究 17(2):122, 2013.
- 12) 神保洋平, 石井良和, 小林法一:作業の意味に焦点をあてた作業療法に対する文献研究. 作業行動研究 17(2):130, 2013.
- 13) 安永雅美, 小林法一:フローモデルからみた高齢者の日常生活の経験. 第47回日本作業療法学会抄録集:P450-Lc, 2013.
- 14) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発 表面的・内容的妥当性の検討. 第47回日本作業療法学会抄録集:P430-Lf, 2013.

## 研究助成

- 1) 小林法一:文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 C), 介護予防プログラムの効果を高める自己学習型ニーズ評価システムの開発.

## その他

- (ア) 小林法一:生活行為向上マネジメント(平成24年度研究事業の成果) 廃用症候群に対する生活行為向上マネジメントと介護支援専門員との連携. 日本作業療法士協会誌 16:32-33, 2013.
- (イ) 小林法一 著・編集協力:Chapter13 形態別介護技術, クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説 2013. pp427-512, メディックメディア, 2013.
- (ウ) 一般社団法人日本作業療法士協会主催生涯教育講座, 「認定作業療法士取得講座:選択研

修く老年期〉, 高齢者・高齢障害者に対する作業療法」講師, 2013.

(エ) 一般社団法人日本作業療法士協会主催生涯教育講座, 「認定作業療法士取得講座: 共通研修く研究法〉, 統計解析の基礎知識」講師, 2013.

(オ) 一般社団法人東京都作業療法士会主催「現職者共通研修: エビデンスと作業療法」講師, 2013.

(カ) 日本職業リハビリテーション学会第41回大会ワークショップ, 「作業(Occupation)は, 私たちの生活を健康にするって, 本当?」講師, 2013.

(キ) 一般社団法人三重県作業療法士会主催研修会「わかりやすい人間作業モデル～事例を踏まえて～」講師, 2013.

## 原著論文

- 1) 山本麻子, 大嶋伸雄: 左半側空間無視患者の障害に対する気づきのプロセス. 作業療法, 32(2): 160-170, 2013.

## 著書

- 1) 大嶋伸雄: 序章・認知行動療法の概略と作業療法における効果について. 臨床作業療法における様々な心理課題. 作業療法のための認知行動療法の応用基礎. 大嶋伸雄編著, 患者力を引き出す作業療法:2-11,46-57,76-110,122-125, 三輪書店, 東京, 2013.

## 総説・解説

- 1) 大嶋伸雄: 認知行動療法. 作業療法ジャーナル(増刊号), 47(7):784-792, 2013.
- 2) 大嶋伸雄: 首都大学東京健康福祉学部における専門職間連携教育. 保健医療福祉連携, 6(1-2): 41-45, 2013.
- 3) 大嶋伸雄, 渡邊秀臣, 石川雄一他: All Together Better Health VI (2012) Final Report, All Together Better Health VI事務局, 2013.
- 4) 大嶋伸雄, 山田拓実, 安達久美子, 石川陽子, 金 寿蓮, Scott Reeves, 高木大輔: 震災時のための動的医療ロジスティックスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて～東日本大震災後のアンケート調査から～. 保健医療福祉連携, 7(1):59,2013.

## 国際

- 1) Visiting Scholar, University of California, San Francisco: Department of Social & Behavioral Sciences 特別研究員(期間:2014年1月1日～3月31日)
- 2) 研究講演(3月20日: Laurel Heights Campus): テーマ「Interprofessional relationships and connections of professionals based at general hospitals in Japan」
- 3) University of Southampton 外部教員評価委員(期間:2014年2月28日～3月31日)

## 国内学会発表

- 1) 岩尾武宜,大嶋伸雄: 脳血管障害者と作業療法士の評価誤差がADLに与える影響—FIM利得群別の傾向—. 第47回日本作業療法学会(大嶋). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 2) 小貫 貢,高橋里奈,田口洋輝,大嶋伸雄, 大関 覚: 多職種連携と集団リハビリテーションによる就労支援. 第47回日本作業療法学会(大阪). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 3) 中本久之,大嶋伸雄,岩谷清一: 回復期リハビリテーション病棟の作業療法士の職業的アイデンティティに影響する要因の分析. 第47回日本作業療法学会(大阪). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 4) 根岸裕司, 堀米正利, 大嶋伸雄, 船越俊子, 松下政志: 当院における摂食嚥下(食事)障害への専門職連携の現状について—専門職連携におけるアンケート結果より—. 第19回日本摂食嚥下学会学術大会(岡山). 学会プログラム抄録集, 2013.

- 5) 根岸裕司, 大嶋伸雄, 下岡隆之: 当院における摂食嚥下・連携に関する専門職連携協働の連携率の作成と当院の特徴について. 第 10 回東京都作業療法学会(東京). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 6) 根岸裕司, 大嶋伸雄, 菅原 章: 震災後ボランティア活動の参加を通じた作業療法士の役割と連携についての一考察. 第 6 回日本保健医療福祉連携教育学会(仙台). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 7) 大嶋伸雄, 山田拓実, 安達久美子, 石川陽子, 金 寿蓮, Scott Reeves, 高木大輔: 震災時のための動的医療ロジスティックスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて. 第 6 回日本保健医療福祉連携教育学会(仙台). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 8) 中本久之, 大嶋伸雄, 他: 「何もせずに過ごしてしまった」という状況から再び作業従事していく過程〜くも膜下出血後の女性を通して〜. 第 17 回作業科学研究会(福島). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 9) 根岸裕司, 堀米政利, 竹下政志, 船越俊子, 大嶋伸雄: 摂食・嚥下に関わる項目と ICF の関係と専門職の役割・重要度と視点について. 第 6 回呼吸ケアと誤嚥ケア学会(三重). 学会プログラム抄録集, 2013.

#### その他

- 1) 大嶋伸雄: 第 40 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 養成施設等教員講習会講師(2014.01.29: 東京). 講座資料「教育水準」, 2014.
- 2) 大嶋伸雄: 平成 25 年度慶應義塾大学薬学部リハビリテーション講座講師(2014.02.24: 東京). 講座資料, 2014.
- 3) 大嶋伸雄: 教育と FD. PT・OT 教育カグレードアップ講座講師(2013.08.10-11: 東京). 講座資料, 2013.
- 4) 大嶋伸雄: リハビリテーション教育研究大会・シンポジウム発言者(2013.08.22: 大阪). 講座資料, 2013.
- 5) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会①講師(2013.09.09: 千葉). 講座資料, 2013.
- 6) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会②講師(2013.10.07: 千葉). 講座資料, 2013.
- 7) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会③講師(2013.11.11: 千葉). 講座資料, 2013.
- 8) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・身障領域研修会講師(2013.11.17: 千葉). 講座資料, 2013.
- 9) 大嶋伸雄: 介護福祉士全国教育研修会・ワークショップ講師(2013.09.27: 豊橋). 講座資料, 2013.
- 10) 大嶋伸雄: 身体障害領域・作業療法概論. 平成 25 年度東京都作業療法士会・身体障害・現職者選択研修会講師(2013.10.19: 東京). 講座資料, 2012.
- 11) 大嶋伸雄: 佐久総合病院・研修センター主催「専門職連携協働研修」講師(2013.09.21-22: 長野). 講座資料, 2013.
- 12) 大嶋伸雄: みさと健和病院・柳原リハビリテーション病院主催・リハビリテーション研修会講師(2013.09.24: 埼玉). 講座資料, 2013.
- 13) 大嶋伸雄: 埼玉みさと総合リハビリテーション病院主催・CBT 研修会講師(2013.12.03: 埼玉). 講座資料, 2013.
- 14) 大嶋伸雄: 徳丸リハビリテーション病院主催・作業療法研修会講師(2013.11.28: 東京). 講座資料, 2013.
- 15) 大嶋伸雄: 認知作業療法研究会・発足記念講演講師(2013.11.09: 東京). 講座資料, 2013.

## 原著論文

- 1) Watanabe R, Higuchi T, Kikuchi Y: Imitation behavior is sensitive to visual perspective of the model: An fMRI study. Exp Brain Res; 161-171, 2013.
- 2) 則内まどか, 菊池吉晃: 養育者の育児行動を支える神経基盤(Neural basis of maternal love). 特集 発達障害再考—診断閾値の臨床的意義を問い直す—. 精神神経学雑誌(Psychiatria et Neurologia Japonica), 115: 630-634, 2013.
- 3) 黒野昭彦, 月本洋, 岡本智幸, 菊池吉晃, 妹尾淳史: ノンパラメトリック線形回帰分析を用いた脳の賦活領域の検出. 電子情報通信学会論文誌 D Vol.J96-D, 11: 2839-2845, 2013.

## 総説・論評

- 1) 菊池吉晃: 人間性を支える情動の神経基盤-その適応的メカニズム-. 日本生理人類学会誌 18; 61-66, 2013.
- 2) 菊池吉晃, 則内まどか: 「母性愛」脳科学研究の視点から. 赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」コメント論文, 14; , 2014.
- 3) Kikuchi Y, Noriuchi M: The surprising reason we find baby cute (the invited article about Dan Dennette' s talk entitled “Wired to Prefer ‘Cute, Sexy and Sweet” ). [http://www.huffingtonpost.com/madoka-noriuchi/wired-to-prefer-cute-sexy\\_b\\_3697845.html](http://www.huffingtonpost.com/madoka-noriuchi/wired-to-prefer-cute-sexy_b_3697845.html), The Huffington Post, TED Weekends (TED: Technology Entertainment Design, 価値のあるアイデアを世に広めることを目的とするアメリカの非営利団体, TED カンファレンスは, 日本でもNHK スーパープレゼンテーションとしてよく知られる), 2013.

## 国際学会発表

- 1) Noriuchi M, Kikuchi Y, Yoshiura T, Kamio Y: White matter structure and social impairments in children and adolescents with autism spectrum disorders. International Behavioral Neuroscience Society 22nd Meeting, Hotel Grand, Malahide, Ireland, June 25-30, 2013.
- 2) Kohno S, Noriuchi M, Iguchi Y, Kikuchi Y, Hoshi Y: The timing of emotional discrimination in human amygdala and ventrolateral prefrontal cortex. The 19th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping. The Washington State Convention Center, Seattle, WA USA, June 16-20, 2013.
- 3) Oba K, Terasawa Y, Motomura Y, Moriguchi Y, Kikuchi Y, Mishima K: The neural substrates of the emotional autobiographical memory retrieval and its relation to adaptive coping. American Psychosomatic Society 71th Annual Scientific Meeting, Abstract 269, Miami, USA, March, 2013.
- 4) Oba K, Terasawa Y, Motomura Y, Moriguchi Y, Kikuchi Y, Mishima K: An fMRI study of emotional autobiographical memory retrieval and its relation to adaptive coping. 19th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, The Washington State Convention Center, Seattle, WA USA, June 16-20, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 河野理, 則内まどか, 井口 義信, 菊池吉晃, 星 詳子: 腹外側前頭前野および扁桃体における不快

情動弁別タイミング. 第 15 回日本ヒト脳機能マッピング学会大会. 東京大学伊藤国際学術研究センター, 2013 年 7 月 5 日～6 日

- 2) 跡見友章, 則内まどか, 大場健太郎, 廣瀬昇, 田中和哉, 清水美穂, 跡見順子, 菊池吉晃: 身体バランスの不安定性に関する神経機構 - fMRI を用いた検討 -. 第 20 回日本未病システム学会学術総会, 学術総合センター(一橋大学一橋講堂), 2013 年 11 月 9 日～10 日

#### 研究助成

- 1) 菊池吉晃: 「超高磁場機能的磁気共鳴・拡散テンソル画像法による「社会性」の神経基盤に関する研究」, 平成 25 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費)
- 2) 菊池吉晃: 「脳機能を切り口とした化粧の力研究」, 資生堂共同研究
- 3) 菊池吉晃: 科研費基盤(B) 「超高磁場 fMRI を用いたヒト身体不安定性における「全身的協関」メカニズムの研究」, 平成 25 年度～平成 27 年度.

#### 招待講演

- 1) 菊池吉晃: 人間性の神経基盤を探る-人間理解のための脳科学をめざして-. 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同, 計算科学シミュレーションと工学設計分科会, 心と脳など新しい領域検討小委員会 (第 2 回), 日本学術会議, 2013 年 9 月 17 日.
- 2) 菊池吉晃: お母さんのわが子に対する愛情(母性愛)とは何か? 第2回 プレ「子育ての科学」イベント(脳科学×子育て), Peek project(学術コミュニケーション支援機構), 湯島地域活動センター, 2014 年 1 月 29 日.

#### その他

- 1) 菊池吉晃: 日本生理人類学会第 67 回大会(東京)大会長開催報告, PANews 23; 1-2, 2013.
- 2) 菊池吉晃: 日本生理人類学会「脳科学・感性研究部会合同会合」主催, 秋葉原サテライトキャンパス, 2013 年 11 月 17 日.
- 3) 菊池吉晃: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員, 2013.
- 4) 菊池吉晃: 日本学術振興会 特別研究員関連専門委員, 2013.
- 5) 菊池吉晃: 日本学術振興会 国際事業関連委員会委員, 2013.
- 6) 菊池吉晃: 日本学術振興会 科学研究費専門委員, 2013.
- 7) Kikuchi Y: Editorial Board, Anthropology, 2013.
- 8) Kikuchi Y: Editorial Board, Science Postprint, 2013.
- 9) Kikuchi Y: Editorial Board, Epigenetics Diagnosis & Therapy, 2013.
- 10) 菊池吉晃: 番組協力, フジテレビ特別番組「クイズ 100 人の学者が教えます!」, 2013.
- 11) 菊池吉晃: 番組協力, 日本テレビ「所さんの目がテン!」, 2013.

## 原著論文

- 1) 石岩, 王樹東, 藪脇健司, 谷村厚子, 繁田雅弘: 中国語版「高齢者のための包括的環境要因調査票」(CEQ-C)の言語的妥当性. 作業行動研究, 17(3):155-162, 2013
- 2) 石岩, 谷村厚子, 品川俊一郎, 繁田雅弘: 在宅高齢者の主観的健康感に関連する要因の文献的研究. 日本保健科学学会誌, 16(2):82-89, 2013
- 3) 繁田雅弘, 角徳文, 品川俊一郎: ドネペジル, ガランタミン, リバスタグミンのアルツハイマー型認知症に対する有効性の比較検討—国内第3相試験を統合した有効性の間接比較. Geriatric Medicine, 51(9):957-963, 2013
- 4) 中村祐, 今井幸充, 繁田雅弘, 白波瀬徹, 金孝成, 藤井章史, 森丈治, 本間昭: 軽度および中等度アルツハイマー型認知症患者を対象としたリバスタグミンパッチの漸増期間中における有効性に関する経時的評価(国内第IIb/III相試験における事後解析). Pharma Medica, 31(6):101-107, 2013
- 5) 関一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福本安甫, 繁田雅弘: 女性パーキンソン病患者において低下する嗅覚の種別. 日本老年医学会雑誌, 50(2):243-248, 2013

## 総説・解説

- 1) 角徳文, 繁田雅弘: 抗認知症薬使用の現状と課題. 日本精神医科病院協会. 32(4): 17-22, 2013
- 2) 繁田雅弘, 角徳文, 井藤佳恵, 和田民樹, 赤津裕康, 浦上克哉: アルツハイマー病診療のスキルアップを考える. この症例をどう診るか. 老年精神医学雑誌, 24(増刊I):7-23, 2013
- 3) 繁田雅弘: 認知症治療の最前線 BPSD の薬物療法. 現時点における戦略とは. Dementia Japan, 27(4):444-444, 2013
- 4) 品川俊一郎, 繁田雅弘: 認知症に対する薬物療法の課題—アルツハイマー型認知症の症状改善薬の開始時期について. 精神科治療学, 28(12):1545-1549, 2013
- 5) 繁田雅弘, 本間昭: 精神科診療に必要な書式マニュアル第三版—第8章 指定医・専門医資格申請用の症例レポート: 老年精神医学会専門医申請のための症例報告. 臨床精神医学, 42(増刊): 338-343, 2013
- 6) 関一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福本安甫, 繁田雅弘: 神経変性疾患における嗅覚障害の特異性—パーキンソン病患者において低下する嗅覚の種別について. 帝京大学福岡医療技術学部紀要, 8:49-63, 2013
- 7) 角徳文, 繁田雅弘: 老年精神医学領域におけるエビデンスを再考する—エビデンスに基づく薬物治療—向精神薬のエビデンス. 老年精神医学雑誌, 24(5):457-463, 2013
- 8) 繁田雅弘: 専門分野における倫理の現状と将来展望: 精神医療・認知症: 精神障害や認知症疾患に罹患した人への支援. 臨床倫理, 1号:23-25, 2013

## その他

- 1) 石岩, 王樹東, 王淑娟, 谷村厚子, 藪脇健司, 繁田雅弘: Chinese Version of the Comprehensive Environmental Questionnaire(CEQ-C)の妥当性と信頼性. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl):22-22, 2013
- 2) 藪脇健司, 平尾一樹, 小野健一, 山田孝, 繁田雅弘: 居宅サービスを利用する高齢者を対象と

した作業療法による包括的環境支援の効果:ランダム化比較試験. 老年精神医学雑誌, 24(増刊 II): 208-208, 2013

- 3) 繁田 雅弘:アルツハイマー病治療の意義とエンドポイント, そして評価方法:治療目標と評価を当事者と共有するために. 老年精神医学雑誌, 24(増刊 II):142-142, 2013
- 4) 繁田 雅弘:わが国における認知症施策 東京都における認知症対策について. 老年精神医学雑誌 24(増刊 II):103-103, 2013
- 5) 関 一彦, 鶴田 和仁, 稲津 明美, 福本 安甫, 繁田 雅弘:パーキンソン病の嗅覚障害. 非運動性症候の視点からその特徴及び影響についての考察. 日本作業療法学会抄録集 47 回 156-156, 2013.
- 6) 篠原 幸人, 宇高 不可思, 繁田 雅弘:認知症介護と支援を考える—本邦の認知症. 成人病と生活習慣病, 43(7):799-813, 2013.

## 原著論文

- 1) Yumoto M, Watanabe M Blebbistatin, a myosin II inhibitor, suppresses  $Ca^{2+}$ -induced and “sensitized” -contraction of skinned tracheal muscles from guinea pig. J Smooth Musc Res 2013; 49: 89-98.
- 2) Omori H, Otsu M, Suzuki A, Nakayama T, Akama,K, Watanabe M, Inoue N. Effects of heat shock on survival, proliferation and differentiation of mouse neural stem cells. Neurosci Res 2014; 79:1-12.

## 学会発表

- 1) 渡辺 賢, 山村 聡. ミオシンII阻害薬によるスキンド平滑筋弛緩促進のメカニズム. 第 55 回日本平滑筋学会. 北海道旭川市 2013 年 8 月 6-8 日
- 2) Watanabe M, Yamamura S. Myosin II inhibitors accelerate relaxation of skinned taenia cecum Regulatory Circuits in Cell Motility, 米国ペンシルバニア州フィラデルフィア 2013 年 10 月 11-12 日
- 3) 平野和宏, 木下一雄, 妹尾淳史, 渡辺賢 骨格筋の活動状態を評価するための適切な TR(repetition time)値の検討. 第 160 回日本体力医学会関東地方会. 東京都調布市 2014 年 3 月 8 日 体力科学 2014; 63(3): 367
- 4) Watanabe M, Ishida Y, Nakahara N, Taguchi M, Kimura M, Takemori S. Regulation of thick and thin filaments organization by smooth muscle myosin. 鹿児島県鹿児島市 鹿児島大学郡元キャンパス 2014 年 3 月 16-18 日 J Physiol Sci 2014; 64.S38

## 原著論文

- 1) 麻所奈緒子, 伊藤祐子:ランダム化比較試験によるデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の作業療法効果. 日本保健科学学会誌, Vol.16, No.3, 2013.

## 著書

- 1) 伊藤祐子:感覚統合 Q&A 改訂第2版. 土田玲子監修, 25.32.37.47.48.52, 協同医書出版社, 2013.
- 2) 伊藤祐子:小児・発達期の包括的アプローチ PT・OTのための実践的リハビリテーション. 新田 収, 竹井 仁, 三浦香織編集, 77-84, 文光堂, 2013.

## 研究報告書

- 1) 伊藤祐子, 小林法一, 田辺美樹子, 酒井康年, 波多野裕子, 小野寺泰子:平成 25 年度日本作業療法士協合作業療法推進活動パイロット事業報告書. 地域への作業療法士配置に向けた人材育成「特別支援教育への人材派遣モデル作成と他領域への応用」. 2014.

## 国内学会発表

- 1) 浅利邦子, 伊藤祐子:高等部段階軽度知的障害のある生徒に対応した体の動きを中心とする自立活動-感覚統合の視点による取り組みの試行-. 第 31 回日本感覚統合学会研究大会抄録集:31, 2013.
- 2) 李 怡欣, 伊藤祐子:自閉性障害を持つ子供の無意識の姿勢コントロールと視覚依存度の関係. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:7, 2013.
- 3) 日高幹代, 伊藤祐子:自閉症スペクトラム障害(ASD)児の母親に関する国内文献レビュー. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:13, 2013.
- 4) 伊藤祐子, 浅利邦子:着席状況に対するゴムバンド椅子の効果 ~高等部軽度知的障害生徒への試用調査より~. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:12, 2013.

## 研究助成

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究(C)(H24~H26 )学校における発達障害児の感覚・運動アセスメントツールの開発に関する研究(代表:岩永竜一郎)分担
- 2) 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(H24~H26 ):認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果(代表:井上 薫)分担

## その他

- 1) (株)教育医事新聞社発行「教育医事新聞」取材,「第 31 回日本感覚統合学会研究大会」, テーマ:すこやかな育ち-感覚統合と環境-, 大会長インタビュー, 平成 26 年新春特別号掲載.
- 2) 荒川区産業経済部発行「あらかわ産業 Navi」掲載, 荒川・板橋・北区合同「首都大学東京産学交流会」, テーマ:ものづくりの新たな展開 大学と協力して進める 健康・福祉分野の製品開発, 第 68 号.

- 3) 日本バーチャルリアリティ学会 カ触覚の提示と計算研究会 第 12 回研究会特別講演, テーマ「子ども  
もの発達と感覚統合ーおもちゃ・遊具・あそび環境ー」, 2014 年 3 月.

## 論文, 著書

- 1) Noor Ayuni Che Zakaria, Takashi Komeda, Cheng Yee Low, Kaoru Inoue, Stephan Raczak: Emulation of Spasticity Symptoms in Upper Limb Part-Task Trainer for Physiotherapist Education. 2013, Applied Mechanics and Materials, 393: 999-1004. DOI: 10.4028/www.scientific.net/AMM.393.999, 2013.
- 2) Mio Nakamura, Yohei Kume, Jun Suzurikawa, Shohei Tsukada, Hideo Kawakami, Kaoru Inoue, Takenobu Inoue: Development of Transfer Assist Robot Based on the User Needs, Journal of Robotics and Mechatronics, 25(6): 992-999, 2013.
- 3) Ayuni, C.Z.N.; Komeda, T.; Cheng Yee Low; Inoue, K., Emulation of muscle tone of upper limb spasticity and rigidity, Neural Engineering (NER), 2013 6th International IEEE/EMBS Conference on Neural Engineering, :1590-1593, 6-8 Nov. 2013.  
DOI:10.1109/NER.2013.6696252URL:http://ieeexplore.ieee.org/stamp/stamp.jsp?tp=&arnumber=6696252&isnumber=6695843
- 4) Kaoru Inoue, Mio Nakamura, Naomi Sakuma, Maiko Okada: Turning Off or Turning On?: Two Different Ways to Use a Baby Seal Shaped Robot PARO in Occupational Therapy for Patients with Dementia, Assistive Technology Research Series, 33, from research to practice, IOS Press:875-879, 2013.
- 5) 佐々木千寿, 井上 薫, 谷村厚子, 大嶋伸雄: 業療法士養成校における模擬患者を活用した講義の
- 6) 産業技術総合研究所ユーマンライフテクノロジー研究部門編集, 福祉技術ハンドブック—健康な暮らしを支えるために—:134-139, 朝倉書店, 東京, 2013. (分担執筆)
- 7) 玉垣 努, 渡邊慎一編集: 福祉用具・住環境整備の作業療法:181-191, 中央法規, 東京, 2013. (分担執筆)
- 8) 宮口秀樹監修, 小川真宏, 西田征治, 内田達二編集: 認知症をもつ人への作業療法アプローチ. : 152-162, メジカルビュー, 東京, 2014. (分担執筆)

## 国際学会発表

- 1) Kaoru Inoue, Naomi Sakuma, Maiko Okada, Mio Nakamura: Dementia Care Mapping Testing on the Effectiveness of Occupational Therapy Services to Seniors with Alzheimer's Disease. Alzheimer's Association International Conference: AAIC2013.
- 2) Kaoru Inoue, Chihiro Sasaki, Atsuko Tanimura, Yu Ishibashi: How to Improve Occupational Therapy Students' Social Skills: The Current Situations and Prospects in Tokyo, Japan. 9GG/6, Association for Medical Education in Europe(AMEE2013) conference program: 136, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 岡田麻衣子, 井上 薫, 中村美緒, 佐久間尚実: アザラシ型ロボット「パロ」がもたらす認知症高齢者と介護職員の変化—特養AでのDCMによる評価と職員の対象者に対する印象の変化—. 第14回日本認知症ケア学会誌. 12(1):158, 2013.
- 2) 佐久間尚実, 井上 薫, 中村美緒, 岡田麻衣子, アザラシ型ロボット「パロ」は認知症高齢者とケア環

境にどんな効果をもたらすのか—特養での認知症ケアマッピング(DCM)により観察されたケアに関する出来事の変化—第 14 回日本認知症ケア学会誌. 12(1):158, 2013.

- 3) 井上 薫, 佐久間尚実, 岡田麻衣子, 中村美緒:認知症をもつ高齢者に対するアザラシ型ロボット「パロ」を使用した活動の効果—Dementia Care Mapping Ver8.0による評価—. 第 14 回日本認知症ケア学会誌. 12(1),218,2013.
- 4) 井上 薫, 佐々木千寿:ロボット「パロ」と「バルロ」の良い点・改善点—作業療法でより有効に活用するために—. 第 47 回日本作業療法学会誌, P546-Lf, 2013.
- 5) 中村美緒, 井上 薫, 硯川 潤, 河上日出生, 井上剛伸:開発段階の福祉機器における臨床評価-ロボティックベッド®の改良点に着目した効果検証-,第 47 回日本作業療法学会誌, 0346, 2013.
- 6) 杉元志帆, 井上 薫, 佐々木千寿:千葉県作業療法士勤務施設で行われている卒後教育の調査—アンケートによる現状報告—, 第 47 回日本作業療法学会誌, P640-Lf, 2013.
- 7) 和田一義, 安藤亮太, 井上 薫, 妹尾淳史, 笠松慶子, 木下正信, ロボットと動物との触れ合い活動前後における比較—第一報:POMS を用いた比較—, 日本ロボット学会学術講演会予稿集, 1J2-04, 2013.

#### 研究助成

- 1) 井上 薫:文部科学省科学研究費基盤研究(B):認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果(研究代表者)
- 2) 井上 薫:学部傾斜配分研究費:特別養護老人ホームに入所している認知症高齢者に対する作業療法(研究代表者).
- 3) 井上 薫:JKA(競輪財団)補助事業 平成 25 年度 自転車シミュレータを用いたリハビリテーション・評価プログラムの開発(分担研究者).
- 4) 井上 薫:平成 25 年度神奈川県公募型ロボット実証実験支援事業神奈川県産業労働局産業・エネルギー部産業振興課(研究代表者).
- 5) 井上 薫:平成 25 年度介護機器モニター調査(実証試験)事業 事前検証参加企業 富士ソフト株式会社受託研究費(研究代表者).

#### その他

- 1) 井上 薫:作業療法・ケア場面におけるアザラシ型ロボット:パロの適用. 健康いきがい学会第 4 回大会報告書:35, 第 5 分科会認知症予防とロボットセラピー, 2013. (招待)
- 2) 井上 薫:アザラシ型ロボット“パロ”が施設環境にぬくもりを与える—パロの活用が教える・より良いケアとは何か—. 第 3 回ロボットリハビリテーション研究大会. :12, 2013. (招待)
- 3) 井上 薫, 佐々木千寿, 和田一義, 柴田崇徳:在宅認知症高齢者に対する家族によるパロ適用の効果—2家族の事例・介護者の語りを通して—. 第 3 回アザラシ型ロボットパロによるロボットセラピー研究会抄録集:52-58, 2013. 6.29. (招待)
- 4) 井上 薫:パロ・ロボットとしてのメリット—電源 ON と OFF の時の対象者の反応の違い—. 第 3 回アザラシ型ロボットパロによるロボットセラピー研究会抄録集, 2013. (招待)

## 原著論文

- 1) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 野村 忍, 安村誠司. 地域高齢者の閉じこもり解消に対する外出行動変容ステージの分類- 外出に対する自己効力感との関連から -. 老年社会科学, 35 (4):438-446, 2014.

## 研究報告書

- 1) 和泉比佐子, 森 満, 佐伯和子, 松原三智子, 岡田 尚美, 藺牟田洋美:平成22年度～平成25年度 科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書. 青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への行動科学に基づく介入プログラムの開発. 2013.
- 2) 安村誠司, 藺牟田洋美, 山崎幸子, 平井 寛, 藤田幸司:平成23年度～平成25年度 科学研究費補助金基盤(B)研究成果報告書. 介護予防ハイリスク者に対する包括的介護予防プログラムの開発と検証. 2013.
- 3) 山田拓実, 藺牟田洋美:平成24年度～平成26年度 科学研究費補助金基盤(C)研究成果報告書. 障害者・要介護高齢者向け健康体操の当事者, 介護者, および地域社会への影響. 2013.

## 国内学会発表

- 1) 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者における居場所感尺度開発のための検討—家族関係に関する青年期の居場所感尺度の適用可能性について—, 第55回日本老年社会科学学会総会抄録, 10:2013.
- 2) 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者の社会的孤立と閉じこもりおよび家庭における居場所感との関連 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 3) 西川俊永, 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者の家庭内役割の遂行と居場所感との関係について, 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 4) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 閉じこもり解消に向けた外出の自己効力感を高める支援の効果—訪問型ロコモ体操をツールとして— 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 5) 和泉比佐子, 岡田尚美, 松原三智子, 佐伯和子, 藺牟田洋美, 森 満, 青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への介入のための ICT システムの開発 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 6) 平井寛, 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司, 安村誠司. 高齢者の買い物環境と食物摂取頻度・外出頻度の低さの関連の検討 第23回日本疫学会学術総会抄録, 2014.

## 研究助成

- 1) 藺牟田洋美:科学研究費補助金基盤(B)「青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への行動科学に基づく介入プログラムの開発」(分担).
- 2) 藺牟田洋美:科学研究費補助金基盤(B)「介護予防ハイリスク者に対する包括的介護予防プログラム

の開発と検証」(分担).

- 3) 藺牟田洋美: 科学研究費補助金基盤(C)「障害者・要介護高齢者向け健康体操の当事者, 介護者, および地域社会への影響」(分担).

#### その他

- 1) 藺牟田洋美: DVD PSYCHOLOGY SERIES 現代心理学 発達と支援 II ⑧ 高齢期の社会関係・身体的条件の変化と支援. サンエデュケーショナル, 2013.
- 2) 藺牟田洋美: 高齢者の「閉じこもり」のリスクとその支援. ナーシングプラザ.com. 2013.
- 3) 藺牟田洋美: 荒川区ばん座位台体操リーダー育成研修: 人と人とのつながりを広げるために. 東京都荒川区, 2013.06.
- 4) 藺牟田洋美: 首都大学東京女性研究者研究支援員制度成果報告会, 首都大学東京南大沢キャンパス, 2013.12.
- 5) 藺牟田洋美: 高齢者の閉じこもり予防・支援 ～ライフレビューでのアプローチについて～. 神奈川県横浜市磯子区, 2014.03.

## 原著論文

- 1) 石岩, 谷村厚子, 品川俊一郎, 繁田雅弘: 在宅高齢者の主観的健康感に関連する要因の文献的研究. 日本保健科学学会誌, 16(2):82-89, 2013.
- 2) 石岩, 王樹東, 藪脇健司, 谷村厚子, 繁田雅弘: 中国版「高齢者のための包括的環境要因調査票」(CEQ-C)の言語的妥当性. 作業行動研究, 17(3)155-162, 2013.
- 3) 中根順子, 谷村厚子: 地域活動生活支援センターの主体的な利用が対象者のリハビリに与えた影響の検討. 東京作業療法, 2:25-31, 2014.
- 4) 佐々木千尋, 井上 薫, 谷村厚子, 大嶋伸雄: 作業療法士養成校における模擬患者を活用した講義の現状. 東京作業療法, 2:32-39, 2014.

## 総説・解説

- 1) 谷村厚子: 当事者参加型精神科作業療法研究に至る道程. 作業行動研究, 17(4):202-204, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Kobayashi N, Yamada T, Kawamata H, Ishibashi Y, Tanimura A, Ishii Y: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. The 20th World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul 2013, June 23-27, 2013.
- 2) Tanimura A, Ishii Y: Outcomes of the community-based participatory action research by users of mental health services. World Psychiatric Association International Congress 2013, October 27-30, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 谷村厚子, 山田孝, 石井良和: 精神保健サービス利用者による当事者参加型アクションリサーチの成果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 2) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕: 学生生活適応プログラムの効果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 3) 谷村厚子: シンポジウムⅡ OBPのイノベーション 当事者参加型精神科作業療法研究に至る道程. 日本作業行動学会, 2013年9月.

## 研究助成

- 1) 谷村厚子: 平成25年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)))(一般), 精神障害をもつ当事者参加型研究によるワークライフバランス再構築度尺度の開発(代表).

## 原著論文

- 1) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The Relationship between Homebound Status and Occupational Competence, and Its Effects on Health-Related Quality of Life. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, HKJOT, 23 (4), 2-13, 2013.4.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽: 回復期リハビリテーション病棟における住環境整備業務の実態～住環境整備に関与する職種へのアンケートから～, リハビリテーション・エンジニアリング, 28(4):219-226, 2013.

## 著書

- 1) 橋本美芽: 福祉機器選び方・使い方, はじめての住宅改修, 入浴, トイレ～わが家をバリアフリーに～, : 3-26, 財団法人保健福祉広報協会. 2013.8.

## 総説・解説

- 1) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 高齢者. 総合リハビリテーション 42(1), p76-77. 2014.1.
- 2) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 脳卒中片麻痺者－歩行可能な場合. 総合リハビリテーション 42 (2):171-173, 2014.2.
- 3) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 脳卒中片麻痺者－車椅子生活の場合. 総合リハビリテーション 42(3):271-273, 2014.3.
- 4) 橋本美芽: 高齢者の視覚の特徴と住環境. 地域リハビリテーション 9(2):101-105, 三輪書店. 2014.2

## 研究報告書

- 1) 橋本美芽, 石橋裕: 平成 23～25 年度 学術研究助成基金・基盤研究(C)「都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究」報告書. 2014.3.(研究代表者)
- 2) 橋本美芽, 石橋裕: 平成 22～25 年度 首都大学東京リーディングプロジェクト研究, 環境負荷低減に資する都市建築ストック活用社会の構築技術成果報告書. 郊外型都市賦活更新プロジェクト研究: 都市部(住宅密集地)在住高齢者を対象とした外出行動特性の把握と都市整備施策の在り方, 外出行動活性化を図る施策構築に関する研究. 2014.3.(研究代表者)
- 3) 橋本美芽: 東京都産業労働局ロードマップ事業, 首都大学東京・東京都立産業技術研究センター連携研究. 情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発. 平成 25 年度研究成果報告書 2014.3. (研究代表者)
- 4) 橋本美芽: 東京都産業労働局ロードマップ事業, 首都大学東京・東京都立産業技術研究センター連携研究. 災害発生時における情報弱者支援に関する実態調査報告書. 2014.3.(研究代表者)
- 5) 橋本美芽: 平成 24～26 年度 首都大学東京傾斜的研究費(全学分). 「スマート QOL を目指すイノベーション科学」平成 25 年度研究報告書. 2014.3.(分担)

## 国際学会発表

- 1) Kazuyoshi Wada, Takayoshi Tanaka, Yusuke Sukanuma, Mime Hashimoto, and Toshihiko Suzuki, Kitchen Extension Robot Module for Elderly Housing, Proc. 2013 10th International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence, pp.378-382, 2013.

- 2) Naoyuki Kubota, Mime Hashimoto, Takashi Kato, Kenji Iwasaki, Hiroko Sugatani, "Information Support System using Smartphones in Disaster," the International Workshop on Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (IWACIII 2014), 28 February - 1 March, Fukui, Japan, 2014.2.

#### 国内学会発表

- 1) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究—家族が記入する「事前調査用」の記録用紙について—, 日本作業療法学会抄録集, 47:894(P384-Le ), 2013.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究～関連職種による「事前調査用」の記録用紙の検討～, 第 28 回 リハビリテーション工学カンファレンス in いわて, 1C1-1, 2013.8.
- 3) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究～「訪問調査用」の記録用紙の検討～, 第 16 回 福祉のまちづくり学会全国大会, I 1B-5, 2013.8.
- 4) 長野博一, 藤井敬宏, 橋本美芽, 石橋 裕, 別府 知哉:住民参加による心のバリアフリー施策の実践と課題に関する研究, 第 16 回 福祉のまちづくり学会全国大会, 2013.8.

#### 研究助成

- 1) 橋本美芽:平成 23～25 年度 学術研究助成基金・基盤研究(C), 都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究.(研究代表者)
- 2) 橋本美芽:平成 22～25 年度 首都大学東京リーディングプロジェクト研究, 環境負荷低減に資する都市建築ストック活用社会の構築技術プロジェクトⅢ・「郊外型都市賦活更新プロジェクト研究:都市部(住宅密集地)在住高齢者を対象とした外出行動特性の把握と都市整備施策の在り方, 外出行動活性化を図る施策構築に関する研究」.(研究代表者)
- 3) 橋本美芽:平成 24～26 年度 東京都産業労働局 都市課題のための技術戦略プログラム, 技術開発プロジェクト研究, 情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発.(研究代表者)
- 4) 橋本美芽:平成 24～26 年度 首都大学東京傾斜的研究費(全学分), スマートQOLを目指すイノベーション科学.(分担)
- 5) 橋本美芽:平成 25～26 年度 東京都都市づくり公社共同研究, 総合防災対策研究プロジェクト, 社会科学系:災害弱者への対応ユニット(全学)(分担)

#### 受賞

- 1) 平成 24 年度日本福祉のまちづくり学会学会賞:澤田有希・橋本美芽:回復期リハビリテーション病棟に勤務する作業療法士が行う住環境整備の業務内容に関する研究. 2013.10.

#### その他

1. 橋本美芽:日本福祉のまちづくり学会関東甲信越支部 2013 年度研究会「皆で協力して実現する福祉のまちづくり～合意形成を再考する～」基調講演「住民参加型福祉のまちづくりの課題と展望～荒川区・横浜市の事例から」2013.6.
2. 橋本美芽:練馬区パワーアップカレッジ. 地域・自宅で生活を続けるためには～安全と自立支援の住まいづくり～. 2014.2.

## 著書

- 1) ボンジェ・ペイター(2014)ヨーロッパのOTについて知る:オランダの訪問OTを紹介する. 東京作業療法, Vol2, 8-10

## 国際学会発表

- 1) Yu Ishibashi, Tatsunori Sawada, Peter Bontje, Anders Kottorp. A study into selection of intervention model after the AMPS and Assessment of Awareness of Ability (A3). 1<sup>st</sup> International OTIPM symposium, Seoul, Korea, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宮本玲子, Peter Bontje, 須山夏加, 伊藤祐子(2013). Dual-panel methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale (IDPS) 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会(ポスター演題)
- 2) 宮本玲子, Peter Bontje, 須山夏加, 伊藤祐子(2013). Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会(ポスター演題)

## 原著論文

- 1) 宮本礼子,川又寛徳:Nominal group technique を用いた「作業療法学生の臨床実習適応能力の自己評価尺度案」の内容的妥当性および表面的妥当性の検討.作業療法 33(2), 110-123, 2014.(原著)

## 研究報告書

- 1) 宮本礼子,石橋裕:平成 25 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)報告書,臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性,2013.

## 国際学会発表

- 1) Reiko MIYAMOTO, Yoko MIZUIDE: Relationship between anxiety state and brain activities during the ambiguous facial expression recognition in the university students. WPA2013, 28th October 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宮本礼子,川又寛徳,有川真弓:「総合臨床実習における作業療法学生の自己成長感評価尺度」の内容的妥当性の検討,第47回日本作業療法学会,大阪,2013年6月28日.
- 2) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Dual-Panel Methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会,2013年7月26日.
- 3) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会,2013年7月26日.

## 研究助成

- 1) 宮本礼子,石橋裕:平成25年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性.
- 2) 石橋裕,宮本礼子:平成25年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),社会資源情報の共有を目的とした高齢者支援ホームページの包括的運営方法に関する研究.

## その他

- 1) 宮本礼子,川又寛徳,有川真弓:「総合臨床実習における作業療法学生の自己成長感評価尺度」の内容的妥当性の検討,第47回日本作業療法学会,p104,2013.
- 2) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Dual-Panel Methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会抄録集,p171,2013.
- 3) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会抄録集,p171,2013.
- 4) Reiko MIYAMOTO, Yoko MIZUIDE: Relationship between anxiety state and brain activities during the ambiguous facial expression recognition in the university students. WPA2013, p33.

## 原著論文

- 1) 石橋裕,渡辺成美,石橋仁美:アイシャドウチップと片手によるアイシャドウ動作との関係性-AMPSの技能項目を用いた動作解析-. FRAGRANCE JOURNAL 11:64-67,2013.

## 著書

- 1) 石橋裕(分担翻訳):Assessment of Motor and Process Skills vol.2 8th edition.日本 AMPS 研究会, 2014.
- 2) 石橋裕(共著):AMPS と OTIPM. 宮口英樹監修, 認知症をもつ人への作業療法アプローチ-視点・プロセス・理論 -:112-121, Medical View, 2013.

## 研究報告書

- 1) 石橋裕, 石井良和:メイクアップによる障害者支援方法の確立:カネボウ化粧品株式会社, 東京工科大学 3 社連携事業報告書, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Yu Ishibashi,H.Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yumi Takada, Mika Shimoda:The effectiveness of an occupational therapy program for health promotion using cosmetics among dwelling elderlies:A pilot study. World Psychiatric Association Congress , Vienna, Austria, 2013
- 2) Yu Ishibashi, Tatsunori Sawada, Peter Bontje, Anders Kottorp,: A study into selection of intervention model after the AMPS and Assessment of Awareness of Ability (A3). 1st.International OTIPM symposium,Seoul,Korea,2013.
- 3) H. Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yu Ishibashi, Yumi Takada, Mika Shimoda :Cosmetic issues with women with mental disorder.- By inquiries for occupational therapists-. World Psychiatric Association Congress ,Vienna, Austria, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 石橋裕,石橋仁美, 石井良和,高田夕美, 下田美香:社会参加支援プログラム(SSPC)参加者の化粧と健康づくりへの関心の傾向.第 47 回日本作業療法学会抄録集,47,2013.
- 2) 石橋仁美,石井良和, 石橋裕, 高田夕美, 下田美香:「化粧」を用いた支援の実態調査-精神障害領域における文献レビューより. 第 47 回日本作業療法学会抄録集,47,2013.
- 3) 長野博一, 石橋裕.:住民参加による心のハリアフリー施策の実践と課題に関する研究. 日本福祉のまちづくり学会第 16 回全国研究大会,2013.
- 4) 小林法一, 石橋裕, 池上洋, 田中勇次郎:WFOT 2014 in 横浜への誘い 国際学会で採択される英文抄録作成のコツ. 東京作業療法,2013.
- 5) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕:学生生活適応プログラムの効果. 第 47 回日本作業療法学会, 2013.

## 研究助成

- 1) 石橋裕:メイクアップによる障害者支援方法の確立. 株式会社カネボウ化粧品共同研究費, 2013.

- 2) 石橋裕:首都大学東京平成 25 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),社会資源情報の共有を目的とした高齢者支援ホームページの包括的運営方法に関する研究.
- 3) 石橋裕:日本作業療法士協会平成 22 年度課題研究助成研究,健康増進・障害予防プログラムの効果に関する研究(分担,研究代表者:石橋仁美)
- 4) 『都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究』:日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 C(分担,研究代表者:橋本美芽)
- 5) 石橋裕:高齢者が入退院後に生活活動を承継する縦断的研究—スウェーデンのノウ・ハウを活かす—(分担,研究代表者:Peter Bontje)
- 6) 石橋裕:臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性(分担,研究代表者:宮本礼子)



# 放射線学科



## 原著論文

- 1) Sarata Kumar Sahoo, Rawiwan Kritsananuwat, Masahiro Fukushi: Actinide Analysis in Biological Materials. Radiation Emergency Medicine Vol.1 No.1-2 22-26, 2012.
- 2) Inoue, K, Hosoda, M, Tokonami, S, Ishikawa, T, Fukushi, M: Investigation of radon and thoron concentrations in a landmark skyscraper in Tokyo. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry 298:2009-2015, 2013.
- 3) Inoue K, Fukushi M. Current Status of Hypoxia Imaging in Cancer Therapy. Radiation Biology Research Communications, 48(4), 364-374, 2013.
- 4) Rawiwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo , Masahiro Fukushi : Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in Gulf of Thailand's sediments. Environ Earth Sci, 2014.
- 5) Kritsananuwat, S. K. Sahoo , M. Fukushi, K. Pangza , S. Chanyotha: Radiological risk assessment of  $^{238}\text{U}$ ,  $^{232}\text{Th}$  and  $^{40}\text{K}$  in Thailand coastal sediments at selected areas proposed for nuclear power plant sites. J Radioanal Nucl Chem 2014.

## 著書

- 1) 福士政広 企画協力: 臨床工学士ブルー・ノート基礎編, 見目恭一編. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 2) 福士政広 企画協力: 作業療法士イエロー・ノート基礎編, 見目恭一編. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 3) 福士政広 企画協力: 柔道整復師イエロー・ノート臨床編, 平沢泰介・渡會公治監修. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 4) 福士政広 編集: 第2種放射線取扱主任者試験マスター・ノート, メジカルビュー社, 東京, 2014

## 総説・解説

- 1) 福士政広: 伊豆諸島の環境放射線と関わって, JIRA 会報, No.197 p48-49, 2014.
- 2) 福士政広: 第107回日本医学物理学学会学術大会開催にあたって, 医学物理 Vol.33.4, p165, 2013.
- 3) 福士政広: 首都大学東京 家庭用放射線測定器, 蛍雪時代, p122, 2014.
- 4) 福士政広: 診療放射線技師の放射線防護教育, 第35回医療放射線の安全利用フォーラム資料集, 23-29, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Tsuda K, Koyama K, Iwabuchi Y, Suzuki T, Toya K, Hirayama A, Tsushima H, Fukushi M, Moriyama N, Fujii H: Segmental acquisition method for rectal cancer in FDG-PET/CT tests, Analysis of 20 patients, Society of Nuclear Medicine 2013 Annual Meeting, Vancouver, J Nucl Med, Vol.54 (Sup.2), P. 550P, 6, 2013.
- 2) Inoue K, Umeda IO, Fukushi M, Fujii H: In vivo high quality SPECT imaging of mouse brains using I-125 labeled compounds. European Association of Nuclear Medicine, Lyon, France, 2013.
- 3) Rawiwan Kritsananuwat, Masahiro Fukushi, Hideki Arae, Sarata Kumar Sahoo : Determination of U, Th, REEs and heavy metals in the potential sites of Thailand's nuclear power plants: Establishing a baseline for future environmental

monitoring. Proceeding of 12th ISMAS Triennial International Conference on Mass Spectrometry, ISBN: 978-81-904442-5-5, 354-359, India,2013.

- 4) Rawiwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo, Hideki Arae, Masahiro Fukushi : Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in selected soil and plants around southern Thailand. IV. Terrestrial Radionuclides in Environment International Conference on Environmental Protection; Hungary,2014.
- 5) Rawiwan Kritsananuwat, Hideki Arae, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha, Sarata Kumar Sahoo : Natural radionuclides and radiation risk assessment in southern Thailand soils. RAD 2014 - Second International Conference on Radiation and Dosimetry in Various Fields of Research; Serbia,2014.
- 6) Rawiwan Kritsananuwat, Hideki Arae, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha, Karnwalee Pangza, Sarata Kumar Sahoo : Assessment of natural radionuclides and rare earths in Gulf of Thailand sediments as baseline data. ICRER 2014 - 3rd International Conference on Radioecology & Environmental Radioactivity; Spain,2014.
- 7) Rawiwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo, Masahiro Fukushi, Hideki Arae, Supitcha Chanyotha : Measurement of uranium, thorium and uranium activity ratio in environmental samples from a tropical country, Thailand. 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment (NRE-IX); Japan,2014.

#### 国内学会発表

- 1) 大脇由樹, 成田浩人, 井上一雅, 福士政広:塩化ストロンチウム注射液中に含まれるSr-85による特性X線について. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 2) 三本拓也, 砂岡史生, 南本亮吾, 新保卓郎, 窪田和雄, 福士政広:4D-PET/CT イメージングにおける呼吸精度向上に関する検証.第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 3) 三本拓也, 砂岡史生, 南本亮吾, 新保卓郎, 窪田和雄, 福士政広:PSF 補正に基づく3次元PET画像の臨床的有効性.第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 4) 森山ひとみ, 成田浩人, 大脇由樹, 井上一雅, 福士政広:塩化ストロンチウム(Sr-89)注射液に含有するストロンチウム-85による画像化に関する検討. 第67回日本放射線技術学会東京部会春季学術大会, 東京, 2013.5.
- 5) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:<sup>18</sup>F-FDG-PET/CTにおける画質評価法の検討, 第67回東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 6) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 第67回日本放射線技術学会東京部会春期学術大会, 東京,2013.5.
- 7) 依田隆史, 井上一雅, 福士政広:SPECT/PET 兼用装置を用いた基本性能評価:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 8) 前寺郁彦, 佐野亮介, 梶山皓子, 井上一雅, 福士政広:福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 9) 三浦沙紀, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広:福島第一原子力発電所事故における昆虫汚染調査:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 10) 杉野雅人,後藤びおら,堀謙太,倉石政彦,河原田泰尋,梶山暁子,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の伊豆大島における地表ガンマ線線量率の変化. 第47回日本保健物理学会学術集会,千葉,2013.6.
- 11) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 乳癌基礎研究会, 津市,2013.7.

- 12) 加藤真一, 小川雅之, 小柏進, 寺西幸光, 延澤忠真, 今尾仁, 石田有治, 中谷儀一郎, 福士政広: 放射線に対する意識調査～第6報. 第7回日本診療放射線学教育学会学術集会, 東京, 2013.8.
- 13) 延澤忠真, 加藤真一, 小柏進, 小川雅之, 寺西幸光, 今尾仁, 中里一久, 中谷儀一郎, 福士政広: 個別学習におけるフリーソフト Anki の可能性: 第7回日本診療放射線学教育学会学術集会, 東京, 2013.8.
- 14) 延澤忠真, 加藤真一, 菅和雄, 小川雅之, 中里一久, 中谷儀一郎, 福士政広, 橋本光康: 東北自動車道における空間線量率測定: 第23回日本保健科学学会学術集会, 東京, 2013.10.
- 15) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅. 伊豆大島の環境放射線の推移: 第23回日本保健科学学術集会, 東京, 2013.10.
- 16) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅. 昆虫へ放射性セシウム汚染の調査: 第23回日本保健科学学術集会, 東京, 2013.10.
- 17) 井上一雅, 梅田泉, 福士政広, 藤井博史: I-125 標識化合物を用いたマウス脳画像 in vivo SPECT イメージング, 第53回日本核医学会学術総会, 福岡, 2013.10
- 18) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 竹内幸浩, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価指標の検討, 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 19) 大脇由樹, 成田浩人, 井上一雅, 福士政広:  $^{85}\text{Sr}$  放出ガンマ線を利用した  $^{89}\text{Sr}$  注射液のイメージングへの試み: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 20) 青木沙起, 津田啓介, 倉嶋汐里, 小山和也, 青柳俊, 岩下寛志, 根本幸一, 奥洋平, 武田篤也, 對間博之, 平山昭, 福士政広, 藤井博史: FDG-PET 検査における胸部結節性病変の頻呼吸下撮像法の検討: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 21) 倉嶋汐里, 津田啓介, 青木沙起, 小山和也, 青柳俊, 岩下寛志, 根本幸一, 奥洋平, 武田篤也, 對間博之, 平山昭, 福士政広, 藤井博史: FDG-PET 検査における胸部結節性病変の呼吸運動の影響を考慮した新たな定量値補正法の検討: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 22) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也. 放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析: 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動「個体レベルでのがん研究支援活動」ワークショップ, 千葉, 2014.2.

#### 研究助成

- 1) 平成25年度傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)研究課題: 福島第一原発事故の影響による小生物のセシウム汚染の調査研究
- 2) 平成25年度共同研究費, 医建エンジニアリング株式会社, 研究課題: 放射線防護素材に関する研究
- 3) 平成25年度共同研究費, エステー, 研究課題: 放射線に関する知識の普及と啓蒙の方法
- 4) 平成25年度調査委託費, 福島県のふくしま医療福祉機器開発事業補助金交付事業, 放射能汚染度モニター技術と内部被曝診断技術の開発研究
- 5) 創生ワールド株式会社, 創生水に混入する放射性物質の時系的变化に関する研究, 平成26年1月から平成27年3月

## 受賞等

- 1) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 優秀ポスター賞, Sr-89 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み, 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2013.
- 2) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 最優秀学生賞, 塩化ストロンチウム注射液中に含まれる Sr-85 の特性 X 線について, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013.

## 国内学会発表

- 1) Toru Negishi,Akihisa Shiraiishi,Hiroyuki Nagashima, Shinji Abe,You Kato,Izumi Ogura,Tsuyoshi Kobayashi:Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control, 日本放射線技術学会第69回総会学術大会抄録, 179,2013.
- 2) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形X線出力計の検討, 日本放射線技術学会東京部会雑誌(124):23,2013.
- 3) 安部真治, 齋藤祐樹, 根岸 徹, 小倉 泉, 加藤 洋, 清水優介: 撮影・透視装置用非接続形X線測定器の評価, 日本放射線技術学会雑誌 69(9), 1024,2013.
- 4) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的としたクランプ管電流計の試作, 日本放射線技術学会雑誌 69(9), 1025,2013.
- 5) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 東京都島しょ保健所における簡易測定器を用いたX線装置の日常管理, 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013 予稿集, 195,2013.
- 6) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ヘリカルCT装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1),438,2013.
- 7) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬実験システムの構築, 平成26年電気学会全国大会抄録集(1-010), 13,2014.
- 8) 五十嵐拓也, 根岸 徹, 伊藤由理恵, 岩下理穂, 鈴木友理, 津田秀一, 安部真治, 小倉 泉: 半導体を用いたX線測定器の開発. 日本放射線技術学会関東・東京合同研究発表会 2013 予稿集:196, 2013.

## 研究助成

- 1) 小倉 泉: 科学研究費補助金基盤研究(C), ヘリカルX線CT装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発(平成24~26年度)
- 2) 小倉 泉: 荒川区地域産業活性化研究補助金, 荒川区保健所におけるX線発生装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(平成25年度)
- 3) 小倉 泉: 平成25年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分). 島しょにおけるX線装置の日常管理を目的とした簡易測定器の開発と管理方法の確立

## その他

- 1) 小倉 泉: X線出力計の測定回路, 日本放射線技術学会第69回総会学術大会入門講座7(計測), 2013.(講演)

## 著書

- 1) 安部真治, 神谷正巳, 北村善明, 宮崎 茂, 山本英明, 小綿ひろみ 編集: JIS ハンドブック 77 医用放射線 2013. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 2) 安部真治, 小田叙弘, 山田勝彦編集: 医用放射線辞典第5版. 共立出版, 東京, 2013.
- 3) 三好邦昌, 安部真治, 宮崎 茂, 他: JIS Z 4751-2-28 医用電気機器—第2-28部: 診断用X線管装置の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 4) 早乙女滋, 安部真治, 根岸 徹, 他: JIS Z 4751-2-28 医用電気機器—第2-45部: 乳房用X線装置及び乳房撮影定位装置の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 5) 幾瀬純一, 末永光八, 安部真治, 他: JIS T 61267 診断用X線装置—特性決定に用いる放射線条件. 日本規格協会, 東京, 2014.

## 総説・解説

- 1) 宮崎 茂, 安部真治, 他: 学術交流委員会報告 平成 24 年度標準化小委員会活動報告. 日本放射線技術学会雑誌, 69(4):464-473, 2013.
- 2) 安部真治: 第 68 回総会学術大会教育講演 非接続形 X 線測定器の測定について. 日本放射線技術学会雑誌, 69(5):560-567, 2013.
- 3) 安部真治, 宮崎 茂, 中澤康弘, 見本真一: 撮影・透視用 X 線装置—基礎安全及び基本性能: JIS Z 4751-2-54:2012. 日本放射線技術学会雑誌, 70(2):166-170, 2014.
- 4) 宮崎 茂, 安部真治, 今井宜雄, 他: 学術交流委員会報告 平成 25 年度標準化小委員会活動報告. 日本放射線技術学会雑誌, 70(3):298-307, 2014.

## 国内学会発表

- 1) Toru Negishi, Akihisa Shiraiishi, Hiroyuki Nagashima, Shinji Abe, Yo Kato, Izumi Ogura: Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:179, 2013.
- 2) 坪谷有華, 安部真治, 木島千智, 玉城美琴, 斎藤祐樹, 根岸 徹, 古畑 優: 一般撮影用非接続形 X 線測定器の検討. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:207, 2013.
- 3) 小林 剛, 小山智美, 安部真治, 根岸 徹: 自作ソフトウェアを用いた FPD 装置による造影マンモグラフィの基礎的検討. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:239, 2013.
- 4) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形 X 線出力計の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:21, 2013.
- 5) 木島千智, 安部真治, 坪谷有華, 玉城美琴, 小林 剛, 根岸 徹, 古畑 優: 非接続形 X 線測定器による 1 shot 半価層測定 of の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:22, 2013.
- 6) 玉城美琴, 安部真治, 木島千智, 坪谷有華, 根岸 徹, 小林 剛, 古畑 優: 乳房領域線量測定における測定配置の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:23, 2013.
- 7) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 簡易形 X 線出力計による日常管理方法の検討. 日本保健科学学会誌, 16 suppl(第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集):19, 2013.

- 8) 安部真治, 齋藤祐樹, 根岸 徹, 小倉 泉, 加藤 洋, 清水優介: 撮影・透視用非接続形X線測定器の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1024-1025, 2013.
- 9) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的としたクランプ管電流計の試作. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1025, 2013.
- 10) 椎葉公仁, 諸田智章, 小谷野裕也, 落合幸一郎, 宮園忠史, 浅野 宏, 安部真治: 直接接続形測定器による practical peak voltage ;PPV(加重平均ピーク電圧)の測定. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1071, 2013.
- 11) 小林 剛, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹, 土田拓治, 佐藤あゆみ, 木島千智: 乳房X線撮影領域における1shot半価層測定の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1072, 2013.
- 12) 土田拓治, 安部真治, 丸 武史, 城処洋輔, 志藤正和津, 富田博信: ファントム画像を用いたデジタルマンモグラフィ不変性試験について. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1098, 2013.
- 13) 小林 剛, 安部真治, 齋藤祐樹, 土田拓治, 根岸 徹, 佐藤あゆみ, 木島千智: 1shot 測定による平均乳腺線量算出の検討. 日本乳癌検診学会誌, 22(3):547, 2013.
- 14) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 東京島しょ保健所における簡易形測定器を用いたX線装置の日常管理. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表会 2013 予稿集:195,2013.
- 15) 五十嵐拓也, 根岸 徹, 伊藤由理恵, 岩下理穂, 鈴木友理, 津田秀一, 安部真治, 小倉 泉: 半導体を用いたX線測定器の開発. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表会 2013 予稿集: 196,2013.
- 16) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ヘリカル CT 装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1),438,2013.
- 17) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬実験システムの構築, 平成26年電気学会全国大会抄録集(1-010),13,2014.

#### 研究助成

- 1) 安部真治: 科学研究費補助金基盤研究(c), ヘリカルX線 CT 装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発(分担).
- 2) 安部真治: 平成 25 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分), 島しょにおけるX線装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(分担)
- 3) 安部真治: 平成 25 年度荒川区地域産業活性化研究助成金, 荒川区保健所におけるX線発生装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(分担)

#### その他

- 1) 安部真治: 標準化フォーラム 医用画像部門における品質保証と機器の標準化ー平成 24 年度に審議された JIS 原案と今後の動向について. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集: 112-113, 2013.4.13(総合司会)
- 2) 安部真治: 日本放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習会「一般撮影」(南関東地域) 2013.7.7(講演)

- 3) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常点検に用いるクランプ形管電流計の試作. 第 36 回 X線装置研究会緑陰講座. 2013.8.25.
- 4) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形 X 線出力計の検討, 日本放射線技術学会東京部会雑誌(124):23, 2013.
- 5) 木島千智, 安部真治, 坪谷有華, 玉城美琴, 小林 剛, 根岸 徹, 古畑 優: 非接続形X線測定器による乳房領域の 1 shot 半価層測定 of 検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 124:26, 2013.
- 6) 玉城美琴, 安部真治, 坪谷有華, 木島千智, 根岸 徹, 小林 剛, 古畑 優: 乳房領域線量測定における測定配置の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 124:28, 2013
- 7) 安部真治: 東京都立病院技師長主任会, 東京都立病院における診断用X線装置の精度管理技術の確立と支援(共同研究).

## 原著論文

- 1) Ryoichi N, Yukishige K, Kouji S, Makoto S, Yasushi A, Hidetoshi S, Hitoshi S: Experimental evaluations of head scatter factor calculation by use of a Gaussian function, Radiological Physics and Technology 7, 114-123, 2014.1
- 2) Shinsho K, Koba Y, Wakabayashi G, Tamatsu S, Fukuda S, Morimoto R, Maruyama D, Saitoh H, Sakurai N: Basic Characteristics of Tissue Equivalent Phantom Thermoluminescence Slab Dosimeter using New TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ , Radiation Measurements, 62C, 15-21, 2014. 3.

## 著書

- 1) 齋藤秀敏: 医用放射線辞典編集委員会編 医用放射線辞典第5版(放射線治療に関する408項目を担当), 共立出版, 東京, 2013.4.

## 国内学会発表

- 1) 齋藤秀敏: 標準測定法 01 から標準計測法 12 へ, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 2) 明上山温, 齋藤秀敏: 電子線モードによる EPID 画像の画質改善, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 3) 平井隆太, 河野良介, 松本真之介, 松原佳菜, 堀田健二, 松崎有華, 福原里恵, 志波晃子, 秋元哲夫, 齋藤秀敏: 陽子線治療における CT 値-線阻止能比変換テーブル作成のための Cone-BeamCT 用ファントムの評価, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 4) 丸山大樹, 鈴木英二, 眞正浄光, 齋藤秀敏: 熱蛍光スラブ線量計のサイバーナイフ照射中心位置検出への応用, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 5) 齋藤秀敏: 医学物理士認定制度, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 6) 土屋子夏, 古谷智久, 橋本慎平, 片寄哲朗, 宮阪遼平, 齋藤秀敏: 水中に直接ガフクロミックフィルムを設置した吸収線量分布計測の検討, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 7) 矢島佳央理, 佐方周防, 片寄哲朗, 山下航, 高瀬信宏, 福村明史, 齋藤秀敏: 水吸収線量校正と照射線量校正による水吸収線量校正定数の比較, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 8) 明上山温, 齋藤秀敏: EPID Simulation using A Simple Monte Carlo Method, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 9) 明上山温, 針生将嗣, 齋藤秀敏: MVCBCT による高画質再構成の基礎検討, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 10) 土屋子夏, 齋藤秀敏: ラジオクロミックフィルムから得られる絶対線量へ影響をもたらす因子の検討, 第 26 回日本放射線腫瘍学会学術大会, 2013.10

## 研究助成

- 1) 齋藤秀敏: 平成 25 年度がん研究開発費助成金, 医学物理士の教育(代表研究者: 国立がんセンター 伊丹純)(分担研究者)
- 2) 齋藤秀敏: 平成 25 年度文部科学省科学研究費助成金(基盤 C), 断照射位置・投与線量検証を

可能にする多方向ガンマカメラシステムに関する研究(代表研究者)

- 3) 齋藤秀敏：平成 25 年度傾斜的研究費(部局分), 水吸収線量計測体制移行による治療線量の不確かさ評価に関する研究(代表研究者)

## 原著論文

- 1) Vo Nguyen Trung, Hiroshi Yamamoto1, Akira Furukawa, Tsuyoshi Yamaguchi, Satoshi Murata, Masahiro Yoshimura, Yoko Murakami, Shigetaka Sato, Hideji Otani, Satoshi Ugi, Katsutarō Morino, Hiroshi Maegawa, Tohru Tani. Enhanced Intestinal Motility during Oral Glucose Tolerance Test after Laparoscopic Sleeve Gastrectomy: Preliminary Results Using Cine Magnetic Resonance Imaging. PLOS ONE | www.plosone.org, June 2013 | Volume 8 | Issue 6 | e65739
- 2) 井上明星, 古川 顕, 金崎周造, 山崎道夫, 大田信一, 村田喜代史. 消化管出血 救急診療におけるCT/MRIとIVR 救急医学 37(10):1225-1230 2013.9

## 総説

- 1) 古川 顕, 山崎道夫, 金崎周造, 他. MRIによる消化管診断. 画像診断 29:212-223, 2013.
- 2) 井上明星, 古川 顕: Crohn 病 第3章 腹部画像で見逃しやすい, 見逃さない! 救急 CT の読み方 急性腹症や頭部疾患などで誰もが悩む症例から学ぶ 増刊レジデントノート 15(17):182-187 早川克己編 羊土社 2014.2 東京
- 3) 佐藤滋高, 古川 顕: 16. 気腫性腎盂腎炎 第3章 腹部画像で見逃しやすい, 見逃さない! 救急 CT の読み方 急性腹症や頭部疾患などで誰もが悩む症例から学ぶ 増刊レジデントノート 15(17):188-193 早川克己編 羊土社 2014.2 東京

## 国際学会発表

- 1) Akira Furukawa, Akitoshi Inoue, Shuzo Kanasaki, Makoto Wakamiya, Katsumi Hayakawa, Shigeru Furui, Michio Yamasaki, Shigetaka Sato, Shinichi Ota, Naoaki Kono, Kiyoshi Murata, Yen-Wei Chen, Natsuko Hayashi, Tomohiro Hirose, Tsutomu Sakamoto. CT Diagnosis of Inflammatory Conditions at Lower Gastrointestinal (GI) Tract. RSNA: Chicago, Illinois, USA
- 2) 古川 顕: Japan-Cho Ray Hospital Radiology Symposium. Diagnosis and Management for Acute Gastrointestinal Bleeding. 3月21日: ホーチミン, ベトナム
- 3) 古川 顕: 11月23日: Diagnosis of Acute GI Bleeding. 上海, 中国

## 国内学会発表

- 1) 井上明星, 山崎道夫, 板橋健太郎, 濱中訓生, 井本勝治, 坂本力, 高橋雅士, 村田喜代史, 古川 顕, 石川祐一. Risk management and complication of central venous catheter. (中心静脈カテーテルの合併症とリスクマネジメント) 第72回日本医学放射線学会総会 2013.4.11-14
- 2) 大田信一, 友澤裕樹, 渡辺尚武, 佐藤滋高, 白波瀬歩, 岬沙耶香, 新田哲久, 高橋雅士, 村田喜代史, 古川 顕. CT findings after medical therapy in autoimmune pancreatitis (自己免疫性膵炎: 薬物治療開始後のCT所見の検討). 第72回日本医学放射線学会総会 2013.4.11-14
- 3) 古川 顕: 第173回滋賀肝・胆・膵勉強会 2013.4.25 草津市. 「脾外傷と治療の選択についてのエッセンス」
- 4) 古川 顕: 第9回前期臨床研修医のための画像診断セミナー 2013.6.9 西宮市 放射線科専門医会・医会: 大会長

- 5) 古川 顕:右下腹部痛の画像診断. 10月19日:画像講演会 沖縄
- 6) 井上明星, 北原均, 大田信一, 高橋雅士, 村田喜代史, 濱中訓生, 板橋健太郎, 井本勝治, 山崎道夫, 坂本力, 市場文功, 青木悦夫, 結城健生, 小林久人(放:大津赤十字), 古川顕, 左上腹部腫瘍の画像診断
- 7) 古川 顕:Emergency Radiology in GI Tract:筑紫画像セミナー 10月25日:久留米
- 8) 古川 顕:北近畿画像研究会 Bowel imaging: Emergent condition,and so on.11月2日:福知山
- 9) 古川 顕:1月26日:放射線技術学会:ランチョンセミナー:ベトナム放射線科実態
- 10) 古川 顕:第50回日本腹部救急医学会総会 2014.3.6-7 東京. フィルムインタープリテーション
- 11) 山崎道夫, 井本勝治, 濱中訓生, 板橋健太郎, 坂本力, 古川顕. 急性虫垂炎とその鑑別に必要な画像診断の基本と現状. 第50回日本腹部救急医学会総会 2014.3.6-7 東京.
- 12) 古川 顕: Journal Thumb Through Club: 救急放射線画像の最近の話 第74回救急放射線画像研究会 2014.3.14 京都市.
- 13) 古川 顕:テーマレクチャー「腹部救急疾患の画像診断」第74回救急放射線画像研究会 2014.3.14 京都市.
- 14) 古川 顕:講演:腸管のCT画像, MR画像. 第17回関西 Radiology Updatee 講演会 2014.3.15 大阪市.

#### 研究助成

- 1) 学術研究助成基金助成金:基盤研究(C) 課題番号 25461839 (研究代表者)(平成25-27年)高速核磁気共鳴シネ画像を用いた腸管せん動運動機能評価の臨床応用
- 2) 科学研究費補助金:基盤研究(C)課題番号 22591328 (研究代表者)(平成22-24年)高速核磁気共鳴画像を用いた腸管蠕動運動の定量解析および腸管機能診断への臨床応用
- 3) 科学研究費補助金:基盤研究(B):課題番号: 21300070 (研究分担者)
- 4) 一般化N次元PCAに基づく人体臓器の統計ボリュームモデリングと診断支援への応用
- 5) H24-H25 新学術領域「計算解剖学」公募研究 (連携研究者)研究題名:多重線形代数を基盤とする多次元データ統計解析と計算解剖学への応用
- 6) H24-H25 新学術領域「計算解剖学」公募研究 (連携研究者)研究題名:統計ボリュームモデルに基づく慢性肝疾患の経時進行度に関する形態定量評価

## 原著論文

- 1) Shinoura N, Midorikawa A, T Onodera, M Tsukada, Yamada R, Tabei Y, Shiode T, Itoi C, Saito S, Yagi K. Damage to the left ventral, arcuate fasciculus and superior longitudinal fasciculus-related pathways induces deficits in object naming, phonological language function and writing, respectively. *Int J Neurosci* 123(7), 494-502, 2013.
- 2) Shinoura N, Midorikawa A, Yamada R, Hana T, Saito A, Hiromitsu K, Itoi C, Saito S, Yagi K. Awake craniotomy for brain lesions within and near the primary motor area: A retrospective analysis of factors associated with worsened paresis in 102 consecutive patients. *Surg Neurol Int.* 2013 Nov 22;4:149.
- 3) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Sound source measurement of magnetic resonance imaging acoustical noise for feedforward active noise control system, International Congress on Acoustics, Montreal, Canada, Proc. of Meetings on Acoustics, 1pSPc24, 6 pages, June 3, 2013.
- 4) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Effect of an active noise control system on acoustical noise during magnetic resonance imaging diagnosis; the 42nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, Innsbruck, Austria, Proc. of InterNoise, 1224, 6 pages, September 15-18, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Sound source measurement of magnetic resonance imaging acoustical noise for feedforward active noise control system, International Congress on Acoustics, Montreal, Canada, Proc. of Meetings on Acoustics, 1pSPc24, 6 pages, June 3, 2013.
- 2) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Effect of an active noise control system on acoustical noise during magnetic resonance imaging diagnosis; the 42nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, Innsbruck, Austria, Proc. of InterNoise, 1224, 6 pages, September 15-18, 2013.
- 3) Takayuki Suga, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Toshiyuki Onodera, Yoshihiro Nakata, Kikuo Asai, Kimio Kondo: Detection effects by thumbnail image in a medical image support system using transmitting delay path of satellite communication; The 18th ISfTeH (International Society for Telemedicine and eHealth) International Conference in Japan, Takamatsu, Kohchi, Japan, Proc. of ISfTeH, IGS-214-2, p.97, October 19, 2013.
- 4) K. Yagi, N. Yazu, Y Hatate, H. Hoshino, S. Sugimoto, M. Kubo and T. Inaba: The design of liposome types comsite of the magnetic fluid coated with saccharides in which used compoud of PEG-chondroitin sulfate; The 2013 ICANM Annual Conference (International Conference & Exhibition on Advanced & Nano Materials, 2013), Laval University, Quebec City, Canada, pp-26, August 11-14, 2013.
- 5) Kazuo Yagi, Keigo Hikishima, Toshiyuki Onodera, Ryo Takaki, Junichi Hata: The analysis of q-space imaginges(mean displacement, zero-displacement, kurtosis) by new MR q-space sequences; International Conference on Radiology and Imaging.; 2013. Radiology, August 14-16, 2013, International Conference, Conference venue is Holiday Inn, Chicago North Shore Skokie Banquet & Conference Center.

## 国内学会発表

- 1) 小野寺聡之, 八木一夫, 上田優史, 徳山武一, 高平義之, 七尾 円, 山田裕輔: O変位確立密度における撮像条件の検討; 第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p199, 2013.4

- 2) 七尾 円, 八木一夫, 小野寺聡之, 上田優史, 坂口雄太, 栗本直幸: PNIPAAm 系ゲルの材料設計における ADC の変化; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 3) 上田優史, 八木一夫, 小野寺聡之, 七尾 円, 高平義之: PNIPAAm 系ゲルファントムを用いた mean displacement と EPMA 観察; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 4) 小野寺聡之, 八木一夫, 高平義之, 上田優史, 徳山武一, 山田裕輔, 七尾 円: q-space 平均変位画像における装置間差の検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 5) 橋本佳祐, 八木一夫, 小野寺聡之, 山崎雅史: 脳画像統計解析における模擬病変を用いた Cost Function Masking : CFM の精度検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p231, 2013.4
- 6) 山崎雅史, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 新川翔太, 渡邊尊仁, 丹 綾香: 脳外科領域における Fmri の賦活部位を seed point に用いた tractography の精度に関する検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p233, 2013.4
- 7) 新川翔太, 八木一夫, 畑 純一, 遠藤和樹, 山崎雅史, 渡邊尊仁: MR tractography を用いた固有筋力値算出法の提示; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p233, 2013.4
- 8) 渡邊尊仁, 八木一夫, 荒川裕貴, 上田優史, 山崎雅史, 新川翔太: 左心室心筋壁の時相変化による短軸像の中隔両端と中心点を結ぶ角と外周長の相関; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p255, 2013.4
- 9) 遠藤和樹, 八木一夫, 畑 純一, 新川翔太: T2 値 FA 値 ADC 値を用いた下腿部骨格筋の疲労と回復における T1 値の変化の検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p299, 2013.4
- 10) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 小野寺聡之, 仲田佳広: 遅延伝送路が高精細モニタのサムネイル画像サイズに与える影響; 日本人間工学会大会第 54 回大会, IE2-3, PP.200-201, 2013.6.
- 11) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 小野寺聡之, 仲田佳広: 災害時遠隔画像診断システムにおけるサムネイル画像サイズに画面解像度が与える影響; 日本交通科学学会学術講演会, G4-4, pp.100-101, 2013.6.
- 12) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 伝送速度が高精細モニタのサムネイル画像サイズの表示に与える影響; 平成 25 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2-E-11, 1 page, 2013.8.
- 13) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: 参照マイクロホンの位置変化による MRI 検査用の ANC システムの低減効果; 平成 25 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2-C-12, 1 page, 2013.8.
- 14) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: MRI 検査のための Feedforward 型 ANC システムの効果; 2013 年日本音響学会秋季研究発表会講演論文集, 3-Q-10, pp.811-812, 2013.9.
- 15) 八木一夫, 上田優史, 七尾 円, 栗本直幸, 原 多恵子, 清水雄平, 小野寺聡之, : PNIPAAm 系ゲルを QSI 用ファントムとした材料設計と EPMA-SEM 観察および QSI-平均変位画像の相関評価; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p306, 2013.9
- 16) 八木一夫, 七尾 円, 上田優史, 小野寺聡之, 栗本直幸: PNIPAAm-PHEMA 系ゲルの重合合成と力学試験法および NMR 緩和法による材料特性評価 (T1, T2); 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p317, 2013.9
- 17) 八木一夫, 矢頭由祐, 羽立雄一, 星野弘樹, 杉本聖一, 久保雅敬, 稲葉忠司: PEG 型ナノコロイド複合体の材料設計とその複合合成による NMR 解析; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33,

p318, 2013.9

- 18) 畑 純一, 鈴木雄一, 国松 聡, 桂 正樹, 佐々木弘喜, 増谷佳孝, 八木一夫, 矢野敬一: 拡散時間設定による q-space 解析値の特性評価; 日本磁気共鳴医学会 (JSMRM), vol.33, p362, 2013.9
- 19) 丹 綾香, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 山崎雅史: 脳の左右の神経線維の類似性の検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p341, 2013.9.
- 20) 小野寺聡之, 八木一夫, 橋本佳祐, 山崎雅史, 丹 綾香: RESOLVE を用いた高分解能による q-space imaging; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p343, 2013.9.
- 21) 小野寺聡之, 八木一夫, 橋本佳祐, 山崎雅史, 丹 綾香: ナビゲーションシステム導入を目的とした RESOLVE による DTT の検討; 日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p344, 2013.9.
- 22) 山崎雅史, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 丹 綾香: b-value による tractography の変化の検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会 (JSMRM), vol.33, p344, 2013.9.
- 23) 藤吉兼浩, 疋島啓吾, 中原 仁, 許斐恒彦, 辻 収彦, 小牧裕司, 山田雅之, 百島裕貴, 八木一夫, 鈴木則宏, 岡野栄之, 戸山芳昭, 中村雅也: 多発性硬化症における clinico-radiological paradox の解明; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p370, 2013.9.
- 24) 鈴木亮祐, 八木一夫, 荒川裕貴, 渡邊尊仁: 心周期に伴う心臓長軸断面面積解析; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p378, 2013.9.
- 25) 渡邊尊仁, 八木一夫, 荒川裕貴, 上田優史, 鈴木亮祐: 左心室短軸像における中心角の微分と 2 回微分による変曲点の同定評価; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p379, 2013.9.
- 26) 新川翔太, 八木一夫, 畑 純一, 遠藤和樹: Simpson法を用いた前脛骨筋体積算出法の検討; 第41回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p404, 2013.9
- 27) 遠藤和樹, 八木一夫, 矢野敬一, 畑 純一, 新川翔太: A 疲労時の下腿部骨格筋の回復過程における T1 値と他物性値の比較・検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p405, 2013.9.
- 28) 佐藤正和, 八木一夫, 畑 純一: 複数反転 RF Pulse 印可による信号抑制効果のシーケンスシミュレーション; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p441, 2013.9.
- 29) 矢野竜太郎, 疋島啓吾, 安藤 潔, 小牧裕司, 川井健司, 井上貴史, 山田雅之, 伊藤豊志雄, 八木一夫, 百島裕貴, 岡野ジェイムス洋尚, 岡野栄之: 黒質線条体の可視化～MPTP パーキンソンモデルにおける検証～; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p456, 2013.9.
- 30) 竹川善博, 八木一夫, 稲葉忠司: BS-HAp 複合材料の積層化による力学的特性評価; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会. オーガナイズドセッション 5, 高分子材料の構造と物性, [高分子液体のレオロジー] vol.57, 2013. 11.
- 31) 星野弘樹, 八木一夫, 杉本聖一, 稲葉忠司: 糖被膜型磁性流体の PEG 化による磁気特性の評価; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会. [ゲル・ネットワーク] vol.57, 2013.11.
- 32) 栗本直幸, 八木一夫, 稲葉忠司: PNIPAAm 系ハイドロゲルの HEMA 添加が材料特性に及ぼす影響; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会, vol.57, 2013.11.
- 33) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: サムネイル画像表示に姿勢の固定が与える影響; 日本人間工学会大会 関東支部第 43 大会, 40416-3, pp.150-151, 2013.12.
- 34) 長田涼佑, 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫: MRI 検査用ピエゾヘッドホンの製作; 電子情報通信学会 東京支部学生大会講演論文集, 8, p.8, 2014.3.
- 35) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 伝送遅延時間がサムネイル画像表示における画像検出に与える影響; 電子情報通信学会 東京支部学生大会講演論文集, 159,

p.159, 2014.3.

- 36) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: MRI 検査用 Feedforward 型 ANC システムの参照マイクロホンの位置の検証; 2014 年日本音響学会春季研究発表会講演論文集, 2-1-8, pp.687-688, 2014.3.
- 37) 武藤憲司, 中山翔平, 八木一夫, 渡邊尊仁, 陳国躍: 相関関数を用いたMRI駆動音源の推定について; 2014 年電子情報通信学会総合大会 基礎・境界講演論文集, A-10-7, p.148, 2014.3.
- 38) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 視距離がサムネイル画像の検出に与える影響; 2014 年電子情報通信学会総合大会 情報・システム講演論文集2, D-11-15, p.15, 2014.3.
- 39) 水谷大地, 八木一夫, 稲葉 忠司, 杉本 聖一: PEG 型糖被膜型 Zn-FeO·Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 磁性流体の粒子径観察; 日本機械学会東海支部学生会第 45 回学生員卒業研究発表講演会 2014.3.17.
- 40) 池田 篤哉, 八木一夫, 稲葉 忠司, 杉本 聖一: 低温複合によるPNIPAAmハイドロゲルの力学的特性評価; 日本機械学会東海支部学生会第 45 回学生員卒業研究発表講演会 2014.3.17.
- 41) 高野邦彦, 若林良二, 高崎和之, 高橋義典, 鈴木 弘, 八木一夫, 浅井紀久夫, 佐藤甲癸: 被災地支援に向けた映像の水中伝送に関する基礎検討; 2014年電子情報通信学会総合大会講演論文集, D-11-61, 2014.3.20.

#### 研究助成

- 1) 平成 25 年度, 科学研究費補助金, 基盤 C, 研究代表者, 八木一夫, 研究課題番号 23591785, 研究題名 MRI-QSI 法開発によるシーケンス最適化と多面体構造解析の研究, 平成 25 年度交付金 900,000 円, 高大連携研究 350,000 円
- 2) 健康福祉学部傾斜研究費 260 万円, 研究代表者, 八木一夫, 衛星(WINDS)を利用した災害遠隔医療の研究

#### その他

- 1) 日本保健科学学会, 平成 25 年度第 23 回 日本保健科学学会学術集会, 公開シンポジウム「生きる力をつなぐ」診療放射線技師の立場から, シンポジスト, 八木一夫: 首都大学東京・健康福祉学部・放射線学科
- 2) 平成 25 年度日本磁気共鳴医学会「q-space imaging 研究会」の開催, 代表世話人, 八木一夫 日時 9 月 19 日 17:00~18:30, 場所: アスティ徳島(徳島市山城町東浜傍示 1 番地 1)会議場, 2F(第 4 会場)

## 原著論文

- 1) Xiaoguang Lu, Hiroki Ohtani: The research of respiratory movement induced hepatic tumor motion in radiotherapy by use of a cone-beam CT under the fluoroscopic mode. The Journal of Japan Academy of Health Sciences, Vol.16 No.3, 133-139, 2013

## 研究報告書

- 1) 大谷浩樹:「農業用導水路における除染のためのホタテブロックの開発と実証試験」報告書 新技術開発財団 復興支援特定研究助成 2012, 2013
- 2) 大谷浩樹:「環境汚染物質に対する浸透遮蔽石の開発」報告書 平成25年度荒川区地域産業活性化研究補助金 2014

## 国際学会発表(抄録, proceeding 等)

- 1) Hiroki Ohtani, Takahiro Hirayama, Xiaoguang Lu : The development and the quality assessment of the dose rate measurement carry in earth surface. 7<sup>th</sup> International Symposium on Naturally Occurring Radioactive Material. 2013
- 2) Hiroki Ohtani, Xiaoguang Lu, Noriaki Shiratori : Decontamination of the water for agricultural use using a scallop. The3rd Asian Congress of Radiation Research (ACRR). 2013
- 3) Hiroki Ohtani: Cultivation for Radiological Technologist in Japan, International RT Curriculum Forum 2013
- 4) Hiroki Ohtani, Xiaoguang Lu, Fan Li: Decontamination of Radiocesium Contaminated Soil Useing Electrokinetic Remediation Technology, 13<sup>th</sup> Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP2013) PG-53, P.64 12-14 2013
- 5) Hiroki Ohtani, Hirona Takagi, Daisuke Horikawa, Hyuma Hamada: Decontamination using the scallop block to the radioactive cesium contaminated water by the accident of the Fukushima nuclear power plant. European Congress of Radiology (ECR2014) 2014

## 国内学会発表

- 1) 大谷浩樹, 盧 暁光, 高木優奈, 春日沙織, 横田知里: 医用放射線防護クリームの開発 日本放射線技術学会 第69回総会学術大会 227, 2013
- 2) 大谷浩樹, 高木優奈, 白取則明: ホタテ貝殻を用いた里山からの支流の除染, 東京都立産業技術研究センター 研究成果発表会 要旨集 83, 2013
- 3) 大谷浩樹, 盧 暁光, 高木優奈: ホタテ貝殻を用いた農業用水の除染研究, 第50回アイトープ・放射線研究発表会 要旨集 182, 2013
- 4) 大谷浩樹: 子育てを支える心理放射能学のすすめ, 第5回施策提案発表会 2013
- 5) Hiroki Ohtani, Takahiro Hirayama, Xiaoguang Lu, Hirona Takagi: Development of the shield for radiation survey meter. 第106回日本医学物理学学会学術大会 医学物理 Vol.33 Sup.3, P.120 2013
- 6) 大谷浩樹, 高木優奈, 山口友花里, 木下麻友子, 津村 奎: 放射能環境を生きていく心と知識, 第23回日本保健科学学会学術集会 Vol.16 Suppl p.20, 2013
- 7) 大谷浩樹, 高木優奈, 盧 暁光: 医療福祉のための心理放射能学の構想, 日本放射線技術学会

研究助成

- 1) 大谷浩樹:平成 25 年度荒川区地域産業活性化研究補助金, 環境汚染物質に対する浸透遮蔽石の開発

その他

- 1) 大谷浩樹:文部科学省技術審査会「放射線等に関する学習用機器(簡易放射線測定器)の貸出」審査員 2013
- 2) 大谷浩樹:文部科学省初等中等教育局「放射線に関する出前授業及び教育職員セミナー実施事業審査委員会」審査員 2013
- 3) 大谷浩樹:放射線・放射能の基礎知識 ひたちなか市 二中学地域の輪をつくる会(環境部会)教育講話, 2013
- 4) 大谷浩樹, 清水 悟, 石村忠昭:特許公開「放射線遮蔽塗布材」, 特開 2013-253798, 2013
- 5) 大谷浩樹:放射線について考えてみよう, 文部科学省委託事業「放射線に関する出前授業」講師昭島市立拝島第三小学校 5 年生 2014
- 6) 大谷浩樹, 平山貴浩:特許公開「地中放射線量の計測方法及び地中放射線量計測補助具」特開 2014-010088, 2014
- 7) 大谷浩樹:放射線について考えてみよう, 文部科学省委託事業「放射線に関する出前授業」講師八王子市立中山中学校 3 年生
- 8) 大谷浩樹:文部科学省委員「学校における放射線教育支援事業審査委員会」審査員 2014

## 原著論文

- 1) 庄司友和, 樋口壮典, 飯田哲也, 稲垣公俊, 加藤洋: Dual Source CTを用いた冠状動脈造影 CTにおける使用基準の有用性 心電同期高速二重螺旋スキャンと螺旋スキャン, 非螺旋スキャンの被ばく線量比較: 日本放射線技術学会雑誌, 69(3), 257-263, 2013.

## 国内学会発表

- 1) T Negishi, A Shiraishi, H Nagashima, S Abe, Y Katoh, I Ogura: Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会, 抄録集 179, 2013.
- 2) 安部真治, 斎藤佑樹, 根岸徹, 小倉泉, 加藤洋, 清水優介: 撮影・透視装置用非接続形 X 線測定器の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9), 1024, 2013.
- 3) 落合幸一郎, 椎葉公仁, 今井宣雄, 中村浩章, 加藤洋, 小倉泉, 根岸徹, 三宅博之: 非接続形測定器による practical peak voltage: PPV(加重平均ピーク電圧)の測定. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9), 1071, 2013.
- 4) 長倉健司, 庄司友和, 飯嶋恵, 柴田公望, 加藤洋: オーバースキャンニングに対する Z 軸コリメータの被ばく低減効果の検討. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 123, 2013.
- 5) 庄司友和, 飯嶋恵, 長倉健司, 柴田公望, 加藤洋: 多機能 X 線アナライザーを用いた CT 装置の線量プロフィール. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 124, 2013.
- 6) 飯嶋恵, 庄司友和, 長倉健司, 柴田公望, 加藤洋: 多機能 X 線アナライザーを用いた Variable Helical Pitch の評価. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 125, 2013.

## 研究助成

- 1) 中生勝美, 加藤洋, 中村衛, 渡辺修一郎, 長田久雄: 平成 24 年度科研費(挑戦的萌芽研究), 台湾離島に來襲した大津波の検証と低レベル放射線の生態系への影響.
- 2) 中生勝美, 加藤洋: 平成 25 年度東北大学東北アジア研究センター公募型共同研究, 福島原発事故による環境汚染に対する集落単位の除染活動と台湾離島の核廃棄物貯蔵場の完全管理.

## その他

- 1) 加藤洋: 放射線計測の理論4-検定と推計-. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集, 99, 2013.
- 2) 加藤洋: 食品汚染の評価. 第 41 回日本放射線技術学会秋季学術大会予稿集, 132-133, 2013.
- 3) 中生勝美, 加藤洋: 福島原発事故による環境汚染に対する集落単位の除染活動と台湾離島の核廃棄物貯蔵場の完全管理. 東北アジア研究センター研究成果報告会, 2014.

学術論文
------

- 1) Kiyomitsu Shinsho, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda, Ryo Morimoto, Daiki Maruyama, Hidetoshi Saitoh and Noboru Sakurai “Basic Characteristics of Tissue Equivalent Phantom Thermoluminescence Slab Dosimeter using New TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ ” Radiation Measurements, Vol 62C, No. , 2014, pp 15 - 21
- 2) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Genichiro Wakabayashi, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda “Response of a Plate-type Thermoluminescence Dosimeter to a Therapeutic Carbon Beam” , Journal of the Korean Physical Society, Vol. 63, No. 7, October 2013, pp. 1432-1436
- 3) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 櫻井昇, 若林源一郎, 福田茂一「熱ルミネッセンススラブ線量計」, 医学物理, 33 卷 3 号 pp.137-144
- 4) 眞正浄光, 「“熱蛍光体による放射線イメージング” = 放射線治療計画の検証から環境放射線測定まで」, 光アライアンス, 24(6), 26-30, 2013-06

研究報告書
-------

- 1) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一:平成 24 年度放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書「組織等価 3 次元熱ルミネッセンス線量計の重粒子線に対する特性の研究」平成 25 年 4 月
- 2) 眞正浄光, 櫻井 昇, 永川栄泰, 河原大吾:平成 24 年度都市課題解決のための共同研究成果報告書「放射線イメージングデバイスの開発」, 平成 25 年 4 月
- 3) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 芳原新也:平成24年度近畿大学原子炉等利用共同研究経過報告書「熱蛍光体を利用した中性子イメージングデバイスの開発」, p71-75, 平成25年9月

国際学会発表等
---------

- 1) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda, Genichiro Wakabayashi “Evaluation of base materials of TL slab Dosimeter for heavy-ion radiotherapy” Heavy Ion in Therapy and Space Radiation Symposium 2013 (HITSRS2013), Chiba, Japan, 2013., May15-18
- 2) Y. Koba, K. Shinsho, S. Tamatsu, S. Fukuda, G. Wakabayashi ” LET Dependence of Glow Curve of TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ ” Neutron and Ion Dosimetry Symposium (NEUDOS12), Aix-en-Provence, France, 2013
- 3) Daiki Maruyama, Kiyomitsu Shinsho, Noboru Sakurai, and Hidetoshi Saitoh, “Feasibility study of thermoluminescence slab for CyberKnife beam alignment test”, International conference of Medical Physics, Brighton, United Kingdom, Sep.1-4, 2013,

国内学会発表等
---------

- 1) 丸山大樹, 眞正浄光, 櫻井昇, 漆山秋雄, 齋藤秀敏, 「熱蛍光スラブ線量計のサイバーナイフ照射中心位置検出への応用」, 第 105 回日本医学物理学会, 2013 年 4 月
- 2) 玉津早駿, 古場裕介, 眞正浄光, 福田茂一, 「組織等価ファントム熱蛍光線量計のグロー曲線の LET

- 依存性」, 第 105 回日本医学物理学会, 2013 年 4 月
- 3) 眞正浄光, 「熱蛍光スラブ線量計による高精度放射線治療計画の 3 次元検証システムの開発とその応用」, 平成 25 年度 都市科学連携機構 第 5 回施策提案発表会, 2013 年 7 月
  - 4) 玉津 早駿, 古場 裕介, 眞正 浄光, 福田 茂一, 「組織等価ファントム熱蛍光線量計(TEP-TLD)のグロー曲線の LET 依存性」第 106 回日本医学物理学会, 2013 年 9 月
  - 5) 玉津 早駿, 古場 裕介, 眞正 浄光, 福田 茂一, 「精密熱蛍光解析によるグロー曲線の LET 依存性に関する研究」第 74 回応用物理学会秋季学術講演会, 2013 年 9 月
  - 6) 古場裕介, 藤原健, 眞正浄光, 「重粒子線治療における線量分布測定のための検出器開発について」, 第 28 回「放射線検出器とその応用」研究会, 2014 年 1 月
  - 7) 小川剛史, 叶井絵梨, 山下良樹, 神野郁夫, 眞正浄光, 大高雅彦, 橋本周, 荒邦章, 尾鍋秀明, 「熱ルミネッセンス板を用いたエネルギー分解コンピューター断層撮影に関する検討」, 第 28 回「放射線検出器とその応用」研究会, 2014 年 1 月
  - 8) 眞正浄光, 大島梨奈, 古場裕介, 若林源一郎, 川路康之, 福士政広, 「市販セラミックスの熱蛍光特性による放射線イメージング」第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月
  - 9) 柳澤 伸, 眞正 浄光, 古場裕介, 櫻井昇, 「軽量セラミックスによる組織等価熱蛍光スラブ線量計の検討」, 第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月
  - 10) 小川剛史, 山下良樹, 神野郁夫, 眞正浄光, 大高雅彦, 橋本 周, 荒 邦章, 尾鍋秀明, 「平板放射線検出器を用いたエネルギー分解 X 線コンピューター断層撮影法の開発」第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月

#### 研究助成

- 1) 眞正浄光: 都市課題解決のための技術開発プロジェクト「放射線イメージングデバイスの開発」(代表者)
- 2) 眞正浄光: 科研費 基盤 C「板状熱蛍光線量計による新しい中性子オートラジオグラフィ法の開発」(代表者)
- 3) 眞正浄光: スタートアップ調査「福島県における樹木中および地面の放射性物質流動経路探索システムの構築」(代表者)
- 4) 眞正浄光: 受託研究費「セラミックスの熱蛍光特性を利用した放射線イメージングデバイスの開発」(代表者)
- 5) 眞正浄光: 受託研究費「熱蛍光スラブ線量計自動測定装置の臨床応用に関する研究」(代表者)

#### 招待講演等

- 1) 眞正浄光, 「熱蛍光体による放射線イメージングシステムの現状と展望」第 105 回日本医学物理学会シンポジウム, 2013 年 4 月
- 2) 眞正浄光, 「セラミックスによる高分解能放射線イメージング技術」BIOTECH2013, 2013 年 5 月
- 3) 眞正浄光, 「熱ルミネッセンス現象を用いた放射線計測」日本学術振興会「放射線科学とその応用第 186 委員会」, 2013 年 5 月
- 4) 眞正浄光, 「“熱蛍光スラブ線量計”開発までの道のり」第 7 回日本診療放射線学技師教育学会, 2013 年 5 月
- 5) 眞正浄光, 櫻井 昇, 永川栄泰, 河原大吾, 「放射線イメージングデバイスの開発」, 産業交流展, 2013 年 10 月

特許

- 1) 発明者：真正浄光，発明の名称：熱蛍光体，及び熱蛍光放射線検出デバイス，特願 2014- 38797

## 原著論文

- 1) Minoru MITSUDA, Masayuki YAMAGUCHI, Ryutaro NAKAGAMI, Toshihiro FURUTA, Norio SEKINE, Mamoru NIITSU, Noriyuki MORIYAMA and Hirofumi FUJII : Intensity Correction Method Customized for Multi-animal Abdominal MR Imaging with 3T Clinical Scanner and Multi-Array Coil, Magnetic Resonance in Medical Sciences, Vol.12, No.2,p.95-103, 2013.
- 2) Masayuki YAMAGUCHI, Minoru MITSUDA, Kenji EZAWA, Ryutaro NAKAGAMI, Toshihiro FURUTA, Norio SEKINE, Mamoru NIITSU and Hirofumi FUJII : Artifact-Reduced Simultaneous MRI of Multiple Rats With Liver Cancer Using PROPELLER, JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING, 38,p.225-230, 2013.

## 研究助成

- 1) 関根紀夫: 高エネルギー加速器研究機構放射光共同利用実験採択, 課題番号 2012G773「X線位相コントラスト法による肝臓灌流機能に関する研究」(実験責任者)

## 原著論文

- 1) 松田 雅弘, 新田 收, 妹尾 淳史, 白谷 智子, 渡邊 修: 健常高齢者に対する健康指導によるストレス刺激時の脳内活動の経時的変化について 機能的 MRI による分析健康医科学研究助成論文集 29 号 Page47-57(2014.03)
- 2) Kasahara K, Tanaka S, Hanakawa T, Senoo A, Honda M.: Lateralization of activity in the parietal cortex predicts the effectiveness of bilateral transcranial direct current stimulation on performance of a mental calculation task. Neurosci Lett,545:86-90,2013 Apr 27
- 3) Yamada N, Kakuda W, Senoo A, Kondo T, Mitani S, Shimizu M, Abo M: Functional cortical reorganization after low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy for upper limb hemiparesis: evaluation by functional magnetic resonance imaging in poststroke patients. Int J Stroke. 8(6):422-9, 2013 Aug
- 4) Fukunaga, I., Hori, M., Masutani, Y., Hamasaki, N., Sato, S., Suzuki, Y., Kumagai, F.,Senoo, A.: Effects of diffusional kurtosis imaging parameters on diffusion quantification . Radiological Physics and Technology ,6(2):343-348,2013 Jul

## 総説・解説

- 1) 黒野 昭彦, 月本 洋, 岡本 智幸, 菊池 吉晃, 妹尾 淳史: ノンパラメトリック線形回帰分析を用いた脳の賦活領域の検出. 電子情報通信学会論文誌,96(11):2838-2844,2013.11

## 国内学会発表

- 1) 佐野 雄一郎, 妹尾 淳史: f-MRI による速読・速聴時の脳機能活動に関する研究, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集 70 回 Page267(2014.02)
- 2) 松田 雅弘, 新田 收, 藤本 泰成, 妹尾 淳史, 木下 正信, 古川 順光, 楠本 泰士, 多田 裕一, 小山 貴之: 長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について 機能的 MRI による検討. 日臨床神経生理学,41(5):487,2013.10
- 3) 小菅 正嗣, 鎌形 康司, 本井ゆみ子, 堀 正明, 増谷 佳孝, 福永 一星, 濱崎 望, 下地 啓五, 鈴木 通真, 鈴木由里子, 佐藤 秀二, 吉田茉莉子, 青木 茂樹, 服部 信孝, 妹尾 淳史: 带状束の拡散パラメータ測定による AD, DLB の鑑別. 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:341,2013
- 4) 福永 一星, 錦織 瞭, 堀 正明, 増谷 佳孝, 熊谷 文孝, 鈴木由里子, 濱崎 望, 佐藤 秀二, 芳士戸治義, 鎌形 康司, 青木 茂樹, 妹尾 淳史: 拡散時間の変化が Diffusional kurtosis imaging(DKI) に与える影響. 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:363,2013
- 5) 熊谷 文孝, 堀 正明, 増谷 佳孝, 桂 正樹, 鈴木 通真, 福永 一星, 錦織 瞭, 濱崎 望, 鎌形 康司, 佐藤 秀二, 鈴木由里子, 吉田茉莉子, 新井 一, 石井 尚登, 近藤 聡英, 青木 茂樹, 妹尾 淳史: 神経膠芽腫における, DKI を用いた各組織の拡散定量値の比較(voxel by voxel study). 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:368,2013
- 6) 白谷 智子, 新井 光男, 新田 收, 松田 雅弘, 多田 裕一, 妹尾 淳史, 柳澤 健: 固有受容性神経筋促通法の骨盤前方挙上パターンの中間域での静止性収縮が手運動野の脳活動に及ぼす影響 機能的 MRI における検討, 理学療法学 40 巻大会特別号 3 PageS-A 運動-001(2013.05)

## 著書

- 1) 医用放射線辞典 第五版(医用画像情報学部分を担当), 共立出版, 2013.

## 総説・解説

- 1) 乳井嘉之: 第 105 回日本医学物理学会(JSMP)学術大会レポート. INNERVISION, 28(6), 18-22, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 乳井嘉之: 逐次近似的画像再構成法を用いたトモシンセシスの映像化に関する基礎的研究. 第 106 回日本医学物理学会学術大会報文集, 医学物理, 33(3):123, 2013.
- 2) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ヘリカルCT装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1), 438, 2013.
- 3) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬システムの構築, 電気学会全国大会抄録集料(1-010), 13, 2014.

## 研究助成

- 1) 乳井嘉之(研究代表者): 平成 25 年度 研究代表・基盤研究(C)「デジタルトモシンセシスを模擬した教育用シミュレーションツールの作成」, 採択.
- 2) 乳井嘉之(研究分担者): 平成 25 年度 研究分担・基盤研究(C)「ヘリカル X 線 CT 装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発」, 研究代表者: 小倉 泉, 採択.

## 原著論文

- 1) T. Numano, K Hyodo, N Nitta, J Hata, N Iwasaki, K Homma: Apparent Diffusion Coefficient Mapping using a Multi-Shot Spiral MRI Sequence of the Rat Brain. Open Journal of Radiology 2014;4:13-24
- 2) Numano T., Kawabata Y, Mizuhara K, Washio T, Nitta N, Homma K: Magnetic Resonance Elastography using an air ball-actuator. Magnetic Resonance Imaging 2013;31:939-946 (Impact Factor 2013: 2.022)

## 国際学会発表

- 1) T. Numano, J. Hata, K. Mizuhara, K. Takamoto, T. Washio, H. Nishijo, K. Yagi, and K. Homma: April 20-26,2013 Salt Lake City USA: Simple MR Elastography: A Gradient-Echo type Multiecho MR Sequence. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 21th Annual Meeting & Exhibition, 2437
- 2) Hata Junichi, Numano Tomokazu, Mizuhara Kazuyuki, Washio Toshikatsu, Takamoto Kohichi, Homma Kazuhiro, Yagi Kazuo, Yano Keichi, and Ohtomo Kuni: April 20-26,2013 Salt Lake City USA: Analysis of the Stiffness Anisotropy Structure Using MR Elastography in the Skeletal Muscle. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 21th Annual Meeting & Exhibition, 3514

## 国内学会発表

- 1) 沼野智一: 2014年3月 東京 JST 発新技術説明会 第3回ライフイノベーション分野(創薬,医療技術)「MR エラストグラフィによる生体組織弾性率計測と新しいMR エラストグラフィ機器の開発」
- 2) 沼野智一, 高本孝一, 西条寿夫, 川崎一朗, 甲斐範光, 片桐秀樹: 2013年11月 東京 第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会「MR エラストグラフィによる大腰筋弾性率計測の試み」
- 3) 沼野智一, 水原和行, 川畑義彦, 鷺尾利克, 本間一弘: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「潜在的なMR Elastography 利用者を増加させるための技術開発」
- 4) 沼野智一, 高本孝一, 川崎一朗, 甲斐範光, 水原和行, 西条寿夫, 鷺尾利克, 本間一弘: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「簡易的MR Elastography による大腰筋硬度計測の試み」
- 5) 森田俊之, 沼野智一, 三澤雅樹, 新田尚隆, 兵藤行志, 本間一弘, 佐藤昌憲: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「Autopsy imaging による組織内変化の経時的計測」
- 6) 服部峰之, 加賀尚博, 平賀隆, 沼野智一, 兵藤行志, 本間一弘, 大竹紀夫: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「多孔質体上を連続フローさせた超偏極 129Xe による吸着相 Xe のNMR」
- 7) 沼野智一, 高本孝一, 川崎一朗, 甲斐範光, 水原和行, 新田尚隆, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「Magnetic Resonance Elastography による大腰筋弾性率の計測」
- 8) 沼野智一, 堀江常満, 村上克彦, 森谷浩史: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「胸部 Computer-Assisted Detection (CAD)ソフトウェアの性能評価に関する提案」
- 9) 新田尚隆, 青木孝子, 沼野智一, 三澤雅樹, 兵藤行志, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「超音波とMRI の画像計測に基づく軟骨音速の非侵襲評価法」

- 10) 服部峰之, 沼野智一, 兵藤行志, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「超偏極キセノンMRIによる呼吸器機能の画像診断」
- 11) 沼野智一, 畑純一, 水原和行, 高本幸一, 鷺尾利克, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「Magnetic Resonance Elastography by using a Multi-echo MRI sequence」
- 12) 沼野智一, 堀江常満, 松浦孝俊, 村上克彦, 森谷浩史: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「撮影パラメータが肺野内結節自動検出ソフトウェアのGGO検出能に及ぼす影響」
- 13) 根本道子, 加藤洋, 沼野智一, 越沼沙織, 山本康義, 山岸宏造: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「特殊繊維素材の軟X線遮へい効果の検討」

#### 研究助成

- 1) 沼野智一: 科学研究費補助金 基盤(C) 研究代表者「新しいMRエラストグラフィ技術の実用化に関する研究」2013-2015
- 2) 沼野智一: 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)FS 探索タイプ 研究代表者「新型 MR Elastography 加振動装置の試作と実用化の検証」2012-2013
- 3) 岩崎信明, 大和田浩子, 木戸達之, 沼野智一: 科学研究費補助金 基盤(C) 研究分担者「運動機能障害におけるエネルギー必要量の算出法の確立-二重標識水法と間接熱量測定法」2011-2013

#### 受賞

- 1) 沼野智一, 畑純一, 水原和行, 高本幸一, 鷺尾利克, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年4月 第69回日本放射線技術学会総会学術大会 CyPos 賞 銀賞「Magnetic Resonance Elastography by using a Multi-echo MRI sequence」

#### 特許

- 1) 沼野智一, 川畑義彦: 2013年10月4日: 特許第5376593号: 特許権者 公立大学法人首都大学東京, 高島製作所株式会社。「磁気共鳴エラストグラム(MRE)の作成方法及び作成装置,並びに磁気共鳴エラストグラム(MRE)作成用のボールパイプレータ」

#### 講演

- 1) 2014年2月7日 東京 平成25年度東京都立病院放射線技師会勉強会「fMRI & MRE -MRIの基礎とMRエラストグラフィ-」

## 国際学会発表

- 1) Myojoyama and H.Saitoh: Improvement of CBCT Image Quality using Electron Mode of Linear Accelerator, ICCR2013(Melborne), 2013年5月.
- 2) Myojoyama and H.Saitoh: Megavoltage CBCT using Electron Mode of Linear Accelerator, ICCR2013(Melborne), 2013年5月.

## 国内学会発表

- 1) 明上山温, 齋藤秀敏: A Improvement Method for EPID Images using Electron Mode of Linear Accelerator, 第105回日本医学物理学会学術大会, 2013年4月.
- 2) 針生将嗣, 明上山温, 齋藤秀敏: MVCBCTによる高画質再構成の基礎検討, 第106回日本医学物理学会学術大会, 2013年9月.
- 3) 明上山温: EPID Simulation using A Simple Monte Carlo Method, 第106回日本医学物理学会学術大会, 2013年9月.

## 原著論文

- 1) Inoue, K., Hosoda, M., Tokonami, S., Ishikawa, T., Fukushima, M.: Investigation of radon and thoron concentrations in a landmark skyscraper in Tokyo. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry 298:2009-2015, 2013.
- 2) Inoue, K., Fukushima, M.: Current status of hypoxia imaging in cancer therapy. Radiation Biology Research Communications 48:364-374, 2013.

## 著書

- 1) 井上一雅: 法令. 福士政広編, 第2種放射線取扱主任者マスター・ノート:165-247, メジカルビュー社, 東京, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Inoue, K., Umeda, I.O., Fukushima, M., Fujii, H.: In vivo high quality SPECT imaging of mouse brains using I-125 labeled compounds. European Association of Nuclear Medicine, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 大脇由樹, 成田浩人, 福士政広, 井上一雅: 塩化ストロンチウム注射液に含まれる Sr-85 の特性X線について. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会:2013.
- 2) 井上一雅: The usefulness of fully three-dimensional OSEM algorithm on lymph node metastases from lung cancer with  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会:2013.
- 3) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価法の検討. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 4) 三浦沙紀, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故における昆虫汚染調査. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 5) 前寺郁彦, 佐野亮介, 梶山皓子, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 6) 森山ひとみ, 成田浩人, 大脇由樹, 井上一雅, 福士政広: 塩化ストロンチウム( $^{89}\text{Sr}$ )注射液に含有するストロンチウム-85 による画像化に関する検討. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 7) 依田隆史, 井上一雅, 福士政広: SPECT/PET 兼用装置を用いた基本性能評価. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 8) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅: 昆虫へ放射性セシウム汚染の調査. 第23回日本保健科学学術集会:2013.
- 9) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅: 伊豆大島の環境放射線の推移. 第23回日本保健科学学術集会:2013.
- 10) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 竹内幸浩, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政

広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価指標の検討. 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会: 2013.

- 11) 井上一雅, 梅田泉, 福士政広, 藤井博史: I-125 標識化合物を用いたマウス高画質 in vivo SPECT イメージング. 第 53 回日本核医学学術総会: 2013.
- 12) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: Sr-85 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み. 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会: 2013.

#### 研究助成

- 1) 井上一雅: 文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B), 多機能分子プローブの開発による術前・術中センチネルリンパ節同定検査の統合.
- 2) 井上一雅: 首都大学東京傾斜的研究費(若手奨励), 高分解能 I-125 SPECT/CT イメージングの確立とマウス脳機能解析法の開発.
- 3) 井上一雅: 財団法人がん研究振興財団がん研究助成金, 術前・術中センチネルリンパ節同定検査の統合を目的とした多機能分子プローブの開発.
- 4) 井上一雅: 首都大学東京傾斜的研究費, 福島第一原発事故の影響による小生物のセシウム汚染の調査研究(分担).

#### 受賞

- 1) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 優秀ポスター賞, Sr-89 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み, 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2013.
- 2) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 最優秀学生賞, 塩化ストロンチウム注射液中に含まれる Sr-85 の特性 X 線について, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013.





首都大学東京 健康福祉学部 研究費評価・配分委員会部会

部会長	木下	正信	(学部長)
委員	飯村	直子	(看護学科長)
委員	池田	誠	(理学療法学科長)
委員	石井	良和	(作業療法学科長)
委員	福士	政広	(放射線学科長)

登録番号(26)48

平成25(2013)年度研究年報  
(第10号)

平成26年1月発行

編集発行 首都大学東京 健康福祉学部  
〒116-8551 東京都荒川区東尾久7丁目2番10号  
電話 (03)3819-1211

印刷 東京都荒川区西日暮里5-7-2  
〒116-0013 株式会社マステック  
電話 (03)3802-4371



古紙配合率70%  
再生紙を使用しています。

## 原著論文

- 1) Arai M, Shiratani T. Effect of remote after-effects of resistive static contraction of the pelvic depressors on improvement of restricted wrist flexion range of motion in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther, <http://dx.doi.org/10.1016/j.jbmt.2014.11.004>, 2014.
- 2) Arai M, Shiratani T. Comparison of the effects of remote after-effects of static contractions for different upper-extremity positions and pinch-force strengths in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther. 2014, <http://dx.doi.org/10.1016/j.jbmt.2014.11.005>, 2014.
- 3) Shiratani T, Arai M.. Remote neurophysiological rebound effects of resistive static contraction using a proprioceptive neuromuscular facilitation pattern in the mid-range pelvic motion of posterior depression on the soleus H-reflex. PNF Res.15(1); 24-32, 2015.
- 4) 榎本一枝, 新井光男, 他、異なる側臥位での骨盤の静止性収縮が立位での患側の荷重量に及ぼす後効果、PNF リサーチ,15(1); 39-45, 2015.
- 5) Arai M, Shiratani T, Yanagisawa K, Ikeda M. Effect of Static Contractions Through Different Upper Extremity Position and Different Pinch Force Strengths on Improvement of Maximal Active Range of Motion of Wrist. 6(8 Suppl 2). S159, 2014.
- 6) Shiratani T, Arai M, Kuruma H, Yanagisawa K. The Effects of a Static Contraction of Pelvic Posterior Depressors on the Brain Activities Induced By an FMRI in Normal Volunteers. 6(8 Suppl 2). S122-S123. 2014.
- 7) 坪井章雄, 林隆司, 新井光男, 白谷智子, 長島緑, 目黒篤:施設版 FIM(Geriatric Health Services Facility version Functional Independence Measure: G-FIM)の信頼性・妥当性の検討. 総合リハ(. 42(5): 445-453. 2014.

## 原著論文

- 1) Goto M, Takedani H, Haga N, Kubota M, Ishiyama M, Ito S, Nitta O. Self-monitoring has potential for home exercise programs in patients with hemophilia. Haemophilia. 2014.1-7
- 2) 楠本泰士, 新田收, 松田雅弘: 歩行可能な脳性麻痺児における大腿直筋および内側ハムストリングス延長術後4週の関節トルク変化, 日本保健科学学会誌 16(1),p38-42,2013.
- 3) 後藤美和, 竹谷英之, 久保田実, 芳賀信彦, 新田收. 血友病患者に対するホームエクササイズが身体機能と日常生活活動能力に及ぼす影響. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 37 巻 1 号. 2014 年 3 月 予定.(掲載決定)
- 4) 後藤美和, 竹谷英之, 川間健之介, 新田收: 血友病患者における日常生活活動尺度の開発. 日本保健科学学会誌 16(4), 2014(掲載決定)
- 5) 平野恵健, 西尾大祐, 池田 誠, 新田收, 皆川知也, 木川浩志: 在宅復帰した脳卒中片麻痺患者の退院後の下肢装具の使用状況と移動能力の変化について—回復期リハビリテーション病棟での家族指導の効果—. 日本義肢装具学会誌 30 巻 1 号(2014 年 1 月号)(掲載決定)

## 著書

- 1) 新田收, 他 翻訳:ムーブメント, ナップ, 東京, 2013.
- 2) 新田收, 他: 小児・発達期の包括的アプローチ, 文光堂, 東京, 2013

## 総説・解説

- 1) 新田收: 子供の発達と評価の考え方および進め方, 理学療法 vol30(10),1059-1064,2013.
- 2) 新田收: 電動昇降座椅子, Journal of Clinical Rehabilitation Vol22(6),576-579.2013

## 国際学会発表

- 1) Osamu Nitta, 他 3 名: RELATIONSHIP BETWEEN SITTING POSITION AND AMYLASE, 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain,Dobai,October27-31/2013.査読あり
- 2) Osamu Nitta, 他 4 名: THE EFFECT OF BALANCE EXERCISE USING A PILLAR ON DEEP-SEATED MUSCLE OF THE BODY TRUNK, 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain,Dobai,October27-31/2013.査読あり
- 3) 3)T Matsuda ,K Shiota,O Nitta, T Shiratani・他:Effect on brain activity of cognitive motor task in healthy elderly; an fMRI study. 23rd Meeting of the European Neurological Society(Barcelona, Spain), 平成 25 年 6 月
- 4) 4)T Matsuda, O Nitta, A Senoo, T Shiratani, K Animoto, A Manji, S Watanabe, M Kinoshita : Change in brain neural activation during stress due to a continued simple cognitive task. 21st World Congress of Neurology(Vienna, Austria), 平成 25 年 9 月
- 5) 5)Matsuda T, Nitta O, Koyama T, Koshida S, Kawada K , Miyajima S, Takanashi A, Shiratani T : CHANGE IN TRUNK AND LOWER EXTREMITIES MUSCLE ACTIVITIES AND STAND-TO-SIT MOVEMENT FOLLOWING BACK TRUNK MUSCLE FATIGUE . 8th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Pain(Dubai, UAE), 平成 25 年 10 月

- 6) Matsuda T, Nitta O, Shiratani T, Koyama T, Senoo A : CHANGE IN PSOAS MAJOR MUSCLE SECTION BY TRUNK STABILITY TRAINING-AN MRI STUDY-. 8th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Pain(Dubai, UAE), 平成 25 年 10 月

#### 国内学会発表

- 1) 高橋彰子, 松田雅弘, 花井丈夫, 新田收, 根津敦夫・他: 動的脊柱装具(プレーリーくん)の装着時の外的変化と家族満足感に関するアンケート調査. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 2) 松田雅弘, 高橋彰子, 花井丈夫, 新田收, 根津敦夫・他: 脳性麻痺両麻痺児のカーボン製短下肢装具装着時の歩行効率の変化. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 3) 松田雅弘, 新田收, 小山貴之, 久保田直行, 網本和・他: 半側空間無視における iPad による動的評価と ADL 評価の関連性について. 第 48 回日本理学療法学会(名古屋), 平成 25 年 5 月
- 4) 来間弘展, 新田收, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健: ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第 48 回日本理学療法学会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5 月 26 日, 2013
- 5) 三木啓嗣, 新田收: 健常者における寝返り動作の類型化～三次元動作解析システムを用いた分析～, 第 48 回日本理学療法学会, 名古屋, 5 月 25 日, 2013 年
- 6) 三木啓嗣, 新田收: 健常者における寝返り動作の類型化～三次元動作解析システムを用いた分析～, 第 48 回日本理学療法学会, 名古屋, 5 月 25 日, 2013 年
- 7) 松田雅弘, 新田收, 藤本泰成, 妹尾淳史, 木下正信, 古川順光, 楠本泰士, 多田祐一, 小山貴之: 長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について-機能的 MRI による検討-. 第 43 回日本臨床神経生理学会学会(高知, 日本), 平成 25 年 11 月

#### 共同研究

- 1) 介護用スーツの開発 共同研究(ベル工房)
- 2) 頸部トレーニング装置の開発研究, 共同研究(旭工業)
- 3) ロボット型シルバーカーの開発研究(JST A-Step 探索型)
- 4) 介護用スーツの開発 共同研究(ベル工房)
- 5) 頸部トレーニング装置の開発研究, 共同研究(旭工業)
- 6) ロボット型シルバーカーの開発研究(JST A-Step 探索型)

## 原著論文

- 1) 藤野 雄次, 網本 和, 佐藤 大, 播本 真美子, 深田 和浩, 門叶 由美, 高石 真二郎: 健常高齢者における座位最大側方移動動作での体幹角度分析 検者内信頼性の検討. 理学療法-臨床・研究・教育 20 卷 47-50(2013.)
- 2) 万治 淳史, 網本 和, 諸持 修, 内田 亮太: 脳卒中後片麻痺患者における移乗動作の動作相別時間の特性 健常若年者・健常中高年者・片麻痺患者での 3 群比較. : 理学療法-臨床・研究・教育 20 卷 15-19(2013)

## 著書

- 1) 網本和, 菅原憲一・編著:「物理療法学 第4版」医学書院 2013年
- 2) 網本和, 渡辺学「高次脳検査」:原寛美・吉尾雅春編著「脳卒中理学療法の理論と技術」pp241-265. メジカルビュー 2013年6月
- 3) 網本和「高次脳機能障害①」:石川朗・他編著「臨床実習フィールドガイド第2版」pp70-79,南江堂, 2014年2月.

## 総説・解説

- 1) 網本 和, 渡辺 学:【脳のシステム障害と理学療法】視床・頭頂葉系の障害と理学療法:理学療法ジャーナル 47 卷 19-26(2013)

## 国際学会発表

- 1) Fujino Y, Saito T; Hosoya T; Fukata K; Koizumi Y; Takaishi S; Maeshima S; Togano Y; Yanagisawa K; Amimoto K; Harimoto M; Ootsuka Y: ANALYSIS OF EMG ACTIVITY OF THE TRUNK DURING LATERAL TRANSFER IN SITTING ON ACUTE HEMIPARETIC PATIENTS. ISEK2012, PMRE\_P1.1
- 2) YotaKunieda, Kazu Amimoto, Seiki Kaneko, Toru Matsumoto, Tomoya Imai, Hiroshi Miki, HaruhikoHoshino: EFFECT OF SIT-TO-STAND EXERCISE WITH WEIGHT BEARING BIOFEEDBACK ON THE FUNCTIONAL OUTCOME OF THE AFFECTED LIMB IN ACUTE STROKE PATIENTS. ISEK2012, PMRE\_P2.3
- 3) Atsushi Manji, Kazu Amimoto, Osamu Moromochi, Mamiko Suzuki, Seibi Kobara, Ryota Uchida: THE EFFECT OF HANDRAIL ON MUSCULAR ACTIVITY OF THE TRUNK AND LOWER EXTREMITIES DURING SIT-TO-STAND TASK. ISEK2012, POBG\_P3.7

## 国内学会発表

- 1) 渡辺 学, 網本 和: 半側空間無視例の電動車いす操作能力. 高次脳機能研究 34 卷 1 号 46(2014.03)
- 2) 深田 和浩, 藤野 雄次, 網本 和, 井上 真秀, 蓮田 有莉, 森田 菜々恵, 細谷 学史, 高石 真二郎, 牧田 茂, 高橋 秀寿: 健常者の前額面・矢状面における垂直認知の測定の再現性の検討. 神経心理学 85)29 卷 4 号 314(2013.12)

- 3) 藤野 雄次, 網本 和, 井上 真秀, 深田 和浩, 細谷 学史, 蓮田 有莉, 森田 菜々恵, 高石 真二郎, 牧田 茂, 高橋 秀寿: 発症早期の脳血管障害患者における垂直認知の半球間差異. 神経心理学 29 卷 4 号 314(2013.12)
- 4) 万治 淳史, 諸持 修, 内田 亮太, 石塚 慎一, 大河内 真奈, 網本 和: 回復期片麻痺患者における視覚的および身体的垂直認知に関する検討. 37 回日本神経心理学会総会プログラム・予稿集 Page155(2013.08)

#### 研究助成

- 1) 平成 24 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局競争的)

## 原著論文

- 1) Terayama H, Yi SQ, Hirai S, Qu N, Naito M, Hatayama N, Kawata S, Itoh M: Gross anatomical study of bilateral megaureters associated with renal pelvis dilatation and a giant urinary bladder: an adult cadaver with a brief review of the literature. Anat Sci Int 88:171-174, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 山口 豪, 堀 紀代美, 小酒井 友, 中村恒夫, 白石昌武, 易 勤, 尾崎紀之: イソプロテレノール投与による虚血性心筋傷害疼痛モデルの有用性の検討. 形態・機能:12, 2013.
- 2) 山口 豪, 易 勤, 堀 紀代美, 白石昌武, 中村恒夫, 尾崎紀之: Isoproterenol 虚血性心筋傷害疼痛モデルにおける行動学的ならびに脊髄後角ニューロンにおけるc-fos発現の変化. 第118回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 88, 2013.
- 3) 堀 紀代美, 林 功栄, 安井正佐也, 杉浦康夫, 白石昌武, 中村恒夫, 易 勤, 山口 豪, 尾崎紀之: 新たに開発したモデル動物を用いた末梢性動脈疾患に伴う疼痛機序の解明. 第118回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集:88, 2013.

## 研究助成

- 1) 易 勤: 科学研究費, スクスにおける抗内臓脂肪蓄積のメカニズムの解析(研究代表者).

## 原著論文

- 1) 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 見供翔, 松村将司, 畠昌史, 清水洋治, 竹井仁:超音波画像を用いた深筋膜移動距離測定信頼性の検討. 日保学誌 16(1):21-28,2013.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 見供翔, 竹井仁:若年健常者の骨盤と下肢の姿勢分類-アライメント・関節可動域・筋力との関係-. 日保学誌 16(1):29-37,2013.
- 3) 見供翔, 竹井仁, 石井彩也香, 市川和奈:健常者に対する有酸素性運動と低周波電気刺激を併用した運動が運動耐容能及び筋力におよぼす影響. 日保学誌 16(2):66-73,2013.
- 4) 勝又泰貴, 竹井仁, 若尾和昭, 田中進吾, 小川真由, 堀拓朗:筋膜リリースを施行した筋に対する筋再教育の影響. 徒手理学療法 13(2):39-45,2013.

## 著書

- 1) 竹井仁:リハビリテーション 1 物理療法. 198-205. 森本昌宏編, 肩こりの臨床-関連各科からのアプローチ-. 克誠堂出版株式会社, 東京, 2013.
- 2) 竹井仁:リハビリテーションのための病期分類システム. 41-59, 竹井仁, 鈴木勝監訳, 続 運動機能障害症候群のマネジメント-頸椎・胸椎・肘・手・膝・足-, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2013.
- 3) 竹井仁:筋膜マニピュレーション. 46-60, 嶋田智明・有馬慶美・斉藤秀之編, 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイダンス 筋・骨格系理学療法, 文光堂, 東京, 2013.
- 4) 竹井仁(監修):ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典. 株式会社西東社, 東京, 2013.
- 5) 竹井仁(全訳):運動療法・徒手療法ビジュアルポケットガイド(Carolyn Kisner, Lynn Allen Colby). 医歯薬出版株式会社, 東京, 2013.
- 6) 竹井仁・金子満寛:徒手療法. 424-439, 新田収・竹井仁・三浦香織編, 小児・発達期の包括的アプローチ-PT・OTのための実践的リハビリテーション, 文光堂, 東京, 2013.

## 総説・解説

- 1) 竹井仁:姿勢の評価と治療アプローチ. 脊髄外科 27(2):119-124,2013.
- 2) 竹井仁:ストレイン・カウンターストレインの理論と治療手技の紹介. 医道の日本 72(10)81-85,2013.

## 国際学会発表

- 1) Daisuke Ogawa, Hideyuki Usa, Teppei Abiko, Kazuna Ichikawa, Youji Shimizu, Masashi Matsumura, Shou Mitomo, Masafumi Hata, Hitoshi Takeji: Analysis of separation distance that accompanies continuous traction of normal knee joints using ultrasound imaging. PROGRAM & ABSTRACTS(The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT congress 2013)I-P191,2013.
- 2) Ricoh Hirao, Hitoshi Takeji, Jun Kurokawa, Akihiro Tsuchiya, Izumi Kanisawa, Kenji Takahashi, Hiroki Sakai, Tomonori Nagai: The effect of conservative interventions for femoroacetabular impingement in athletic patients. PROGRAM & ABSTRACTS(The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT congress 2013)K-P220,2013.

## 国内学会発表

- 1) 古谷英孝, 見供翔, 吉田昂広, 朝重信吾, 竹井仁: 健常者における肩関節運動方向の違いが烏口肩峰靭帯の上方歪み量に及ぼす影響. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 基礎-046,2013.
- 2) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井仁, 柳澤健: 徒手筋力検査 grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違 - 膝関節伸展運動での検討 -. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-038,2013.
- 3) 小川大輔, 宇佐英幸, 安彦鉄平, 松村将司, 畠昌史, 市川和奈, 見供翔, 清水洋治, 竹井仁: 超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離解距離の解析 - 牽引時間の違いが及ぼす影響について -. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-156,2013.
- 4) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠昌史, 見供翔, 竹井仁: 健常成人における骨盤と下肢アライメントの年代比較と性差の分析. 第48回日本理学療法学会大会オンライン版抄録集 2013:P-A 運動-218,2013.

## その他

- 1) 竹井仁: タイプ別肩こり解消講座. すこやかファミリー4月号:6-9, 株式会社法研, 東京, 2013.
- 2) 竹井仁: 「大人の保健室」年々, 肩こりがひどくなる… . マリソル 7(2):217, (株)集英社, 東京, 2013.
- 3) 竹井仁: 悪い姿勢を正したるみ撃退! 指を組んで引っ張ると二の腕が締まりバストアップ. 壮快 40(7):30-33, 株式会社マキノ出版, 2013.
- 4) 竹井仁: 運動で健康 梅雨こそ肩こり解消!. NHK テレビテキストきょうの健康 2013年6月号:28-31, 日本放送出版協会, 2013.
- 5) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「腰周辺の筋肉をほぐして, 伸ばして, 腰のたるさや腰痛を解消». 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0103.html>
- 6) 竹井仁: “あの頃の顔”戻ります! 整形いらずのアラフォー「顔たるみ」解消テク. からだにいいこと 9(7):12-19, 祥伝社, 東京, 2013.
- 7) 竹井仁: 骨盤矯正は本当に痩せるか?. ターザン 28(12):56-57. マガジンハウス, 2013.
- 8) 竹井仁: 体の負担を減らせるバッグの持ち方. 日経ビジネス Associé12(10):70-72. 日経 BP 社, 2013.
- 9) 竹井仁: 肩こりの原因は猫背にあり! 姿勢改善ストレッチのすすめ. メジャークラブ通信 No.34:16. 大陽日酸株式会社, 2013.
- 10) 竹井仁: ぶり返す, 消えないこりは, “深い部分のこり”が原因! 現代人の“ミルフィーユこり”. ピップ製品情報 2013. <http://www.pip-club.com/enjoy/millefeuille/index.html>.
- 11) 竹井仁: ストレッチで姿勢を変えて, お尻とバスのたるみを解決! 日経ヘルス 16(10):14-21, 日経 BP 社, 2013.
- 12) 竹井仁: はじめよう! 自分でできる体づくり. NHK テレビテキストきょうの健康 2013年9月号:4-23, 日本放送出版協会, 2013.
- 13) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 6 脚のむくみ». 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0106.html>
- 14) 竹井仁: 「筋膜リリース」でシワとたるみを撃退. オレンジページ 29(20):88-91, (株)オレンジページ, 東京, 2013.
- 15) 竹井仁: goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 7 太もも裏側». 株式会社

- 法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0108.html>
- 16) 竹井仁:まるで「ミルフィーユ」, しつこい肩こりの解消法は. 日本経済新聞 Web 版, 2013 年 10 月 9 日. [http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK25011\\_V20C13A9000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK25011_V20C13A9000000/)
  - 17) 竹井仁:頑固な肩凝りはミルフィーユが原因だ. 日刊ゲンダイ 14 面, 2013 年 10 月 16 日.
  - 18) 竹井仁:姿勢が悪いと腹肉が溜まるって知ってた?. シュシュアリス vol.1:28-31, 株式会社 KADOKAWA, 2013.
  - 19) 竹井仁:「ミルフィーユこり」かも. 東京新聞 28 面. 2013 年 11 月 19 日発行.
  - 20) 竹井仁:夜や明け方に脚がつるのは, 座りっぱなしと関係があるの?. 日経ヘルス 1 月号 17(1):50, 日経 BP 社, 2013.
  - 21) 竹井仁:goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 8 お尻の外側」. 株式会社法研, 東京, 2013. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0110.html>
  - 22) 竹井仁:ミルフィーニこり. みんなの家庭の医学. 2014Vol.5:59, 2013.
  - 23) 竹井仁:ミルフィーニこりが原因. 朝日新聞 be:e5 面. 2013 年 12 月 21 日発行.
  - 24) 竹井仁:たるみ解消! 朝の 20 歩「見返り歩き」. 日経ヘルス 2 月号 17(3):22-25, 日経 BP 社, 2014.
  - 25) 竹井仁:知っていると知らないでは大違い, 日本の理学療法士界の現状とは. ターザン 29(3):86-87. マガジンハウス, 2014.
  - 26) 竹井仁:goo ヘルスケア フィットネス&リラックス「仕事の合間に簡単ストレッチ 9 足の冷え」. 株式会社法研, 東京, 2014. <http://health.goo.ne.jp/column/fitness/f001/0112.html>
  - 27) 竹井仁:竹井式 90 秒超伸びストレッチ. 健康情報「2014 年春」第 55 号:14-17. 明治安田ライフプランセンター株式会社, 東京, 2014.
  - 28) 竹井仁:ポッコリ下腹・ずん胴・太ももが締まる! 確実にやせる「寝たまま筋トレ」. ゆほびか 20(5):31-41, マキノ出版, 2014.
  - 29) 竹井仁:整えるだけで 5 歳若返る!?カラダの要, 股関節&仙腸関節. ターザン 29(6):24-29. マガジンハウス, 2014.
  - 30) 竹井仁:頭痛, 肩こり, 腰痛ケア最前線! 鍵は「脳神経」と「筋膜」にあり. an・an45(13):40-43, マガジンハウス, 2014.
  - 31) 竹井仁:ミルフィーユ肩こり. ホットペッパー(渋谷・恵比寿)4 月号:224-225, リクルート, 2014.
  - 32) 竹井仁:あさいち. すご技 Q「めざせ!“首美人”」. 2013 年 5 月 14 日(火)NHK 総合.
  - 33) 竹井仁:世界一受けたい授業. 「最新科学でわかった! 腰痛危険度チェック&奇跡のストレッチ」. 2013 年 6 月 8 日(土)日本テレビ.
  - 34) 竹井仁:所さんの目がテン! 「大人気ストレッチの科学」. 2013 年 6 月 9 日(日)日本テレビ.
  - 35) 竹井仁:きょうの健康. 「運動で健康 梅雨こそ肩こり解消!」. 2013 年 6 月 27 日(木)NHK E テレ.
  - 36) 竹井仁:世界一受けたい授業. 「世界一受けたい授業 SP48 人は短期間でどこまで変えられるか? スペシャル」JO 脚改善. 2013 年 6 月 29 日(土)日本テレビ.
  - 37) 竹井仁:クイズ面白ゼミナール R. 「日本人とスマホ」. 2013 年 7 月 20 日(土)NHK BS プレミアム.
  - 38) 竹井仁:はなまるマーケット. 足のむくみ・膝の黒ずみ・こむら返り. 2013 年 8 月 12 日(月)TBS.
  - 39) 竹井仁:きょうの健康. 「はじめよう! 自分でできる体づくりー手・腕の力を取り戻す」. 2013 年 9 月 9 日(月)NHK E テレ.
  - 40) 竹井仁:きょうの健康. 「はじめよう! 自分でできる体づくりー上半身を鍛えよう」. 2013 年 9 月 10 日(火)NHK E テレ.

- 41) 竹井仁:きょうの健康。「はじめよう！自分でできる体づくりー足腰をもっと丈夫に」。2013年9月11日(水)NHK E テレ.
- 42) 竹井仁:きょうの健康。「はじめよう！自分でできる体づくりー全身の動きを改善」。2013年9月12日(木)NHK E テレ.
- 43) 竹井仁:モーニングバード。「アカデミヨシズミ」肩こり。2013年9月23日(月)テレビ朝日.
- 44) 竹井仁:おはよう日本。「けんコン！」肩こり。2013年9月24日(火)NHK 総合.
- 45) 竹井仁:人体科学ミステリー アノ有名人のカラダを最新科学で大解剖SP. SKE 須田さんのコーナーの監修。2013年9月26日(木)TBS.
- 46) 竹井仁:世界一受けたい授業。「下半身太り解消」。2013年10月12日(土)日テレ.
- 47) 竹井仁:駆け込みドクター！運命が変わる健康診断。姿勢の改善エクササイズ紹介。2013年11月24日(日)TBS.
- 48) 竹井仁:TBS ラジオ 森本毅朗スタンバイ！「現場にアタック」。2013年11月25日(月)TBS.
- 49) 竹井仁:姫のわがままライフサイエンス。ストレッチングの解説。2013年12月2日(月). BS 日テレ.
- 50) 竹井仁:グッド！モーニング。ミルフィーユこり。2013年12月11日(水)テレビ朝日.
- 51) 竹井仁:グッド！モーニング。冬の肩こり。2013年12月25日(水)テレビ朝日.
- 52) 竹井仁:モーニングバード。尿もれ予防体操。2013年12月30日(月)テレビ朝日
- 53) 竹井仁:スッキリ!!!。深い肩こり。2014年1月21日(火)日テレ.
- 54) 竹井仁:はなまるマーケット。寒い冬でもお家でできる！簡単痩せ習慣「体のゆがみ・たるみを取る！見返りストレッチ&ウォーキング」。2014年2月17日(月)TBS.
- 55) 竹井仁:世界一受けたい授業。「冬についての脂肪も顔たるみもスッキリ！太る原因 骨ゆがみを1日3分でリセット！」。2014年3月1日(土)日テレ.
- 56) 竹井仁:あさイチ。すご技 Q「バッグ美人への道(3)さらば！肩こりバッグ」。2014年3月4日(火)NHK 総合.
- 57) 竹井仁:中西哲生のクロノス“追跡 ヘルシアコーヒー スマートライフ”「第49回:脂肪燃焼強化月間！脂肪燃焼の基礎知識」。2014年3月4日(火). TOKYO FM.
- 58) 竹井仁:中西哲生のクロノス“追跡 ヘルシアコーヒー スマートライフ”「第49回:脂肪燃焼強化月間！脂肪燃焼と運動の関係」。2014年3月11日(火). TOKYO FM.

## 国内学会発表

- 1) 新潟県三条市さんちゃん健康サークル活動の介護保険給付費抑制効果, 山田 拓実, 72 回日本公衆衛生学会総会, 411, 2013 年 10 月, 三重
- 2) 運動メニューを強化した総合型プログラム「おげんきランチ」の効果, 今泉 厚子, 渡邊 友香里, 山田 拓実, 72 回日本公衆衛生学会総会, 397, 2013 年 10 月, 三重
- 3) 変形性膝関節症患者の膝関節間力に対する股関節内転筋群の作用のシミュレーションによる検討, 大見武弘, 山田拓実, 江原義弘, 第 48 回日本理学療法学会大会, 理学療法学 40 巻大会特別号 3 PageP-A, 名古屋
- 4) 災害時のための動的医療ロジスティクスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて 東日本大震災後のアンケート調査から, 大嶋 伸雄, 山田 拓実, 安達 久美子, 石川 陽子, 金 寿蓮, Reeves Scott, 高木 大輔, 保健医療福祉連携 7 巻 1 号 58-59, 2014.3 月, 宮城
- 5) 車いすクッションと車いす座面のたわみが座位動作に与える影響の検討, 森田智之, 山田拓実, 第 9 回日本シーティング・シンポジウム, 平成 25 年 11 月, 東京

## 研究助成

- 1) 平成 24～26 年 基盤研究(C)障害者・要介護高齢者向け健康体操の参加者, 介護者, および地域社会への影響

## 著書

- 1) 池田由美・浅野大喜:認知の発達を知らう. 新田收・竹井仁・三浦香織(編), 小児・発達期の包括的アプローチ-PT・OTのための実践的リハビリテーション:87-100, 文光堂, 東京, 2013.

## 国際学会発表

- 1) K. Goto, Y. Ikeda, T. Matsuda, H. Kuruma, A. Senoo: Analysis of cerebral neural activity during dual-task performance of cognitive motor tasks. 23th Meeting of the European Neurological Society. vol. 260 (supplement1): S101, 2013.
- 2) T. Matsuda, K. Shiota, O. Nitta, T. Shiratani, A. Senoo, Y. Ikeda, K. Goto: Effect on brain activity of cognitive motor tasks in healthy elderly : an fMRI study. 23th Meeting of the European Neurological Society. vol. 260 (supplement1): S103, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 榎戸淳・池田由美:足関節位置覚の変化が立位制御に影響を及ぼした一症例～パーキンソン病患者に対する効果～. 第48回日本理学療法学会大会 40(suppl. 1):143, 2013.
- 2) 中里瑠美子・池田由美:運動制御から動作の構築へー「身体を介して世界の意味を創る」を再考する. 日本認知神経リハビリテーション学会学術集会抄録集:33, 2013.

## 原著論文

- 1) 國廣哲也・来間弘展・向井英司・小川健:膝痛に対し多面的アプローチが功を奏した一症例. 徒手理学療法, 13:53-59, 2013.

## 総説

- 1) 来間弘展:【アスリートに対するコンディショニング-徒手療法と体幹トレーニングの意義と実際-】徒手療法 筋膜リリース. 臨床スポーツ医学, 30:1163-1167, 2013

## 国際学会発表

- 1) Kuruma H, Nitta O, Tawara N, Shida N, Kamio H, Furukawa Y, Watanabe S, Yanagisawa K: Application of magnetic resonance imaging signal intensities for evaluating the activities of shoulder cuff muscles. The 12<sup>th</sup> Annual Conference and Supplementary Education of KSPTA, 21-23, 2013

## 国内学会発表

- 1) 来間弘展, 新田收, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健:ハヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第48回日本理学療法学会大会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5月26日, 2013
- 2) 瓦田恵三, 中丸宏二, 波戸根行成, 相澤純也, 小山貴之, 松本高志郎, 来間弘展, 新田收, 橋本明秀:頸部痛に対する専用機器を用いた頸部屈曲エクササイズが主観的・客観的アウトカムに及ぼす影響. 第48回日本理学療法学会大会, 理学療法学 39(Suppl.2) 名古屋, 5月26日, 2013
- 3) 神尾博代, 山口光圀, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田收, 金子誠喜:歩行における身体組成への効果についての検討. 第23階日本保健科学学会学術集会, 日本保健科学学会誌 16:32, 2013
- 4) 國廣哲也・来間弘展・向井英司・小川健:鼠径部痛に対し胸郭・骨盤帯へのアプローチにて改善を認めた症例. 第18回日本徒手理学療法学会学術大会, 9月21日, 2013

## 研究助成

- 1) 来間弘展:科学研究費:慢性頸部痛に対する頸部深部筋トレーニングの確立.

## 国際学会発表

- 1) Nitta O, Takebayashi M, Matsuda T, Koyama T, Furukawa Y: The effect of balance exercise using a pillar on deep-seated muscle of the body trunk. Proc. of 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain: 2013.
- 2) Nitta O, Matsuda T, Koyama T, Furukawa Y: Relationship between sitting position and amylase. Proc. of 8th International World Congress on Low Back & Pelvic Pain: 2013.

## 国内学会発表

- 1) 古川順光:姿勢保持・変換時における心拍数変化の分析. 理学療法学, 40(Suppl.2):PA-基礎-161, 2013
- 2) 来間弘展, 新田収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健:ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 理学療法学, 40(Suppl.2):PA-基礎-227, 2013
- 3) 山元佐和子, 古川順光, 新田収:虚血性心疾患患者の運動負荷試験における運動開始時の換気応答と嫌気性代謝閾値の関係. 理学療法学, 40(Suppl.2):OC-内部-065, 2013
- 4) 神尾博代, 山口光國, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田 収, 金子誠喜:歩行による身体組成への効果についての検討. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl.):32, 2013
- 5) 浅野貞美, 上畑昭美, 古川順光, 臼井直人, 小林拓郎:末梢動脈疾患を合併した血液透析患者に対する低負荷運動療法の効果についての検討. 日本透析医学会雑誌, 46(Suppl.1):788, 2013
- 6) 中俣修, 山崎敦, 古川順光, 新田収:連続跳躍動作における下肢・体幹運動と床反力との関係. 体力科学, 62(6):640, 2013
- 7) 新田収, 藤本泰成, 木下正信, 松田雅弘, 古川順光:指先の加速度脈波データカオス解析によるストレス評価結果と血中唾液アミラーゼの関係. 臨床神経生理学, 41(5):465, 2013
- 8) 松田雅弘, 新田 収, 藤本泰成, 妹尾淳史, 木下正信, 古川順光, 楠本泰士, 多田裕一, 小山貴之:長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について 機能的MRIによる検討. 臨床神経生理学, 41(5):487, 2013

## 原著論文

- 1) 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 見供 翔, 松村将司, 畠 昌史, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた深筋膜移動距離測定信頼性の検討. 日本保健科学学会誌, 16(1):21-28, 2013.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 見供 翔, 竹井 仁: 若年健常者の骨盤と下肢の姿勢分類 —アライメント・関節可動域・筋力との関連—. 日本保健科学学会誌, 16(1):29-37, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井 仁, 柳澤 健: 徒手筋力検査 grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違 膝関節伸展運動での検討. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 2) 来間弘展, 新田 収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤 健: ハイヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 3) 小川大輔, 宇佐英幸, 安彦鉄平, 松村将司, 畠 昌史, 市川和奈, 見供 翔, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離解距離の解析 牽引時間の違いが及ぼす影響について. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.
- 4) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 見供 翔, 竹井 仁: 健常成人における骨盤と下肢アライメントの年代比較と性差の分析. 第 48 回日本理学療法学会大会抄録集:(PDF), 2013.

## 研究助成

- 1) 宇佐英幸: 平成 25 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費), MRIによる脊椎椎間孔の断面積および孔径計測の信頼性.

## 国内学会発表

- 1) 神尾 博代, 山口 光国, 信太 奈美, 古川 順光, 来間 弘展, 新田 収, 金子 誠喜: 歩行による身体組成への効果についての検討. 日本保健科学学会誌, 16(suppl):32, 2013.
- 2) 来間 弘展, 新田 収, 古川 順光, 信太 奈美, 神尾 博代, 宇佐 英幸, 柳澤 健: ハヒール形状相違が立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について. 理学療法学, 40(Suppl.1), 2013.

## 研究助成

- 1) 神尾博代, 信太奈美: 平成24年度共同研究費, 株式会社タコー. 製品「脚の体操 1.2.3.®」の使用効果に関する研究.

## 国内学会発表

- 1) 来間弘展, 新田収, 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 宇佐英幸, 柳澤健 ハイヒール形状の違いが立位足圧および歩行時酸素摂取量に与える影響について 理学療法学 P-A 基礎-227 2013
- 2) 神尾博代, 山口光国, 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 新田収, 金子誠喜 歩行による身体組成への効果についての検討 日本保健科学学会誌 16(suppl): 32-32, 2013.

## 研究助成

- 1) 信太奈美:平成 25 年度首都大学東京傾斜的配分研究費(部局分・若手奨励経費)競技用車いすの駆動フォームを決定づける要因に関する研究
- 2) 信太奈美:平成 23~25 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B):障害者スポーツの社会的意義に基づいたマネジメントモデルの提案

# 作業療法学科



## 原著論文

- 1) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発. 作業行動研究 17(1):1-9. 2013年6月.
- 2) 野藤弘幸, 山田孝, 小林法一, 石井良和: 日本語版・人間作業モデルスクリーニングツールの信頼性に影響する要因の検討. 作業行動研究 17(1):19-25. 2013年6月.
- 3) 久米裕, 石井良和: 入院から地域生活へ移行するアルコール性認知症のクライアントに対する人間作業モデルアプローチの有用性. 作業行動研究 17(1):46-55. 2013年6月.
- 4) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 「高齢者における余暇活動の楽しさ」定義の妥当性の検討. 作業療法, 32(6):547-557, 2013.
- 5) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 「高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法」の表面的・内容的妥当性の検討. 作業行動研究 17(3):163-173. 2013年9月.
- 6) Hiroyuki Notoh, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Kirsty Forsyth: Examining the Psychometric Properties of the Model of Human Occupation Screening Tool-Japanese Version. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 26-31, 2013.

## 著書

- 1) 石井良和: OSA II (作業に関する自己評価・改訂版). 齋藤佑樹・編集, 作業で語る事例報告: 作業療法レジメの書きかた・考えかた:58-59, 医学書院, 東京, 2013.

## 総説

- 1) Kirsty Forsyth(山田孝・編, 石井良和, 港美雪・訳): 総説 作業療法におけるプロフェッショナルリーズニング. 作業行動研究 17(2):71-74. 2013年9月.

## 研究報告書

- 1) 石橋裕, 石井良和: メイクアップによる障害者支援方法の確立: カネボウ化粧品株式会社, 東京工科大学3社連携事業報告書, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Hitomi ISHIBASHI, Yoshikazu ISHII, Yu Ishibashi, Yumi Takada, Mika Shimoda: Cosmetic issues with women with mental disorder.- By inquiries for occupational therapists-. World Psychiatric Association Congress, Vienna, Austria, 2013
- 2) Tanimura A, Ishii Y: Outcomes of the community-based participatory action research by users of mental health services. World Psychiatric Association International Congress 2013, October 27-30, 2013.
- 3) Norikazu Kobayashi, Takashi Yamada, Hironori Kawamata, Yu Ishibashi, Atsuko Tanimura, Yoshikazu Ishii: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, 2013.
- 4) Toshihiro Honke, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi, Li Congno: Development of the Elderly version

## 国内学会発表

- 1) 麓文太, 石井良和: 発症早期からの叙事的リーズニング～自宅退院に至った症例への経験を通して～. 第44回北海道作業療法学会. 2013年6月. 札幌.
- 2) 谷村厚子, 山田孝, 石井良和: 精神保健サービス利用者による当事者参加型アクションリサーチの成果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 3) 石橋裕, 石橋仁美, 石井良和, 高田夕美, 下田美香: 社会参加支援プログラム(SSPC)参加者の化粧と健康づくりへの関心の傾向. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013.
- 4) 石橋仁美, 石橋裕, 石井良和, 高田夕美, 下田美香: 「化粧」を用いた支援の実態調査-精神障害領域における文献レビューより. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013.
- 5) 上原 栄一郎, 石井良和: 精神科デイケア「初期適応質問紙」臨床版と面接シートの開発～臨床試用版によるデイケア利用者の項目分析から～. 日本精神障害者リハビリテーション学会第21回 沖縄大会, 2013年11月.
- 6) 佐藤早希, 石井良和: 緩和ケア期・終末期における作業療法士の実践プロセス～末期がんを患ったクライアントは「何者であろうとしたか」～. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 112, 2013. 岡山.
- 7) 高木大輔, 石井良和, 山田孝: 高齢者における健康統制感が作業療法プログラムの効果指標に与える影響～MOHOプログラムと手芸プログラムの比較～. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 117, 2013. 岡山.
- 8) 神保洋平, 石井良和, 小林法一: 作業の意味に焦点をあてた作業療法に対する文献研究. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 130, 2013. 岡山.
- 9) 山田孝, 小林法一, 石井良和, 會田玉美: 認知症高齢者に対する作業療法士のニーズ調査. 日本作業行動学会第23回学術集会抄録, 136, 2013. 岡山.
- 10) 石井良和, 藤田尚子, 石井奈智子, 阿部勇太: 精神療養病棟における認知症患者の行動評価と人間作業モデルスクリーニングツールとの関連性に関する研究. 日本作業療法学会抄録集, 47, 2013. 大阪.
- 11) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発 表面的・内容的妥当性の検討. 第47回日本作業療法学会抄録集: P430-Lf, 2013.

## 原著論文

- 1) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:「高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法」の表面的・内容的妥当性の検討. 作業行動研究 17(3):163-173, 2013.
- 2) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:「高齢者における余暇活動の楽しさ」定義の妥当性の検討. 作業療法, 32(6):547-557, 2013.
- 3) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発. 作業行動研究 17(1):1-9, 2013.
- 4) 野藤弘幸, 山田孝, 小林法一, 石井良和:日本語版・人間作業モデルスクリーニングツールの信頼性に影響する要因の検討. 作業行動研究 17(1):19-25, 2013.
- 5) 井口知也, 山田孝, 小林法一:認知症高齢者の絵カード評価法を用いた2事例の報告 認知症高齢者に対するクライアント中心の考え方と作業に焦点を当てた作業療法実践を目指して. 作業行動研究 17(2):75-87, 2013.
- 6) 小林法一, 谷村厚子:作業療法における地域生活支援 登録された事例報告のレビュー. 作業療法, 32(3):206-213,2013.
- 7) 小林幸治, 小林法一, 山田孝:病院の作業療法で行われている脳血管障害者の心理社会面への支援を構成する要因の検討. 作業行動研究 16(4):237-247, 2013.
- 8) 藤田芽名, 川又寛徳, 小林法一, 山田孝:施設生活で求められる作業療法支援 クライアントを作業的存在として捉えた支援の一事例. 作業行動研究 16(3):193-200, 2012.
- 9) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The relationship between homebound status, occupational competence, and HRQOL. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 4-13, 2013.
- 10) Hiroyuki Notoh, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Kirsty Forsyth: Examining the Psychometric Properties of the Model of Human Occupation Screening Tool-Japanese Version. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 23(1): 26-31, 2013.

## 著書

- 1) 小林法一:VQ(意志質問紙). 齋藤佑樹編集, 作業で語る事例報告: 作業療法レジメの書きかた・考えかた:64-65, 医学書院, 東京, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Toshihiro Honke, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi, Li Congno: Development of the Elderly version of Leisure-time Activity Enjoyment Scale. 8th Beijing International Forum on Rehabilitation, Beijing, China, 2013.
- 2) Norikazu Kobayashi, Takashi Yamada, Hironori Kawamata, Yu Ishibashi, Atsuko Tanimura, Yoshikazu Ishii: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 小林法一, 山田 孝, 川又寛徳, 石井良和:作業療法学生の大学生生活適応状況に関する調査. 第47回日本作業療法学会抄録集:0396, 2013.
- 2) 鈴木絵里子, 小林法一:当院外来作業療法に長期に渡って通院する脳血管障害者の外来通院理由についての探索的検討. 第47回日本作業療法学会抄録集:P588-Lf, 2013.
- 3) 野本潤矢, 楠本直紀, 小林法一:我が国の認知症予防を目的とした作業療法介入効果に関する文献的考察. 東京作業療法 2:65-66, 2013.
- 4) 江口悠樹, 小林法一:脳血管疾患者に対する調理を用いた作業療法の実践内容と効果に関する文献レビュー. 東京作業療法 2:65, 2013.
- 5) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕:学生生活適応プログラムの効果. 第47回日本作業療法学会抄録集:0397, 2013.
- 6) 小林幸治, 山田孝, 小林法一:脳卒中者の心理社会面への援助モデルの臨床的活用法プレセミナー. 東京作業療法 2:49, 2013.
- 7) 川又寛徳, 山田孝, 小林法一:平成24年度沖縄市65歳大学のプロセス評価. 第47回日本作業療法学会抄録集:P460-La, 2013.
- 8) 猪股英輔, 三浦南海子, 折茂賢一郎, 小林法一:認知症高齢者に対する「色カルタ(クオリア・ゲーム)」の効果～感情表出に着目して～. 認知症ケア学会誌 12(1):237, 2013.
- 9) 山田孝, 小林法一, 石井良和, 會田玉美:認知症高齢者に対する作業療法士のニーズ調査. 作業行動研究 17(2):136, 2013.
- 10) 岡義広, 小林法一, 山田孝, 川又寛徳:作業に関する知識の共有から自発的にニーズを見出した事例. 作業行動研究 17(2):110, 2013.
- 11) 井口 知也, 山田 孝, 小林法一:アプリ版認知症高齢者の絵カード評価法の開発と臨床使用の経験. 作業行動研究 17(2):122, 2013.
- 12) 神保洋平, 石井良和, 小林法一:作業の意味に焦点をあてた作業療法に対する文献研究. 作業行動研究 17(2):130, 2013.
- 13) 安永雅美, 小林法一:フローモデルからみた高齢者の日常生活の経験. 第47回日本作業療法学会抄録集:P450-Lc, 2013.
- 14) 本家寿洋, 山田孝, 石井良和, 小林法一:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の開発 表面的・内容的妥当性の検討. 第47回日本作業療法学会抄録集:P430-Lf, 2013.

## 研究助成

- 1) 小林法一:文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 C), 介護予防プログラムの効果を高める自己学習型ニーズ評価システムの開発.

## その他

- (ア) 小林法一:生活行為向上マネジメント(平成24年度研究事業の成果) 廃用症候群に対する生活行為向上マネジメントと介護支援専門員との連携. 日本作業療法士協会誌 16:32-33, 2013.
- (イ) 小林法一 著・編集協力:Chapter13 形態別介護技術, クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説 2013. pp427-512, メディックメディア, 2013.
- (ウ) 一般社団法人日本作業療法士協会主催生涯教育講座, 「認定作業療法士取得講座:選択研

修く老年期〉, 高齢者・高齢障害者に対する作業療法」講師, 2013.

(エ) 一般社団法人日本作業療法士協会主催生涯教育講座, 「認定作業療法士取得講座: 共通研修く研究法〉, 統計解析の基礎知識」講師, 2013.

(オ) 一般社団法人東京都作業療法士会主催「現職者共通研修: エビデンスと作業療法」講師, 2013.

(カ) 日本職業リハビリテーション学会第41回大会ワークショップ, 「作業(Occupation)は, 私たちの生活を健康にするって, 本当?」講師, 2013.

(キ) 一般社団法人三重県作業療法士会主催研修会「わかりやすい人間作業モデル～事例を踏まえて～」講師, 2013.

## 原著論文

- 1) 山本麻子, 大嶋伸雄: 左半側空間無視患者の障害に対する気づきのプロセス. 作業療法, 32(2): 160-170, 2013.

## 著書

- 1) 大嶋伸雄: 序章・認知行動療法の概略と作業療法における効果について. 臨床作業療法における様々な心理課題. 作業療法のための認知行動療法の応用基礎. 大嶋伸雄編著, 患者力を引き出す作業療法:2-11,46-57,76-110,122-125, 三輪書店, 東京, 2013.

## 総説・解説

- 1) 大嶋伸雄: 認知行動療法. 作業療法ジャーナル(増刊号), 47(7):784-792, 2013.
- 2) 大嶋伸雄: 首都大学東京健康福祉学部における専門職間連携教育. 保健医療福祉連携, 6(1-2): 41-45, 2013.
- 3) 大嶋伸雄, 渡邊秀臣, 石川雄一他: All Together Better Health VI (2012) Final Report, All Together Better Health VI事務局, 2013.
- 4) 大嶋伸雄, 山田拓実, 安達久美子, 石川陽子, 金 寿蓮, Scott Reeves, 高木大輔: 震災時のための動的医療ロジスティックスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて～東日本大震災後のアンケート調査から～. 保健医療福祉連携, 7(1):59,2013.

## 国際

- 1) Visiting Scholar, University of California, San Francisco: Department of Social & Behavioral Sciences 特別研究員(期間:2014年1月1日～3月31日)
- 2) 研究講演(3月20日: Laurel Heights Campus): テーマ「Interprofessional relationships and connections of professionals based at general hospitals in Japan」
- 3) University of Southampton 外部教員評価委員(期間:2014年2月28日～3月31日)

## 国内学会発表

- 1) 岩尾武宜,大嶋伸雄: 脳血管障害者と作業療法士の評価誤差がADLに与える影響—FIM利得群別の傾向—. 第47回日本作業療法学会(大嶋). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 2) 小貫 貢,高橋里奈,田口洋輝,大嶋伸雄, 大関 覚: 多職種連携と集団リハビリテーションによる就労支援. 第47回日本作業療法学会(大阪). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 3) 中本久之,大嶋伸雄,岩谷清一: 回復期リハビリテーション病棟の作業療法士の職業的アイデンティティに影響する要因の分析. 第47回日本作業療法学会(大阪). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 4) 根岸裕司, 堀米正利, 大嶋伸雄, 船越俊子, 松下政志: 当院における摂食嚥下(食事)障害への専門職連携の現状について—専門職連携におけるアンケート結果より—. 第19回日本摂食嚥下学会学術大会(岡山). 学会プログラム抄録集, 2013.

- 5) 根岸裕司, 大嶋伸雄, 下岡隆之: 当院における摂食嚥下・連携に関する専門職連携協働の連携率の作成と当院の特徴について. 第 10 回東京都作業療法学会(東京). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 6) 根岸裕司, 大嶋伸雄, 菅原 章: 震災後ボランティア活動の参加を通じた作業療法士の役割と連携についての一考察. 第 6 回日本保健医療福祉連携教育学会(仙台). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 7) 大嶋伸雄, 山田拓実, 安達久美子, 石川陽子, 金 寿蓮, Scott Reeves, 高木大輔: 震災時のための動的医療ロジスティックスによる保健医療福祉連携訓練方法の開発に向けて. 第 6 回日本保健医療福祉連携教育学会(仙台). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 8) 中本久之, 大嶋伸雄, 他: 「何もせずに過ごしてしまった」という状況から再び作業従事していく過程〜くも膜下出血後の女性を通して〜. 第 17 回作業科学研究会(福島). 学会プログラム抄録集, 2013.
- 9) 根岸裕司, 堀米政利, 竹下政志, 船越俊子, 大嶋伸雄: 摂食・嚥下に関わる項目と ICF の関係と専門職の役割・重要度と視点について. 第 6 回呼吸ケアと誤嚥ケア学会(三重). 学会プログラム抄録集, 2013.

#### その他

- 1) 大嶋伸雄: 第 40 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 養成施設等教員講習会講師(2014.01.29: 東京). 講座資料「教育水準」, 2014.
- 2) 大嶋伸雄: 平成 25 年度慶應義塾大学薬学部リハビリテーション講座講師(2014.02.24: 東京). 講座資料, 2014.
- 3) 大嶋伸雄: 教育と FD. PT・OT 教育カグレードアップ講座講師(2013.08.10-11: 東京). 講座資料, 2013.
- 4) 大嶋伸雄: リハビリテーション教育研究大会・シンポジウム発言者(2013.08.22: 大阪). 講座資料, 2013.
- 5) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会①講師(2013.09.09: 千葉). 講座資料, 2013.
- 6) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会②講師(2013.10.07: 千葉). 講座資料, 2013.
- 7) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・東葛地区臨床研修会③講師(2013.11.11: 千葉). 講座資料, 2013.
- 8) 大嶋伸雄: 千葉県作業療法士会・身障領域研修会講師(2013.11.17: 千葉). 講座資料, 2013.
- 9) 大嶋伸雄: 介護福祉士全国教育研修会・ワークショップ講師(2013.09.27: 豊橋). 講座資料, 2013.
- 10) 大嶋伸雄: 身体障害領域・作業療法概論. 平成 25 年度東京都作業療法士会・身体障害・現職者選択研修会講師(2013.10.19: 東京). 講座資料, 2012.
- 11) 大嶋伸雄: 佐久総合病院・研修センター主催「専門職連携協働研修」講師(2013.09.21-22: 長野). 講座資料, 2013.
- 12) 大嶋伸雄: みさと健和病院・柳原リハビリテーション病院主催・リハビリテーション研修会講師(2013.09.24: 埼玉). 講座資料, 2013.
- 13) 大嶋伸雄: 埼玉みさと総合リハビリテーション病院主催・CBT 研修会講師(2013.12.03: 埼玉). 講座資料, 2013.
- 14) 大嶋伸雄: 徳丸リハビリテーション病院主催・作業療法研修会講師(2013.11.28: 東京). 講座資料, 2013.
- 15) 大嶋伸雄: 認知作業療法研究会・発足記念講演講師(2013.11.09: 東京). 講座資料, 2013.

## 原著論文

- 1) Watanabe R, Higuchi T, Kikuchi Y: Imitation behavior is sensitive to visual perspective of the model: An fMRI study. *Exp Brain Res*; 161-171, 2013.
- 2) 則内まどか, 菊池吉晃: 養育者の育児行動を支える神経基盤(Neural basis of maternal love). 特集 発達障害再考—診断閾値の臨床的意義を問い直す—. *精神神経学雑誌(Psychiatria et Neurologia Japonica)*, 115: 630-634, 2013.
- 3) 黒野昭彦, 月本洋, 岡本智幸, 菊池吉晃, 妹尾淳史: ノンパラメトリック線形回帰分析を用いた脳の賦活領域の検出. *電子情報通信学会論文誌 D Vol.J96-D*, 11: 2839-2845, 2013.

## 総説・論評

- 1) 菊池吉晃: 人間性を支える情動の神経基盤-その適応的メカニズム-. *日本生理人類学会誌* 18; 61-66, 2013.
- 2) 菊池吉晃, 則内まどか: 「母性愛」脳科学研究の視点から. *赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」コメント論文*, 14; , 2014.
- 3) Kikuchi Y, Noriuchi M: The surprising reason we find baby cute (the invited article about Dan Dennette' s talk entitled “Wired to Prefer ‘Cute, Sexy and Sweet” ). [http://www.huffingtonpost.com/madoka-noriuchi/wired-to-prefer-cute-sexy\\_b\\_3697845.html](http://www.huffingtonpost.com/madoka-noriuchi/wired-to-prefer-cute-sexy_b_3697845.html), The Huffington Post, TED Weekends (TED: Technology Entertainment Design, 価値のあるアイデアを世に広めることを目的とするアメリカの非営利団体, TED カンファレンスは, 日本でもNHK スーパープレゼンテーションとしてよく知られる), 2013.

## 国際学会発表

- 1) Noriuchi M, Kikuchi Y, Yoshiura T, Kamio Y: White matter structure and social impairments in children and adolescents with autism spectrum disorders. *International Behavioral Neuroscience Society 22nd Meeting*, Hotel Grand, Malahide, Ireland, June 25-30, 2013.
- 2) Kohno S, Noriuchi M, Iguchi Y, Kikuchi Y, Hoshi Y: The timing of emotional discrimination in human amygdala and ventrolateral prefrontal cortex. *The 19th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*. The Washington State Convention Center, Seattle, WA USA, June 16-20, 2013.
- 3) Oba K, Terasawa Y, Motomura Y, Moriguchi Y, Kikuchi Y, Mishima K: The neural substrates of the emotional autobiographical memory retrieval and its relation to adaptive coping. *American Psychosomatic Society 71th Annual Scientific Meeting*, Abstract 269, Miami, USA, March, 2013.
- 4) Oba K, Terasawa Y, Motomura Y, Moriguchi Y, Kikuchi Y, Mishima K: An fMRI study of emotional autobiographical memory retrieval and its relation to adaptive coping. *19th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*, The Washington State Convention Center, Seattle, WA USA, June 16-20, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 河野理, 則内まどか, 井口 義信, 菊池吉晃, 星 詳子: 腹外側前頭前野および扁桃体における不快

情動弁別タイミング. 第 15 回日本ヒト脳機能マッピング学会大会. 東京大学伊藤国際学術研究センター, 2013 年 7 月 5 日～6 日

- 2) 跡見友章, 則内まどか, 大場健太郎, 廣瀬昇, 田中和哉, 清水美穂, 跡見順子, 菊池吉晃: 身体バランスの不安定性に関する神経機構 - fMRI を用いた検討 -. 第 20 回日本未病システム学会学術総会, 学術総合センター(一橋大学一橋講堂), 2013 年 11 月 9 日～10 日

#### 研究助成

- 1) 菊池吉晃: 「超高磁場機能的磁気共鳴・拡散テンソル画像法による「社会性」の神経基盤に関する研究」, 平成 25 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費)
- 2) 菊池吉晃: 「脳機能を切り口とした化粧の力研究」, 資生堂共同研究
- 3) 菊池吉晃: 科研費基盤(B) 「超高磁場 fMRI を用いたヒト身体不安定性における「全身的協関」メカニズムの研究」, 平成 25 年度～平成 27 年度.

#### 招待講演

- 1) 菊池吉晃: 人間性の神経基盤を探る-人間理解のための脳科学をめざして-. 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同, 計算科学シミュレーションと工学設計分科会, 心と脳など新しい領域検討小委員会 (第 2 回), 日本学術会議, 2013 年 9 月 17 日.
- 2) 菊池吉晃: お母さんのわが子に対する愛情(母性愛)とは何か? 第 2 回 プレ「子育ての科学」イベント(脳科学×子育て), Peek project(学術コミュニケーション支援機構), 湯島地域活動センター, 2014 年 1 月 29 日.

#### その他

- 1) 菊池吉晃: 日本生理人類学会第 67 回大会(東京)大会長開催報告, PANews 23; 1-2, 2013.
- 2) 菊池吉晃: 日本生理人類学会「脳科学・感性研究部会合同会合」主催, 秋葉原サテライトキャンパス, 2013 年 11 月 17 日.
- 3) 菊池吉晃: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員, 2013.
- 4) 菊池吉晃: 日本学術振興会 特別研究員関連専門委員, 2013.
- 5) 菊池吉晃: 日本学術振興会 国際事業関連委員会委員, 2013.
- 6) 菊池吉晃: 日本学術振興会 科学研究費専門委員, 2013.
- 7) Kikuchi Y: Editorial Board, Anthropology, 2013.
- 8) Kikuchi Y: Editorial Board, Science Postprint, 2013.
- 9) Kikuchi Y: Editorial Board, Epigenetics Diagnosis & Therapy, 2013.
- 10) 菊池吉晃: 番組協力, フジテレビ特別番組「クイズ 100 人の学者が教えます!」, 2013.
- 11) 菊池吉晃: 番組協力, 日本テレビ「所さんの目がテン!」, 2013.

## 原著論文

- 1) 石岩, 王樹東, 藪脇健司, 谷村厚子, 繁田雅弘: 中国語版「高齢者のための包括的環境要因調査票」(CEQ-C)の言語的妥当性. 作業行動研究, 17(3):155-162, 2013
- 2) 石岩, 谷村厚子, 品川俊一郎, 繁田雅弘: 在宅高齢者の主観的健康感に関連する要因の文献的研究. 日本保健科学学会誌, 16(2):82-89, 2013
- 3) 繁田雅弘, 角徳文, 品川俊一郎: ドネペジル, ガランタミン, リバスタグミンのアルツハイマー型認知症に対する有効性の比較検討—国内第3相試験を統合した有効性の間接比較. Geriatric Medicine, 51(9):957-963, 2013
- 4) 中村祐, 今井幸充, 繁田雅弘, 白波瀬徹, 金孝成, 藤井章史, 森丈治, 本間昭. 軽度および中等度アルツハイマー型認知症患者を対象としたリバスタグミンパッチの漸増期間中における有効性に関する経時的評価(国内第IIb/III相試験における事後解析). Pharma Medica, 31(6):101-107, 2013
- 5) 関一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福本安甫, 繁田雅弘: 女性パーキンソン病患者において低下する嗅覚の種別. 日本老年医学会雑誌, 50(2):243-248, 2013

## 総説・解説

- 1) 角徳文, 繁田雅弘. 抗認知症薬使用の現状と課題. 日本精神医科病院協会. 32(4): 17-22, 2013
- 2) 繁田雅弘, 角徳文, 井藤佳恵, 和田民樹, 赤津裕康, 浦上克哉. アルツハイマー病診療のスキルアップを考える. この症例をどう診るか. 老年精神医学雑誌, 24(増刊I):7-23, 2013
- 3) 繁田雅弘: 認知症治療の最前線 BPSD の薬物療法. 現時点における戦略とは. Dementia Japan, 27(4):444-444, 2013
- 4) 品川俊一郎, 繁田雅弘: 認知症に対する薬物療法の課題—アルツハイマー型認知症の症状改善薬の開始時期について. 精神科治療学, 28(12):1545-1549, 2013
- 5) 繁田雅弘, 本間昭: 精神科診療に必要な書式マニュアル第三版—第8章 指定医・専門医資格申請用の症例レポート: 老年精神医学会専門医申請のための症例報告. 臨床精神医学, 42(増刊): 338-343, 2013
- 6) 関一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福本安甫, 繁田雅弘: 神経変性疾患における嗅覚障害の特異性—パーキンソン病患者において低下する嗅覚の種別について. 帝京大学福岡医療技術学部紀要, 8:49-63, 2013
- 7) 角徳文, 繁田雅弘: 老年精神医学領域におけるエビデンスを再考する—エビデンスに基づく薬物治療—向精神薬のエビデンス. 老年精神医学雑誌, 24(5):457-463, 2013
- 8) 繁田雅弘: 専門分野における倫理の現状と将来展望: 精神医療・認知症: 精神障害や認知症疾患に罹患した人への支援. 臨床倫理, 1号:23-25, 2013

## その他

- 1) 石岩, 王樹東, 王淑娟, 谷村厚子, 藪脇健司, 繁田雅弘: Chinese Version of the Comprehensive Environmental Questionnaire(CEQ-C)の妥当性と信頼性. 日本保健科学学会誌, 16(Suppl):22-22, 2013
- 2) 藪脇健司, 平尾一樹, 小野健一, 山田孝, 繁田雅弘: 居宅サービスを利用する高齢者を対象と

した作業療法による包括的環境支援の効果:ランダム化比較試験. 老年精神医学雑誌, 24(増刊 II): 208-208, 2013

- 3) 繁田 雅弘:アルツハイマー病治療の意義とエンドポイント, そして評価方法:治療目標と評価を当事者と共有するために. 老年精神医学雑誌, 24(増刊 II):142-142, 2013
- 4) 繁田 雅弘:わが国における認知症施策 東京都における認知症対策について. 老年精神医学雑誌 24(増刊 II):103-103, 2013
- 5) 関 一彦, 鶴田 和仁, 稲津 明美, 福本 安甫, 繁田 雅弘:パーキンソン病の嗅覚障害. 非運動性症候の視点からその特徴及び影響についての考察. 日本作業療法学会抄録集 47 回 156-156, 2013.
- 6) 篠原 幸人, 宇高 不可思, 繁田 雅弘:認知症介護と支援を考える—本邦の認知症. 成人病と生活習慣病, 43(7):799-813, 2013.

## 原著論文

- 1) Yumoto M, Watanabe M Blebbistatin, a myosin II inhibitor, suppresses  $Ca^{2+}$ -induced and “sensitized” -contraction of skinned tracheal muscles from guinea pig. J Smooth Musc Res 2013; 49: 89-98.
- 2) Omori H, Otsu M, Suzuki A, Nakayama T, Akama,K, Watanabe M, Inoue N. Effects of heat shock on survival, proliferation and differentiation of mouse neural stem cells. Neurosci Res 2014; 79:1-12.

## 学会発表

- 1) 渡辺 賢, 山村 聡. ミオシンII阻害薬によるスキンド平滑筋弛緩促進のメカニズム. 第 55 回日本平滑筋学会. 北海道旭川市 2013 年 8 月 6-8 日
- 2) Watanabe M, Yamamura S. Myosin II inhibitors accelerate relaxation of skinned taenia cecum Regulatory Circuits in Cell Motility, 米国ペンシルバニア州フィラデルフィア 2013 年 10 月 11-12 日
- 3) 平野和宏, 木下一雄, 妹尾淳史, 渡辺賢 骨格筋の活動状態を評価するための適切な TR(repetition time)値の検討. 第 160 回日本体力医学会関東地方会. 東京都調布市 2014 年 3 月 8 日 体力科学 2014; 63(3): 367
- 4) Watanabe M, Ishida Y, Nakahara N, Taguchi M, Kimura M, Takemori S. Regulation of thick and thin filaments organization by smooth muscle myosin. 鹿児島県鹿児島市 鹿児島大学郡元キャンパス 2014 年 3 月 16-18 日 J Physiol Sci 2014; 64.S38

## 原著論文

- 1) 麻所奈緒子, 伊藤祐子:ランダム化比較試験によるデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の作業療法効果. 日本保健科学学会誌, Vol.16, No.3, 2013.

## 著書

- 1) 伊藤祐子:感覚統合 Q&A 改訂第2版. 土田玲子監修, 25.32.37.47.48.52, 協同医書出版社, 2013.
- 2) 伊藤祐子:小児・発達期の包括的アプローチ PT・OTのための実践的リハビリテーション. 新田 収, 竹井 仁, 三浦香織編集, 77-84, 文光堂, 2013.

## 研究報告書

- 1) 伊藤祐子, 小林法一, 田辺美樹子, 酒井康年, 波多野裕子, 小野寺泰子:平成 25 年度日本作業療法士協合作業療法推進活動パイロット事業報告書. 地域への作業療法士配置に向けた人材育成「特別支援教育への人材派遣モデル作成と他領域への応用」. 2014.

## 国内学会発表

- 1) 浅利邦子, 伊藤祐子:高等部段階軽度知的障害のある生徒に対応した体の動きを中心とする自立活動-感覚統合の視点による取り組みの試行-. 第 31 回日本感覚統合学会研究大会抄録集:31, 2013.
- 2) 李 怡欣, 伊藤祐子:自閉性障害を持つ子供の無意識の姿勢コントロールと視覚依存度の関係. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:7, 2013.
- 3) 日高幹代, 伊藤祐子:自閉症スペクトラム障害(ASD)児の母親に関する国内文献レビュー. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:13, 2013.
- 4) 伊藤祐子, 浅利邦子:着席状況に対するゴムバンド椅子の効果 ~高等部軽度知的障害生徒への試用調査より~. 第 2 回日本発達系作業療法学会抄録集:12, 2013.

## 研究助成

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究(C)(H24~H26 )学校における発達障害児の感覚・運動アセスメントツールの開発に関する研究(代表:岩永竜一郎)分担
- 2) 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(H24~H26 ):認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果(代表:井上 薫)分担

## その他

- 1) (株)教育医事新聞社発行「教育医事新聞」取材,「第 31 回日本感覚統合学会研究大会」, テーマ:すこやかな育ち-感覚統合と環境-, 大会長インタビュー, 平成 26 年新春特別号掲載.
- 2) 荒川区産業経済部発行「あらかわ産業 Navi」掲載, 荒川・板橋・北区合同「首都大学東京産学交流会」, テーマ:ものづくりの新たな展開 大学と協力して進める 健康・福祉分野の製品開発, 第 68 号.

- 3) 日本バーチャルリアリティ学会 カ触覚の提示と計算研究会 第 12 回研究会特別講演, テーマ「子ども  
もの発達と感覚統合ーおもちゃ・遊具・あそび環境ー」, 2014 年 3 月.

## 論文, 著書

- 1) Noor Ayuni Che Zakaria, Takashi Komeda, Cheng Yee Low, Kaoru Inoue, Stephan Raczak: Emulation of Spasticity Symptoms in Upper Limb Part-Task Trainer for Physiotherapist Education. 2013, Applied Mechanics and Materials, 393: 999-1004. DOI: 10.4028/www.scientific.net/AMM.393.999, 2013.
- 2) Mio Nakamura, Yohei Kume, Jun Suzurikawa, Shohei Tsukada, Hideo Kawakami, Kaoru Inoue, Takenobu Inoue: Development of Transfer Assist Robot Based on the User Needs, Journal of Robotics and Mechatronics, 25(6): 992-999, 2013.
- 3) Ayuni, C.Z.N.; Komeda, T.; Cheng Yee Low; Inoue, K., Emulation of muscle tone of upper limb spasticity and rigidity, Neural Engineering (NER), 2013 6th International IEEE/EMBS Conference on Neural Engineering, :1590-1593, 6-8 Nov. 2013.  
DOI:10.1109/NER.2013.6696252URL:http://ieeexplore.ieee.org/stamp/stamp.jsp?tp=&arnumber=6696252&isnumber=6695843
- 4) Kaoru Inoue, Mio Nakamura, Naomi Sakuma, Maiko Okada: Turning Off or Turning On?: Two Different Ways to Use a Baby Seal Shaped Robot PARO in Occupational Therapy for Patients with Dementia, Assistive Technology Research Series, 33, from research to practice, IOS Press:875-879, 2013.
- 5) 佐々木千寿, 井上 薫, 谷村厚子, 大嶋伸雄: 業療法士養成校における模擬患者を活用した講義の
- 6) 産業技術総合研究所ユーマンライフテクノロジー研究部門編集, 福祉技術ハンドブック—健康な暮らしを支えるために—:134-139, 朝倉書店, 東京, 2013. (分担執筆)
- 7) 玉垣 努, 渡邊慎一編集: 福祉用具・住環境整備の作業療法:181-191, 中央法規, 東京, 2013. (分担執筆)
- 8) 宮口秀樹監修, 小川真宏, 西田征治, 内田達二編集: 認知症をもつ人への作業療法アプローチ. : 152-162, メジカルビュー, 東京, 2014. (分担執筆)

## 国際学会発表

- 1) Kaoru Inoue, Naomi Sakuma, Maiko Okada, Mio Nakamura: Dementia Care Mapping Testing on the Effectiveness of Occupational Therapy Services to Seniors with Alzheimer's Disease. Alzheimer's Association International Conference: AAIC2013.
- 2) Kaoru Inoue, Chihiro Sasaki, Atsuko Tanimura, Yu Ishibashi: How to Improve Occupational Therapy Students' Social Skills: The Current Situations and Prospects in Tokyo, Japan. 9GG/6, Association for Medical Education in Europe(AMEE2013) conference program: 136, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 岡田麻衣子, 井上 薫, 中村美緒, 佐久間尚実: アザラシ型ロボット「パロ」がもたらす認知症高齢者と介護職員の変化—特養AでのDCMによる評価と職員の対象者に対する印象の変化—. 第14回日本認知症ケア学会誌. 12(1):158, 2013.
- 2) 佐久間尚実, 井上 薫, 中村美緒, 岡田麻衣子, アザラシ型ロボット「パロ」は認知症高齢者とケア環

境にどんな効果をもたらすのか—特養での認知症ケアマッピング(DCM)により観察されたケアに関する出来事の変化—第 14 回日本認知症ケア学会誌. 12(1):158, 2013.

- 3) 井上 薫, 佐久間尚実, 岡田麻衣子, 中村美緒:認知症をもつ高齢者に対するアザラシ型ロボット「パロ」を使用した活動の効果—Dementia Care Mapping Ver8.0による評価—. 第 14 回日本認知症ケア学会誌. 12(1),218,2013.
- 4) 井上 薫, 佐々木千寿:ロボット「パロ」と「バルロ」の良い点・改善点—作業療法でより有効に活用するために—. 第 47 回日本作業療法学会誌, P546-Lf, 2013.
- 5) 中村美緒, 井上 薫, 硯川 潤, 河上日出生, 井上剛伸:開発段階の福祉機器における臨床評価-ロボティックベッド®の改良点に着目した効果検証-,第 47 回日本作業療法学会誌, 0346, 2013.
- 6) 杉元志帆, 井上 薫, 佐々木千寿:千葉県作業療法士勤務施設で行われている卒後教育の調査—アンケートによる現状報告—, 第 47 回日本作業療法学会誌, P640-Lf, 2013.
- 7) 和田一義, 安藤亮太, 井上 薫, 妹尾淳史, 笠松慶子, 木下正信, ロボットと動物との触れ合い活動前後における比較—第一報:POMS を用いた比較—, 日本ロボット学会学術講演会予稿集, 1J2-04, 2013.

#### 研究助成

- 1) 井上 薫:文部科学省科学研究費基盤研究(B):認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果(研究代表者)
- 2) 井上 薫:学部傾斜配分研究費:特別養護老人ホームに入所している認知症高齢者に対する作業療法(研究代表者).
- 3) 井上 薫:JKA(競輪財団)補助事業 平成 25 年度 自転車シミュレータを用いたリハビリテーション・評価プログラムの開発(分担研究者).
- 4) 井上 薫:平成 25 年度神奈川県公募型ロボット実証実験支援事業神奈川県産業労働局産業・エネルギー部産業振興課(研究代表者).
- 5) 井上 薫:平成 25 年度介護機器モニター調査(実証試験)事業 事前検証参加企業 富士ソフト株式会社受託研究費(研究代表者).

#### その他

- 1) 井上 薫:作業療法・ケア場面におけるアザラシ型ロボット:パロの適用. 健康いきがい学会第 4 回大会報告書:35, 第 5 分科会認知症予防とロボットセラピー, 2013. (招待)
- 2) 井上 薫:アザラシ型ロボット“パロ”が施設環境にぬくもりを与える—パロの活用が教える・より良いケアとは何か—. 第 3 回ロボットリハビリテーション研究大会. :12, 2013. (招待)
- 3) 井上 薫, 佐々木千寿, 和田一義, 柴田崇徳:在宅認知症高齢者に対する家族によるパロ適用の効果—2家族の事例・介護者の語りを通して—. 第 3 回アザラシ型ロボットパロによるロボットセラピー研究会抄録集:52-58, 2013. 6.29. (招待)
- 4) 井上 薫:パロ・ロボットとしてのメリット—電源 ON と OFF の時の対象者の反応の違い—. 第 3 回アザラシ型ロボットパロによるロボットセラピー研究会抄録集, 2013. (招待)

## 原著論文

- 1) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 野村 忍, 安村誠司. 地域高齢者の閉じこもり解消に対する外出行動変容ステージの分類- 外出に対する自己効力感との関連から -. 老年社会科学, 35 (4):438-446, 2014.

## 研究報告書

- 1) 和泉比佐子, 森 満, 佐伯和子, 松原三智子, 岡田 尚美, 藺牟田洋美:平成22年度～平成25年度 科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書. 青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への行動科学に基づく介入プログラムの開発. 2013.
- 2) 安村誠司, 藺牟田洋美, 山崎幸子, 平井 寛, 藤田幸司:平成23年度～平成25年度 科学研究費補助金基盤(B)研究成果報告書. 介護予防ハイリスク者に対する包括的介護予防プログラムの開発と検証. 2013.
- 3) 山田拓実, 藺牟田洋美:平成24年度～平成26年度 科学研究費補助金基盤(C)研究成果報告書. 障害者・要介護高齢者向け健康体操の当事者, 介護者, および地域社会への影響. 2013.

## 国内学会発表

- 1) 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者における居場所感尺度開発のための検討—家族関係に関する青年期の居場所感尺度の適用可能性について—, 第55回日本老年社会科学学会総会抄録, 10:2013.
- 2) 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者の社会的孤立と閉じこもりおよび家庭における居場所感との関連 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 3) 西川俊永, 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 地域高齢者の家庭内役割の遂行と居場所感との関係について, 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 4) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司, 平井寛, 安村誠司. 閉じこもり解消に向けた外出の自己効力感を高める支援の効果—訪問型ロコモ体操をツールとして— 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 5) 和泉比佐子, 岡田尚美, 松原三智子, 佐伯和子, 藺牟田洋美, 森 満, 青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への介入のための ICT システムの開発 第72回日本公衆衛生学会総会抄録, 10:2013.
- 6) 平井寛, 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司, 安村誠司. 高齢者の買い物環境と食物摂取頻度・外出頻度の低さの関連の検討 第23回日本疫学会学術総会抄録, 2014.

## 研究助成

- 1) 藺牟田洋美:科学研究費補助金基盤(B)「青壮年期のメタボリックシンドローム予備群への行動科学に基づく介入プログラムの開発」(分担).
- 2) 藺牟田洋美:科学研究費補助金基盤(B)「介護予防ハイリスク者に対する包括的介護予防プログラム

の開発と検証」(分担).

- 3) 藺牟田洋美: 科学研究費補助金基盤(C)「障害者・要介護高齢者向け健康体操の当事者, 介護者, および地域社会への影響」(分担).

#### その他

- 1) 藺牟田洋美: DVD PSYCHOLOGY SERIES 現代心理学 発達と支援 II ⑧ 高齢期の社会関係・身体的条件の変化と支援. サンエデュケーショナル, 2013.
- 2) 藺牟田洋美: 高齢者の「閉じこもり」のリスクとその支援. ナーシングプラザ.com. 2013.
- 3) 藺牟田洋美: 荒川区ばん座位台体操リーダー育成研修: 人と人とのつながりを広げるために. 東京都荒川区, 2013.06.
- 4) 藺牟田洋美: 首都大学東京女性研究者研究支援員制度成果報告会, 首都大学東京南大沢キャンパス, 2013.12.
- 5) 藺牟田洋美: 高齢者の閉じこもり予防・支援 ～ライフレビューでのアプローチについて～. 神奈川県横浜市磯子区, 2014.03.

## 原著論文

- 1) 石岩, 谷村厚子, 品川俊一郎, 繁田雅弘: 在宅高齢者の主観的健康感に関連する要因の文献的研究. 日本保健科学学会誌, 16(2):82-89, 2013.
- 2) 石岩, 王樹東, 藪脇健司, 谷村厚子, 繁田雅弘: 中国版「高齢者のための包括的環境要因調査票」(CEQ-C)の言語的妥当性. 作業行動研究, 17(3)155-162, 2013.
- 3) 中根順子, 谷村厚子: 地域活動生活支援センターの主体的な利用が対象者のリハビリに与えた影響の検討. 東京作業療法, 2:25-31, 2014.
- 4) 佐々木千尋, 井上 薫, 谷村厚子, 大嶋伸雄: 作業療法士養成校における模擬患者を活用した講義の現状. 東京作業療法, 2:32-39, 2014.

## 総説・解説

- 1) 谷村厚子: 当事者参加型精神科作業療法研究に至る道程. 作業行動研究, 17(4):202-204, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Kobayashi N, Yamada T, Kawamata H, Ishibashi Y, Tanimura A, Ishii Y: Occupational competence and QOL in elderly Japanese people who live an independent life. The 20th World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul 2013, June 23-27, 2013.
- 2) Tanimura A, Ishii Y: Outcomes of the community-based participatory action research by users of mental health services. World Psychiatric Association International Congress 2013, October 27-30, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 谷村厚子, 山田孝, 石井良和: 精神保健サービス利用者による当事者参加型アクションリサーチの成果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 2) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕: 学生生活適応プログラムの効果. 第47回日本作業療法学会抄録集, 2013年6月.
- 3) 谷村厚子: シンポジウムⅡ OBPのイノベーション 当事者参加型精神科作業療法研究に至る道程. 日本作業行動学会, 2013年9月.

## 研究助成

- 1) 谷村厚子: 平成25年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)))(一般), 精神障害をもつ当事者参加型研究によるワークライフバランス再構築度尺度の開発(代表).

## 原著論文

- 1) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The Relationship between Homebound Status and Occupational Competence, and Its Effects on Health-Related Quality of Life. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, HKJOT, 23 (4), 2-13, 2013.4.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽: 回復期リハビリテーション病棟における住環境整備業務の実態～住環境整備に関与する職種へのアンケートから～, リハビリテーション・エンジニアリング, 28(4):219-226, 2013.

## 著書

- 1) 橋本美芽: 福祉機器選び方・使い方, はじめての住宅改修, 入浴, トイレ～わが家をバリアフリーに～, : 3-26, 財団法人保健福祉広報協会. 2013.8.

## 総説・解説

- 1) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 高齢者. 総合リハビリテーション 42(1).p76-77. 2014.1.
- 2) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 脳卒中片麻痺者－歩行可能な場合. 総合リハビリテーション 42 (2):171-173, 2014.2.
- 3) 橋本美芽: 特集) 家屋改造の実際, 脳卒中片麻痺者－車椅子生活の場合. 総合リハビリテーション 42(3):271-273, 2014.3.
- 4) 橋本美芽: 高齢者の視覚の特徴と住環境. 地域リハビリテーション 9(2):101-105, 三輪書店. 2014.2

## 研究報告書

- 1) 橋本美芽, 石橋裕: 平成 23～25 年度 学術研究助成基金・基盤研究(C)「都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究」報告書. 2014.3.(研究代表者)
- 2) 橋本美芽, 石橋裕: 平成 22～25 年度 首都大学東京リーディングプロジェクト研究, 環境負荷低減に資する都市建築ストック活用社会の構築技術成果報告書. 郊外型都市賦活更新プロジェクト研究: 都市部(住宅密集地)在住高齢者を対象とした外出行動特性の把握と都市整備施策の在り方, 外出行動活性化を図る施策構築に関する研究. 2014.3.(研究代表者)
- 3) 橋本美芽: 東京都産業労働局ロードマップ事業, 首都大学東京・東京都立産業技術研究センター連携研究. 情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発. 平成 25 年度研究成果報告書 2014.3. (研究代表者)
- 4) 橋本美芽: 東京都産業労働局ロードマップ事業, 首都大学東京・東京都立産業技術研究センター連携研究. 災害発生時における情報弱者支援に関する実態調査報告書. 2014.3.(研究代表者)
- 5) 橋本美芽: 平成 24～26 年度 首都大学東京傾斜的研究費(全学分). 「スマート QOL を目指すイノベーション科学」平成 25 年度研究報告書. 2014.3.(分担)

## 国際学会発表

- 1) Kazuyoshi Wada, Takayoshi Tanaka, Yusuke Sukanuma, Mime Hashimoto, and Toshihiko Suzuki, Kitchen Extension Robot Module for Elderly Housing, Proc. 2013 10th International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence, pp.378-382, 2013.

- 2) Naoyuki Kubota, Mime Hashimoto, Takashi Kato, Kenji Iwasaki, Hiroko Sugatani, "Information Support System using Smartphones in Disaster," the International Workshop on Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (IWACIII 2014), 28 February - 1 March, Fukui, Japan, 2014.2.

#### 国内学会発表

- 1) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究—家族が記入する「事前調査用」の記録用紙について—, 日本作業療法学会抄録集, 47:894(P384-Le ), 2013.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究～関連職種による「事前調査用」の記録用紙の検討～, 第 28 回 リハビリテーション工学カンファレンス in いわて, 1C1-1, 2013.8.
- 3) 澤田有希, 橋本美芽:住環境整備のための記録用紙の試作及び妥当性に関する研究～「訪問調査用」の記録用紙の検討～, 第 16 回 福祉のまちづくり学会全国大会, I 1B-5, 2013.8.
- 4) 長野博一, 藤井敬宏, 橋本美芽, 石橋 裕, 別府 知哉:住民参加による心のバリアフリー施策の実践と課題に関する研究, 第 16 回 福祉のまちづくり学会全国大会, 2013.8.

#### 研究助成

- 1) 橋本美芽:平成 23～25 年度 学術研究助成基金・基盤研究(C), 都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究.(研究代表者)
- 2) 橋本美芽:平成 22～25 年度 首都大学東京リーディングプロジェクト研究, 環境負荷低減に資する都市建築ストック活用社会の構築技術プロジェクトⅢ・「郊外型都市賦活更新プロジェクト研究:都市部(住宅密集地)在住高齢者を対象とした外出行動特性の把握と都市整備施策の在り方, 外出行動活性化を図る施策構築に関する研究」.(研究代表者)
- 3) 橋本美芽:平成 24～26 年度 東京都産業労働局 都市課題のための技術戦略プログラム, 技術開発プロジェクト研究, 情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発.(研究代表者)
- 4) 橋本美芽:平成 24～26 年度 首都大学東京傾斜的研究費(全学分), スマートQOLを目指すイノベーション科学.(分担)
- 5) 橋本美芽:平成 25～26 年度 東京都都市づくり公社共同研究, 総合防災対策研究プロジェクト, 社会科学系:災害弱者への対応ユニット(全学)(分担)

#### 受賞

- 1) 平成 24 年度日本福祉のまちづくり学会学会賞:澤田有希・橋本美芽:回復期リハビリテーション病棟に勤務する作業療法士が行う住環境整備の業務内容に関する研究. 2013.10.

#### その他

1. 橋本美芽:日本福祉のまちづくり学会関東甲信越支部 2013 年度研究会「皆で協力して実現する福祉のまちづくり～合意形成を再考する～」基調講演「住民参加型福祉のまちづくりの課題と展望～荒川区・横浜市の事例から」2013.6.
2. 橋本美芽:練馬区パワーアップカレッジ. 地域・自宅で生活を続けるためには～安全と自立支援の住まいづくり～. 2014.2.

## 著書

- 1) ボンジェ・ペイター(2014)ヨーロッパのOTについて知る:オランダの訪問OTを紹介する. 東京作業療法, Vol2, 8-10

## 国際学会発表

- 1) Yu Ishibashi, Tatsunori Sawada, Peter Bontje, Anders Kottorp. A study into selection of intervention model after the AMPS and Assessment of Awareness of Ability (A3). 1<sup>st</sup> International OTIPM symposium, Seoul, Korea, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宮本玲子, Peter Bontje, 須山夏加, 伊藤祐子(2013). Dual-panel methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale (IDPS) 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会(ポスター演題)
- 2) 宮本玲子, Peter Bontje, 須山夏加, 伊藤祐子(2013). Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会(ポスター演題)

## 原著論文

- 1) 宮本礼子,川又寛徳:Nominal group technique を用いた「作業療法学生の臨床実習適応能力の自己評価尺度案」の内容的妥当性および表面的妥当性の検討.作業療法 33(2), 110-123, 2014.(原著)

## 研究報告書

- 1) 宮本礼子,石橋裕:平成 25 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)報告書,臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性,2013.

## 国際学会発表

- 1) Reiko MIYAMOTO, Yoko MIZUIDE: Relationship between anxiety state and brain activities during the ambiguous facial expression recognition in the university students. WPA2013, 28th October 2013.

## 国内学会発表

- 1) 宮本礼子,川又寛徳,有川真弓:「総合臨床実習における作業療法学生の自己成長感評価尺度」の内容的妥当性の検討,第47回日本作業療法学会,大阪,2013年6月28日.
- 2) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Dual-Panel Methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会,2013年7月26日.
- 3) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会,2013年7月26日.

## 研究助成

- 1) 宮本礼子,石橋裕:平成25年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性.
- 2) 石橋裕,宮本礼子:平成25年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),社会資源情報の共有を目的とした高齢者支援ホームページの包括的運営方法に関する研究.

## その他

- 1) 宮本礼子,川又寛徳,有川真弓:「総合臨床実習における作業療法学生の自己成長感評価尺度」の内容的妥当性の検討,第47回日本作業療法学会,p104,2013.
- 2) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Dual-Panel Methodologies を用いた Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の作成. 第45回日本医学教育学会大会抄録集,p171,2013.
- 3) 宮本礼子,ボンジェペイター,須山夏加,伊藤祐子: Interaction with Disabled Persons Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 第45回日本医学教育学会大会抄録集,p171,2013.
- 4) Reiko MIYAMOTO, Yoko MIZUIDE: Relationship between anxiety state and brain activities during the ambiguous facial expression recognition in the university students. WPA2013, p33.

## 原著論文

- 1) 石橋裕,渡辺成美,石橋仁美:アイシャドウチップと片手によるアイシャドウ動作との関係性-AMPSの技能項目を用いた動作解析-. FRAGRANCE JOURNAL 11:64-67,2013.

## 著書

- 1) 石橋裕(分担翻訳):Assessment of Motor and Process Skills vol.2 8th edition.日本 AMPS 研究会, 2014.
- 2) 石橋裕(共著):AMPS と OTIPM. 宮口英樹監修, 認知症をもつ人への作業療法アプローチ-視点・プロセス・理論 -:112-121, Medical View, 2013.

## 研究報告書

- 1) 石橋裕, 石井良和:メイクアップによる障害者支援方法の確立:カネボウ化粧品株式会社, 東京工科大学 3 社連携事業報告書, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Yu Ishibashi,H.Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yumi Takada, Mika Shimoda:The effectiveness of an occupational therapy program for health promotion using cosmetics among dwelling elderlies:A pilot study. World Psychiatric Association Congress , Vienna, Austria, 2013
- 2) Yu Ishibashi, Tatsunori Sawada, Peter Bontje, Anders Kottorp,: A study into selection of intervention model after the AMPS and Assessment of Awareness of Ability (A3). 1st.International OTIPM symposium,Seoul,Korea,2013.
- 3) H. Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yu Ishibashi, Yumi Takada, Mika Shimoda :Cosmetic issues with women with mental disorder.- By inquiries for occupational therapists-. World Psychiatric Association Congress ,Vienna, Austria, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 石橋裕,石橋仁美, 石井良和,高田夕美, 下田美香:社会参加支援プログラム(SSPC)参加者の化粧と健康づくりへの関心の傾向.第 47 回日本作業療法学会抄録集,47,2013.
- 2) 石橋仁美,石井良和, 石橋裕, 高田夕美, 下田美香:「化粧」を用いた支援の実態調査-精神障害領域における文献レビューより. 第 47 回日本作業療法学会抄録集,47,2013.
- 3) 長野博一, 石橋裕.:住民参加による心のハリアフリー施策の実践と課題に関する研究. 日本福祉のまちづくり学会第 16 回全国研究大会,2013.
- 4) 小林法一, 石橋裕, 池上洋, 田中勇次郎:WFOT 2014 in 横浜への誘い 国際学会で採択される英文抄録作成のコツ. 東京作業療法,2013.
- 5) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳, 谷村厚子, 石橋裕:学生生活適応プログラムの効果. 第 47 回日本作業療法学会, 2013.

## 研究助成

- 1) 石橋裕:メイクアップによる障害者支援方法の確立. 株式会社カネボウ化粧品共同研究費, 2013.

- 2) 石橋裕:首都大学東京平成 25 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費),社会資源情報の共有を目的とした高齢者支援ホームページの包括的運営方法に関する研究.
- 3) 石橋裕:日本作業療法士協会平成 22 年度課題研究助成研究,健康増進・障害予防プログラムの効果に関する研究(分担,研究代表者:石橋仁美)
- 4) 『都市部在住高齢者の外出特性と外出頻度低下をもたらす物理的環境因子に関する研究』:日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 C(分担,研究代表者:橋本美芽)
- 5) 石橋裕:高齢者が入退院後に生活活動を承継する縦断的研究—スウェーデンのノウ・ハウを活かす—(分担,研究代表者:Peter Bontje)
- 6) 石橋裕:臨地実習経験を通じた作業療法学生の基本的臨地実践能力に関する自己評価の変化と自意識の関係性(分担,研究代表者:宮本礼子)



# 放射線学科



## 原著論文

- 1) Sarata Kumar Sahoo, Raviwan Kritsananuwat, Masahiro Fukushi: Actinide Analysis in Biological Materials. Radiation Emergency Medicine Vol.1 No.1-2 22-26, 2012.
- 2) Inoue, K, Hosoda, M, Tokonami, S, Ishikawa, T, Fukushi, M: Investigation of radon and thoron concentrations in a landmark skyscraper in Tokyo. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry 298:2009-2015, 2013.
- 3) Inoue K, Fukushi M. Current Status of Hypoxia Imaging in Cancer Therapy. Radiation Biology Research Communications, 48(4), 364-374, 2013.
- 4) Raviwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo , Masahiro Fukushi : Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in Gulf of Thailand's sediments. Environ Earth Sci, 2014.
- 5) Kritsananuwat, S. K. Sahoo , M. Fukushi, K. Pangza , S. Chanyotha: Radiological risk assessment of  $^{238}\text{U}$ ,  $^{232}\text{Th}$  and  $^{40}\text{K}$  in Thailand coastal sediments at selected areas proposed for nuclear power plant sites. J Radioanal Nucl Chem 2014.

## 著書

- 1) 福士政広 企画協力: 臨床工学士ブルー・ノート基礎編, 見目恭一編. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 2) 福士政広 企画協力: 作業療法士イエロー・ノート基礎編, 見目恭一編. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 3) 福士政広 企画協力: 柔道整復師イエロー・ノート臨床編, 平沢泰介・渡會公治監修. メジカルビュー社, 東京, 2013.
- 4) 福士政広 編集: 第2種放射線取扱主任者試験マスター・ノート, メジカルビュー社, 東京, 2014

## 総説・解説

- 1) 福士政広: 伊豆諸島の環境放射線と関わって, JIRA 会報, No.197 p48-49, 2014.
- 2) 福士政広: 第107回日本医学物理学学会学術大会開催にあたって, 医学物理 Vol.33.4, p165, 2013.
- 3) 福士政広: 首都大学東京 家庭用放射線測定器, 蛍雪時代, p122, 2014.
- 4) 福士政広: 診療放射線技師の放射線防護教育, 第35回医療放射線の安全利用フォーラム資料集, 23-29, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Tsuda K, Koyama K, Iwabuchi Y, Suzuki T, Toya K, Hirayama A, Tsushima H, Fukushi M, Moriyama N, Fujii H: Segmental acquisition method for rectal cancer in FDG-PET/CT tests, Analysis of 20 patients, Society of Nuclear Medicine 2013 Annual Meeting, Vancouver, J Nucl Med, Vol.54 (Sup.2), P. 550P, 6, 2013.
- 2) Inoue K, Umeda IO, Fukushi M, Fujii H: In vivo high quality SPECT imaging of mouse brains using I-125 labeled compounds. European Association of Nuclear Medicine, Lyon, France, 2013.
- 3) Raviwan Kritsananuwat, Masahiro Fukushi, Hideki Arae, Sarata Kumar Sahoo : Determination of U, Th, REEs and heavy metals in the potential sites of Thailand's nuclear power plants: Establishing a baseline for future environmental

monitoring. Proceeding of 12th ISMAS Triennial International Conference on Mass Spectrometry, ISBN: 978-81-904442-5-5, 354-359, India,2013.

- 4) Rawiwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo, Hideki Arae, Masahiro Fukushi : Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in selected soil and plants around southern Thailand. IV. Terrestrial Radionuclides in Environment International Conference on Environmental Protection; Hungary,2014.
- 5) Rawiwan Kritsananuwat, Hideki Arae, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha, Sarata Kumar Sahoo : Natural radionuclides and radiation risk assessment in southern Thailand soils. RAD 2014 - Second International Conference on Radiation and Dosimetry in Various Fields of Research; Serbia,2014.
- 6) Rawiwan Kritsananuwat, Hideki Arae, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha, Karnwalee Pangza, Sarata Kumar Sahoo : Assessment of natural radionuclides and rare earths in Gulf of Thailand sediments as baseline data. ICRER 2014 - 3rd International Conference on Radioecology & Environmental Radioactivity; Spain,2014.
- 7) Rawiwan Kritsananuwat, Sarata Kumar Sahoo, Masahiro Fukushi, Hideki Arae, Supitcha Chanyotha : Measurement of uranium, thorium and uranium activity ratio in environmental samples from a tropical country, Thailand. 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment (NRE-IX); Japan,2014.

#### 国内学会発表

- 1) 大脇由樹, 成田浩人, 井上一雅, 福士政広:塩化ストロンチウム注射液中に含まれるSr-85による特性X線について. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 2) 三本拓也, 砂岡史生, 南本亮吾, 新保卓郎, 窪田和雄, 福士政広:4D-PET/CT イメージングにおける呼吸精度向上に関する検証.第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 3) 三本拓也, 砂岡史生, 南本亮吾, 新保卓郎, 窪田和雄, 福士政広:PSF 補正に基づく3次元PET画像の臨床的有効性.第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2013.4.
- 4) 森山ひとみ, 成田浩人, 大脇由樹, 井上一雅, 福士政広:塩化ストロンチウム(Sr-89)注射液に含有するストロンチウム-85による画像化に関する検討. 第67回日本放射線技術学会東京部会春季学術大会, 東京, 2013.5.
- 5) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:<sup>18</sup>F-FDG-PET/CTにおける画質評価法の検討, 第67回東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 6) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 第67回日本放射線技術学会東京部会春期学術大会, 東京,2013.5.
- 7) 依田隆史, 井上一雅, 福士政広:SPECT/PET 兼用装置を用いた基本性能評価:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 8) 前寺郁彦, 佐野亮介, 梶山皓子, 井上一雅, 福士政広:福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 9) 三浦沙紀, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広:福島第一原子力発電所事故における昆虫汚染調査:第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会, 東京, 2013.5.
- 10) 杉野雅人,後藤びおら,堀謙太,倉石政彦,河原田泰尋,梶山暁子,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の伊豆大島における地表ガンマ線線量率の変化. 第47回日本保健物理学会学術集会,千葉,2013.6.
- 11) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 乳癌基礎研究会, 津市,2013.7.

- 12) 加藤真一, 小川雅之, 小柏進, 寺西幸光, 延澤忠真, 今尾仁, 石田有治, 中谷儀一郎, 福士政広: 放射線に対する意識調査～第6報. 第7回日本診療放射線学教育学会学術集会, 東京, 2013.8.
- 13) 延澤忠真, 加藤真一, 小柏進, 小川雅之, 寺西幸光, 今尾仁, 中里一久, 中谷儀一郎, 福士政広: 個別学習におけるフリーソフト Anki の可能性: 第7回日本診療放射線学教育学会学術集会, 東京, 2013.8.
- 14) 延澤忠真, 加藤真一, 菅和雄, 小川雅之, 中里一久, 中谷儀一郎, 福士政広, 橋本光康: 東北自動車道における空間線量率測定: 第23回日本保健科学学会学術集会, 東京, 2013.10.
- 15) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅. 伊豆大島の環境放射線の推移: 第23回日本保健科学学術集会, 東京, 2013.10.
- 16) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅. 昆虫へ放射性セシウム汚染の調査: 第23回日本保健科学学術集会, 東京, 2013.10.
- 17) 井上一雅, 梅田泉, 福士政広, 藤井博史: I-125 標識化合物を用いたマウス脳画像 in vivo SPECT イメージング, 第53回日本核医学会学術総会, 福岡, 2013.10
- 18) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 竹内幸浩, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価指標の検討, 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 19) 大脇由樹, 成田浩人, 井上一雅, 福士政広:  $^{85}\text{Sr}$  放出ガンマ線を利用した  $^{89}\text{Sr}$  注射液のイメージングへの試み: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 20) 青木沙起, 津田啓介, 倉嶋汐里, 小山和也, 青柳俊, 岩下寛志, 根本幸一, 奥洋平, 武田篤也, 對間博之, 平山昭, 福士政広, 藤井博史: FDG-PET 検査における胸部結節性病変の頻呼吸下撮像法の検討: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 21) 倉嶋汐里, 津田啓介, 青木沙起, 小山和也, 青柳俊, 岩下寛志, 根本幸一, 奥洋平, 武田篤也, 對間博之, 平山昭, 福士政広, 藤井博史: FDG-PET 検査における胸部結節性病変の呼吸運動の影響を考慮した新たな定量値補正法の検討: 第33回日本核医学技術学会総会学術大会, 福岡, 2013.11.
- 22) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也. 放射線ラット乳癌における遺伝子変異の解析: 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動「個体レベルでのがん研究支援活動」ワークショップ, 千葉, 2014.2.

#### 研究助成

- 1) 平成25年度傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)研究課題: 福島第一原発事故の影響による小生物のセシウム汚染の調査研究
- 2) 平成25年度共同研究費, 医建エンジニアリング株式会社, 研究課題: 放射線防護素材に関する研究
- 3) 平成25年度共同研究費, エステー, 研究課題: 放射線に関する知識の普及と啓蒙の方法
- 4) 平成25年度調査委託費, 福島県のふくしま医療福祉機器開発事業補助金交付事業, 放射能汚染度モニター技術と内部被曝診断技術の開発研究
- 5) 創生ワールド株式会社, 創生水に混入する放射性物質の時系的变化に関する研究, 平成26年1月から平成27年3月

## 受賞等

- 1) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 優秀ポスター賞, Sr-89 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み, 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2013.
- 2) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 最優秀学生賞, 塩化ストロンチウム注射液中に含まれる Sr-85 の特性 X 線について, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013.

## 国内学会発表

- 1) Toru Negishi,Akihisa Shiraiishi,Hiroyuki Nagashima, Shinji Abe,You Kato,Izumi Ogura,Tsuyoshi Kobayashi:Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control, 日本放射線技術学会第69回総会学術大会抄録, 179,2013.
- 2) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹,齋藤祐樹:日常管理を目的とした簡易形X線出力計の検討, 日本放射線技術学会東京部会雑誌(124):23,2013.
- 3) 安部真治, 齋藤祐樹,根岸 徹,小倉 泉,加藤 洋, 清水優介:撮影・透視装置用非接続形X線測定器の評価, 日本放射線技術学会雑誌 69(9), 1024,2013.
- 4) 小倉 泉, 安部真治,根岸 徹, 齋藤祐樹:日常管理を目的としたクランプ管電流計の試作, 日本放射線技術学会雑誌 69(9), 1025,2013.
- 5) 小倉 泉, 安部真治,根岸 徹, 齋藤祐樹:東京都島しょ保健所における簡易測定器を用いたX線装置の日常管理, 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013 予稿集, 195,2013.
- 6) 山口達也,小倉 泉,乳井嘉之,安部真治,根岸 徹,篠田之孝:ヘリカルCT装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1),438,2013.
- 7) 山口達也,小倉 泉,乳井嘉之,安部真治,根岸 徹,篠田之孝:レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬実験システムの構築, 平成26年電気学会全国大会抄録集(1-010), 13,2014.
- 8) 五十嵐拓也, 根岸 徹, 伊藤由理恵, 岩下理穂, 鈴木友理, 津田秀一, 安部真治, 小倉 泉:半導体を用いたX線測定器の開発. 日本放射線技術学会関東・東京合同研究発表会 2013 予稿集:196, 2013.

## 研究助成

- 1) 小倉 泉:科学研究費補助金基盤研究(C),ヘリカルX線CT装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発(平成24~26年度)
- 2) 小倉 泉:荒川区地域産業活性化研究補助金,荒川区保健所におけるX線発生装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(平成25年度)
- 3) 小倉 泉:平成25年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分).島しょにおけるX線装置の日常管理を目的とした簡易測定器の開発と管理方法の確立

## その他

- 1) 小倉 泉:X線出力計の測定回路,日本放射線技術学会第69回総会学術大会入門講座7(計測), 2013.(講演)

## 著書

- 1) 安部真治, 神谷正巳, 北村善明, 宮崎 茂, 山本英明, 小綿ひろみ 編集: JIS ハンドブック 77 医用放射線 2013. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 2) 安部真治, 小田叙弘, 山田勝彦編集: 医用放射線辞典第5版. 共立出版, 東京, 2013.
- 3) 三好邦昌, 安部真治, 宮崎 茂, 他: JIS Z 4751-2-28 医用電気機器—第2-28部: 診断用X線管装置の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 4) 早乙女滋, 安部真治, 根岸 徹, 他: JIS Z 4751-2-28 医用電気機器—第2-45部: 乳房用X線装置及び乳房撮影定位装置の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項. 日本規格協会, 東京, 2013.
- 5) 幾瀬純一, 末永光八, 安部真治, 他: JIS T 61267 診断用X線装置—特性決定に用いる放射線条件. 日本規格協会, 東京, 2014.

## 総説・解説

- 1) 宮崎 茂, 安部真治, 他: 学術交流委員会報告 平成 24 年度標準化小委員会活動報告. 日本放射線技術学会雑誌, 69(4):464-473, 2013.
- 2) 安部真治: 第 68 回総会学術大会教育講演 非接続形 X 線測定器の測定について. 日本放射線技術学会雑誌, 69(5):560-567, 2013.
- 3) 安部真治, 宮崎 茂, 中澤康弘, 見本真一: 撮影・透視用X線装置—基礎安全及び基本性能: JIS Z 4751-2-54:2012. 日本放射線技術学会雑誌, 70(2):166-170, 2014.
- 4) 宮崎 茂, 安部真治, 今井宜雄, 他: 学術交流委員会報告 平成 25 年度標準化小委員会活動報告. 日本放射線技術学会雑誌, 70(3):298-307, 2014.

## 国内学会発表

- 1) Toru Negishi, Akihisa Shiraiishi, Hiroyuki Nagashima, Shinji Abe, Yo Kato, Izumi Ogura: Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:179, 2013.
- 2) 坪谷有華, 安部真治, 木島千智, 玉城美琴, 斎藤祐樹, 根岸 徹, 古畑 優: 一般撮影用非接続形X線測定器の検討. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:207, 2013.
- 3) 小林 剛, 小山智美, 安部真治, 根岸 徹: 自作ソフトウェアを用いた FPD 装置による造影マンモグラフィの基礎的検討. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集:239, 2013.
- 4) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形X線出力計の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:21, 2013.
- 5) 木島千智, 安部真治, 坪谷有華, 玉城美琴, 小林 剛, 根岸 徹, 古畑 優: 非接続形X線測定器による 1 shot 半価層測定 of 検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:22, 2013.
- 6) 玉城美琴, 安部真治, 木島千智, 坪谷有華, 根岸 徹, 小林 剛, 古畑 優: 乳房領域線量測定における測定配置の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 123:23, 2013.
- 7) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 簡易形X線出力計による日常管理方法の検討. 日本保健科学学会誌, 16 suppl(第 23 回日本保健科学学会学術集会抄録集):19, 2013.

- 8) 安部真治, 齋藤祐樹, 根岸 徹, 小倉 泉, 加藤 洋, 清水優介: 撮影・透視用非接続形X線測定器の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1024-1025, 2013.
- 9) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的としたクランプ管電流計の試作. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1025, 2013.
- 10) 椎葉公仁, 諸田智章, 小谷野裕也, 落合幸一郎, 宮園忠史, 浅野 宏, 安部真治: 直接接続形測定器による practical peak voltage ;PPV(加重平均ピーク電圧)の測定. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1071, 2013.
- 11) 小林 剛, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹, 土田拓治, 佐藤あゆみ, 木島千智: 乳房X線撮影領域における1shot半価層測定の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1072, 2013.
- 12) 土田拓治, 安部真治, 丸 武史, 城処洋輔, 志藤正和津, 富田博信: ファントム画像を用いたデジタルマンモグラフィ不変性試験について. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9)(第41回秋季学術大会一般発表予稿集):1098, 2013.
- 13) 小林 剛, 安部真治, 齋藤祐樹, 土田拓治, 根岸 徹, 佐藤あゆみ, 木島千智: 1shot 測定による平均乳腺線量算出の検討. 日本乳癌検診学会誌, 22(3):547, 2013.
- 14) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 東京島しょ保健所における簡易形測定器を用いたX線装置の日常管理. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表会 2013 予稿集:195,2013.
- 15) 五十嵐拓也, 根岸 徹, 伊藤由理恵, 岩下理穂, 鈴木友理, 津田秀一, 安部真治, 小倉 泉: 半導体を用いたX線測定器の開発. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表会 2013 予稿集: 196,2013.
- 16) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ヘリカル CT 装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1),438,2013.
- 17) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬実験システムの構築, 平成26年電気学会全国大会抄録集(1-010),13,2014.

#### 研究助成

- 1) 安部真治: 科学研究費補助金基盤研究(c), ヘリカルX線 CT 装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発(分担).
- 2) 安部真治: 平成 25 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分), 島しょにおけるX線装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(分担)
- 3) 安部真治: 平成 25 年度荒川区地域産業活性化研究助成金, 荒川区保健所におけるX線発生装置の日常管理を目的とした簡易形測定器の開発と管理方法の確立(分担)

#### その他

- 1) 安部真治: 標準化フォーラム 医用画像部門における品質保証と機器の標準化ー平成 24 年度に審議された JIS 原案と今後の動向について. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集: 112-113, 2013.4.13(総合司会)
- 2) 安部真治: 日本放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習会「一般撮影」(南関東地域) 2013.7.7(講演)

- 3) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常点検に用いるクランプ形管電流計の試作. 第 36 回 X線装置研究会緑陰講座. 2013.8.25.
- 4) 蛭川有佳里, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形 X 線出力計の検討, 日本放射線技術学会東京部会雑誌(124):23, 2013.
- 5) 木島千智, 安部真治, 坪谷有華, 玉城美琴, 小林 剛, 根岸 徹, 古畑 優: 非接続形X線測定器による乳房領域の 1 shot 半価層測定 of 検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 124:26, 2013.
- 6) 玉城美琴, 安部真治, 坪谷有華, 木島千智, 根岸 徹, 小林 剛, 古畑 優: 乳房領域線量測定における測定配置の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 124:28, 2013
- 7) 安部真治: 東京都立病院技師長主任会, 東京都立病院における診断用X線装置の精度管理技術の確立と支援(共同研究).

## 原著論文

- 1) Ryoichi N, Yukishige K, Kouji S, Makoto S, Yasushi A, Hidetoshi S, Hitoshi S: Experimental evaluations of head scatter factor calculation by use of a Gaussian function, Radiological Physics and Technology 7, 114-123, 2014.1
- 2) Shinsho K, Koba Y, Wakabayashi G, Tamatsu S, Fukuda S, Morimoto R, Maruyama D, Saitoh H, Sakurai N: Basic Characteristics of Tissue Equivalent Phantom Thermoluminescence Slab Dosimeter using New TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ , Radiation Measurements, 62C, 15-21, 2014. 3.

## 著書

- 1) 齋藤秀敏: 医用放射線辞典編集委員会編 医用放射線辞典第5版(放射線治療に関する408項目を担当), 共立出版, 東京, 2013.4.

## 国内学会発表

- 1) 齋藤秀敏: 標準測定法 01 から標準計測法 12 へ, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 2) 明上山温, 齋藤秀敏: 電子線モードによる EPID 画像の画質改善, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 3) 平井隆太, 河野良介, 松本真之介, 松原佳菜, 堀田健二, 松崎有華, 福原里恵, 志波晃子, 秋元哲夫, 齋藤秀敏: 陽子線治療における CT 値-線阻止能比変換テーブル作成のための Cone-BeamCT 用ファントムの評価, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 4) 丸山大樹, 鈴木英二, 眞正浄光, 齋藤秀敏: 熱蛍光スラブ線量計のサイバーナイフ照射中心位置検出への応用, 第 105 回日本医学物理学会学術大会, 2013.4
- 5) 齋藤秀敏: 医学物理士認定制度, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 6) 土屋子夏, 古谷智久, 橋本慎平, 片寄哲朗, 宮阪遼平, 齋藤秀敏: 水中に直接ガフクロミックフィルムを設置した吸収線量分布計測の検討, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 7) 矢島佳央理, 佐方周防, 片寄哲朗, 山下航, 高瀬信宏, 福村明史, 齋藤秀敏: 水吸収線量校正と照射線量校正による水吸収線量校正定数の比較, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 8) 明上山温, 齋藤秀敏: EPID Simulation using A Simple Monte Carlo Method, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 9) 明上山温, 針生将嗣, 齋藤秀敏: MVCBCT による高画質再構成の基礎検討, 第 106 回日本医学物理学会学術大会, 2013.9
- 10) 土屋子夏, 齋藤秀敏: ラジオクロミックフィルムから得られる絶対線量へ影響をもたらす因子の検討, 第 26 回日本放射線腫瘍学会学術大会, 2013.10

## 研究助成

- 1) 齋藤秀敏: 平成 25 年度がん研究開発費助成金, 医学物理士の教育(代表研究者: 国立がんセンター 伊丹純)(分担研究者)
- 2) 齋藤秀敏: 平成 25 年度文部科学省科学研究費助成金(基盤 C), 断照射位置・投与線量検証を

可能にする多方向ガンマカメラシステムに関する研究(代表研究者)

- 3) 齋藤秀敏：平成 25 年度傾斜的研究費(部局分), 水吸収線量計測体制移行による治療線量の不確かさ評価に関する研究(代表研究者)

## 原著論文

- 1) Vo Nguyen Trung, Hiroshi Yamamoto1, Akira Furukawa, Tsuyoshi Yamaguchi, Satoshi Murata, Masahiro Yoshimura, Yoko Murakami, Shigetaka Sato, Hideji Otani, Satoshi Ugi, Katsutarō Morino, Hiroshi Maegawa, Tohru Tani. Enhanced Intestinal Motility during Oral Glucose Tolerance Test after Laparoscopic Sleeve Gastrectomy: Preliminary Results Using Cine Magnetic Resonance Imaging. PLOS ONE | www.plosone.org, June 2013 | Volume 8 | Issue 6 | e65739
- 2) 井上明星, 古川 顕, 金崎周造, 山崎道夫, 大田信一, 村田喜代史. 消化管出血 救急診療におけるCT/MRIとIVR 救急医学 37(10):1225-1230 2013.9

## 総説

- 1) 古川 顕, 山崎道夫, 金崎周造, 他. MRIによる消化管診断. 画像診断 29:212-223, 2013.
- 2) 井上明星, 古川 顕: Crohn病 第3章 腹部画像で見逃しやすい, 見逃さない! 救急CTの読み方 急性腹症や頭部疾患などで誰もが悩む症例から学ぶ 増刊レジデントノート 15(17):182-187 早川克己編 羊土社 2014.2 東京
- 3) 佐藤滋高, 古川 顕: 16. 気腫性腎盂腎炎 第3章 腹部画像で見逃しやすい, 見逃さない! 救急CTの読み方 急性腹症や頭部疾患などで誰もが悩む症例から学ぶ 増刊レジデントノート 15(17):188-193 早川克己編 羊土社 2014.2 東京

## 国際学会発表

- 1) Akira Furukawa, Akitoshi Inoue, Shuzo Kanasaki, Makoto Wakamiya, Katsumi Hayakawa, Shigeru Furui, Michio Yamasaki, Shigetaka Sato, Shinichi Ota, Naoaki Kono, Kiyoshi Murata, Yen-Wei Chen, Natsuko Hayashi, Tomohiro Hirose, Tsutomu Sakamoto. CT Diagnosis of Inflammatory Conditions at Lower Gastrointestinal (GI) Tract. RSNA: Chicago, Illinois, USA
- 2) 古川 顕: Japan-Cho Ray Hospital Radiology Symposium. Diagnosis and Management for Acute Gastrointestinal Bleeding. 3月21日: ホーチミン, ベトナム
- 3) 古川 顕: 11月23日: Diagnosis of Acute GI Bleeding. 上海, 中国

## 国内学会発表

- 1) 井上明星, 山崎道夫, 板橋健太郎, 濱中訓生, 井本勝治, 坂本力, 高橋雅士, 村田喜代史, 古川 顕, 石川祐一. Risk management and complication of central venous catheter. (中心静脈カテーテルの合併症とリスクマネジメント) 第72回日本医学放射線学会総会 2013.4.11-14
- 2) 大田信一, 友澤裕樹, 渡辺尚武, 佐藤滋高, 白波瀬歩, 岬沙耶香, 新田哲久, 高橋雅士, 村田喜代史, 古川 顕. CT findings after medical therapy in autoimmune pancreatitis (自己免疫性膵炎: 薬物治療開始後のCT所見の検討). 第72回日本医学放射線学会総会 2013.4.11-14
- 3) 古川 顕: 第173回滋賀肝・胆・膵勉強会 2013.4.25 草津市. 「脾外傷と治療の選択についてのエッセンス」
- 4) 古川 顕: 第9回前期臨床研修医のための画像診断セミナー 2013.6.9 西宮市 放射線科専門医会・医会: 大会長

- 5) 古川 顕:右下腹部痛の画像診断. 10月19日:画像講演会 沖縄
- 6) 井上明星, 北原均, 大田信一, 高橋雅士, 村田喜代史, 濱中訓生, 板橋健太郎, 井本勝治, 山崎道夫, 坂本力, 市場文功, 青木悦夫, 結城健生, 小林久人(放:大津赤十字), 古川顕, 左上腹部腫瘍の画像診断
- 7) 古川 顕:Emergency Radiology in GI Tract:筑紫画像セミナー 10月25日:久留米
- 8) 古川 顕:北近畿画像研究会 Bowel imaging: Emergent condition,and so on.11月2日:福知山
- 9) 古川 顕:1月26日:放射線技術学会:ランチョンセミナー:ベトナム放射線科実態
- 10) 古川 顕:第50回日本腹部救急医学会総会 2014.3.6-7 東京. フィルムインタープリテーション
- 11) 山崎道夫, 井本勝治, 濱中訓生, 板橋健太郎, 坂本力, 古川顕. 急性虫垂炎とその鑑別に必要な画像診断の基本と現状. 第50回日本腹部救急医学会総会 2014.3.6-7 東京.
- 12) 古川 顕: Journal Thumb Through Club: 救急放射線画像の最近の話 第74回救急放射線画像研究会 2014.3.14 京都市.
- 13) 古川 顕:テーマレクチャー「腹部救急疾患の画像診断」第74回救急放射線画像研究会 2014.3.14 京都市.
- 14) 古川 顕:講演:腸管のCT画像, MR画像. 第17回関西 Radiology Updatee 講演会 2014.3.15 大阪市.

#### 研究助成

- 1) 学術研究助成基金助成金:基盤研究(C) 課題番号 25461839 (研究代表者)(平成25-27年)高速核磁気共鳴シネ画像を用いた腸管せん動運動機能評価の臨床応用
- 2) 科学研究費補助金:基盤研究(C)課題番号 22591328 (研究代表者)(平成22-24年)高速核磁気共鳴画像を用いた腸管蠕動運動の定量解析および腸管機能診断への臨床応用
- 3) 科学研究費補助金:基盤研究(B):課題番号: 21300070 (研究分担者)
- 4) 一般化N次元PCAに基づく人体臓器の統計ボリュームモデリングと診断支援への応用
- 5) H24-H25 新学術領域「計算解剖学」公募研究 (連携研究者)研究題名:多重線形代数を基盤とする多次元データ統計解析と計算解剖学への応用
- 6) H24-H25 新学術領域「計算解剖学」公募研究 (連携研究者)研究題名:統計ボリュームモデルに基づく慢性肝疾患の経時進行度に関する形態定量評価

## 原著論文

- 1) Shinoura N, Midorikawa A, T Onodera, M Tsukada, Yamada R, Tabei Y, Shiode T, Itoi C, Saito S, Yagi K. Damage to the left ventral, arcuate fasciculus and superior longitudinal fasciculus-related pathways induces deficits in object naming, phonological language function and writing, respectively. *Int J Neurosci* 123(7), 494-502, 2013.
- 2) Shinoura N, Midorikawa A, Yamada R, Hana T, Saito A, Hiromitsu K, Itoi C, Saito S, Yagi K. Awake craniotomy for brain lesions within and near the primary motor area: A retrospective analysis of factors associated with worsened paresis in 102 consecutive patients. *Surg Neurol Int.* 2013 Nov 22;4:149.
- 3) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Sound source measurement of magnetic resonance imaging acoustical noise for feedforward active noise control system, International Congress on Acoustics, Montreal, Canada, Proc. of Meetings on Acoustics, 1pSPc24, 6 pages, June 3, 2013.
- 4) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Effect of an active noise control system on acoustical noise during magnetic resonance imaging diagnosis; the 42nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, Innsbruck, Austria, Proc. of InterNoise, 1224, 6 pages, September 15-18, 2013.

## 国際学会発表

- 1) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Sound source measurement of magnetic resonance imaging acoustical noise for feedforward active noise control system, International Congress on Acoustics, Montreal, Canada, Proc. of Meetings on Acoustics, 1pSPc24, 6 pages, June 3, 2013.
- 2) Shohei Nakayama, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Guoyue Chen: Effect of an active noise control system on acoustical noise during magnetic resonance imaging diagnosis; the 42nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, Innsbruck, Austria, Proc. of InterNoise, 1224, 6 pages, September 15-18, 2013.
- 3) Takayuki Suga, Kenji Muto, Kazuo Yagi, Toshiyuki Onodera, Yoshihiro Nakata, Kikuo Asai, Kimio Kondo: Detection effects by thumbnail image in a medical image support system using transmitting delay path of satellite communication; The 18th ISfTeH (International Society for Telemedicine and eHealth) International Conference in Japan, Takamatsu, Kohchi, Japan, Proc. of ISfTeH, IGS-214-2, p.97, October 19, 2013.
- 4) K. Yagi, N. Yazu, Y Hatate, H. Hoshino, S. Sugimoto, M. Kubo and T. Inaba: The design of liposome types comsite of the magnetic fluid coated with saccharides in which used compoud of PEG-chondroitin sulfate; The 2013 ICANM Annual Conference (International Conference & Exhibition on Advanced & Nano Materials, 2013), Laval University, Quebec City, Canada, pp-26, August 11-14, 2013.
- 5) Kazuo Yagi, Keigo Hikishima, Toshiyuki Onodera, Ryo Takaki, Junichi Hata: The analysis of q-space imaginges(mean displacement, zero-displacement, kurtosis) by new MR q-space sequences; International Conference on Radiology and Imaging.; 2013. Radiology, August 14-16, 2013, International Conference, Conference venue is Holiday Inn, Chicago North Shore Skokie Banquet & Conference Center.

## 国内学会発表

- 1) 小野寺聡之, 八木一夫, 上田優史, 徳山武一, 高平義之, 七尾 円, 山田裕輔: O変位確立密度における撮像条件の検討; 第69回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p199, 2013.4

- 2) 七尾 円, 八木一夫, 小野寺聡之, 上田優史, 坂口雄太, 栗本直幸: PNIPAAm 系ゲルの材料設計における ADC の変化; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 3) 上田優史, 八木一夫, 小野寺聡之, 七尾 円, 高平義之: PNIPAAm 系ゲルファントムを用いた mean displacement と EPMA 観察; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 4) 小野寺聡之, 八木一夫, 高平義之, 上田優史, 徳山武一, 山田裕輔, 七尾 円: q-space 平均変位画像における装置間差の検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p200, 2013.4
- 5) 橋本佳祐, 八木一夫, 小野寺聡之, 山崎雅史: 脳画像統計解析における模擬病変を用いた Cost Function Masking : CFM の精度検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p231, 2013.4
- 6) 山崎雅史, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 新川翔太, 渡邊尊仁, 丹 綾香: 脳外科領域における Fmri の賦活部位を seed point に用いた tractography の精度に関する検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p233, 2013.4
- 7) 新川翔太, 八木一夫, 畑 純一, 遠藤和樹, 山崎雅史, 渡邊尊仁: MR tractography を用いた固有筋力値算出法の提示; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p233, 2013.4
- 8) 渡邊尊仁, 八木一夫, 荒川裕貴, 上田優史, 山崎雅史, 新川翔太: 左心室心筋壁の時相変化による短軸像の中隔両端と中心点を結ぶ角と外周長の相関; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p255, 2013.4
- 9) 遠藤和樹, 八木一夫, 畑 純一, 新川翔太: T2 値 FA 値 ADC 値を用いた下腿部骨格筋の疲労と回復における T1 値の変化の検討; 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 予稿集 66th, p299, 2013.4
- 10) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 小野寺聡之, 仲田佳広: 遅延伝送路が高精細モニタのサムネイル画像サイズに与える影響; 日本人間工学会大会第 54 回大会, IE2-3, PP.200-201, 2013.6.
- 11) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 小野寺聡之, 仲田佳広: 災害時遠隔画像診断システムにおけるサムネイル画像サイズに画面解像度が与える影響; 日本交通科学学会学術講演会, G4-4, pp.100-101, 2013.6.
- 12) 菅貴之, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 伝送速度が高精細モニタのサムネイル画像サイズの表示に与える影響; 平成 25 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2-E-11, 1 page, 2013.8.
- 13) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: 参照マイクロホンの位置変化による MRI 検査用の ANC システムの低減効果; 平成 25 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2-C-12, 1 page, 2013.8.
- 14) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: MRI 検査のための Feedforwad 型 ANC システムの効果; 2013 年日本音響学会秋季研究発表会講演論文集, 3-Q-10, pp.811-812, 2013.9.
- 15) 八木一夫, 上田優史, 七尾 円, 栗本直幸, 原 多恵子, 清水雄平, 小野寺聡之, : PNIPAAm 系ゲルを QSI 用ファントムとした材料設計と EPMA-SEM 観察および QSI-平均変位画像の相関評価; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p306, 2013.9
- 16) 八木一夫, 七尾 円, 上田優史, 小野寺聡之, 栗本直幸: PNIPAAm-PHEMA 系ゲルの重合合成と力学試験法および NMR 緩和法による材料特性評価 (T1, T2); 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p317, 2013.9
- 17) 八木一夫, 矢頭由祐, 羽立雄一, 星野弘樹, 杉本聖一, 久保雅敬, 稲葉忠司: PEG 型ナノコロイド複合体の材料設計とその複合合成による NMR 解析; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33,

p318, 2013.9

- 18) 畑 純一, 鈴木雄一, 国松 聡, 桂 正樹, 佐々木弘喜, 増谷佳孝, 八木一夫, 矢野敬一: 拡散時間設定による q-space 解析値の特性評価; 日本磁気共鳴医学会 (JSMRM), vol.33, p362, 2013.9
- 19) 丹 綾香, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 山崎雅史: 脳の左右の神経線維の類似性の検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p341, 2013.9.
- 20) 小野寺聡之, 八木一夫, 橋本佳祐, 山崎雅史, 丹 綾香: RESOLVE を用いた高分解能による q-space imaging; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p343, 2013.9.
- 21) 小野寺聡之, 八木一夫, 橋本佳祐, 山崎雅史, 丹 綾香: ナビゲーションシステム導入を目的とした RESOLVE による DTT の検討; 日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p344, 2013.9.
- 22) 山崎雅史, 八木一夫, 小野寺聡之, 橋本佳祐, 丹 綾香: b-value による tractography の変化の検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会 (JSMRM), vol.33, p344, 2013.9.
- 23) 藤吉兼浩, 疋島啓吾, 中原 仁, 許斐恒彦, 辻 収彦, 小牧裕司, 山田雅之, 百島裕貴, 八木一夫, 鈴木則宏, 岡野栄之, 戸山芳昭, 中村雅也: 多発性硬化症における clinico-radiological paradox の解明; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p370, 2013.9.
- 24) 鈴木亮祐, 八木一夫, 荒川裕貴, 渡邊尊仁: 心周期に伴う心臓長軸断面面積解析; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p378, 2013.9.
- 25) 渡邊尊仁, 八木一夫, 荒川裕貴, 上田優史, 鈴木亮祐: 左心室短軸像における中心角の微分と 2 回微分による変曲点の同定評価; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p379, 2013.9.
- 26) 新川翔太, 八木一夫, 畑 純一, 遠藤和樹: Simpson法を用いた前脛骨筋体積算出法の検討; 第41回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p404, 2013.9
- 27) 遠藤和樹, 八木一夫, 矢野敬一, 畑 純一, 新川翔太: A 疲労時の下腿部骨格筋の回復過程における T1 値と他物性値の比較・検討; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p405, 2013.9.
- 28) 佐藤正和, 八木一夫, 畑 純一: 複数反転 RF Pulse 印可による信号抑制効果のシーケンスシミュレーション; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p441, 2013.9.
- 29) 矢野竜太郎, 疋島啓吾, 安藤 潔, 小牧裕司, 川井健司, 井上貴史, 山田雅之, 伊藤豊志雄, 八木一夫, 百島裕貴, 岡野ジェイムス洋尚, 岡野栄之: 黒質線条体の可視化～MPTP パーキンソンモデルにおける検証～; 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM), vol.33, p456, 2013.9.
- 30) 竹川善博, 八木一夫, 稲葉忠司: BS-HAp 複合材料の積層化による力学的特性評価; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会. オーガナイズドセッション 5, 高分子材料の構造と物性, [高分子液体のレオロジー] vol.57, 2013. 11.
- 31) 星野弘樹, 八木一夫, 杉本聖一, 稲葉忠司: 糖被膜型磁性流体の PEG 化による磁気特性の評価; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会. [ゲル・ネットワーク] vol.57, 2013.11.
- 32) 栗本直幸, 八木一夫, 稲葉忠司: PNIPAAm 系ハイドロゲルの HEMA 添加が材料特性に及ぼす影響; 第 57 回日本学会材料工学連合講演会, vol.57, 2013.11.
- 33) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: サムネイル画像表示に姿勢の固定が与える影響; 日本人間工学会大会 関東支部第 43 大会, 40416-3, pp.150-151, 2013.12.
- 34) 長田涼佑, 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫: MRI 検査用ピエゾヘッドホンの製作; 電子情報通信学会 東京支部学生大会講演論文集, 8, p.8, 2014.3.
- 35) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 伝送遅延時間がサムネイル画像表示における画像検出に与える影響; 電子情報通信学会 東京支部学生大会講演論文集, 159,

p.159, 2014.3.

- 36) 中山翔平, 武藤憲司, 八木一夫, 陳国躍: MRI 検査用 Feedforward 型 ANC システムの参照マイクロホンの位置の検証; 2014 年日本音響学会春季研究発表会講演論文集, 2-1-8, pp.687-688, 2014.3.
- 37) 武藤憲司, 中山翔平, 八木一夫, 渡邊尊仁, 陳国躍: 相関関数を用いたMRI駆動音源の推定について; 2014 年電子情報通信学会総合大会 基礎・境界講演論文集, A-10-7, p.148, 2014.3.
- 38) 菅貴之, 倉田浩司, 武藤憲司, 八木一夫, 浅井紀久夫, 近藤喜美夫: 視距離がサムネイル画像の検出に与える影響; 2014 年電子情報通信学会総合大会 情報・システム講演論文集2, D-11-15, p.15, 2014.3.
- 39) 水谷大地, 八木一夫, 稲葉 忠司, 杉本 聖一: PEG 型糖被膜型 Zn-FeO·Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 磁性流体の粒子径観察; 日本機械学会東海支部学生会第 45 回学生員卒業研究発表講演会 2014.3.17.
- 40) 池田 篤哉, 八木一夫, 稲葉 忠司, 杉本 聖一: 低温複合によるPNIPAAmハイドロゲルの力学的特性評価; 日本機械学会東海支部学生会第 45 回学生員卒業研究発表講演会 2014.3.17.
- 41) 高野邦彦, 若林良二, 高崎和之, 高橋義典, 鈴木 弘, 八木一夫, 浅井紀久夫, 佐藤甲癸: 被災地支援に向けた映像の水中伝送に関する基礎検討; 2014 年電子情報通信学会総合大会講演論文集, D-11-61, 2014.3.20.

#### 研究助成

- 1) 平成 25 年度, 科学研究費補助金, 基盤 C, 研究代表者, 八木一夫, 研究課題番号 23591785, 研究題名 MRI-QSI 法開発によるシーケンス最適化と多面体構造解析の研究, 平成 25 年度交付金 900,000 円, 高大連携研究 350,000 円
- 2) 健康福祉学部傾斜研究費 260 万円, 研究代表者, 八木一夫, 衛星(WINDS)を利用した災害遠隔医療の研究

#### その他

- 1) 日本保健科学学会, 平成 25 年度第 23 回 日本保健科学学会学術集会, 公開シンポジウム「生きる力をつなぐ」診療放射線技師の立場から, シンポジスト, 八木一夫: 首都大学東京・健康福祉学部・放射線学科
- 2) 平成 25 年度日本磁気共鳴医学会「q-space imaging 研究会」の開催, 代表世話人, 八木一夫 日時 9 月 19 日 17:00~18:30, 場所: アスティ徳島(徳島市山城町東浜傍示 1 番地 1) 会議場, 2F(第 4 会場)

## 原著論文

- 1) Xiaoguang Lu, Hiroki Ohtani: The research of respiratory movement induced hepatic tumor motion in radiotherapy by use of a cone-beam CT under the fluoroscopic mode. The Journal of Japan Academy of Health Sciences, Vol.16 No.3, 133-139, 2013

## 研究報告書

- 1) 大谷浩樹:「農業用導水路における除染のためのホタテブロックの開発と実証試験」報告書 新技術開発財団 復興支援特定研究助成 2012, 2013
- 2) 大谷浩樹:「環境汚染物質に対する浸透遮蔽石の開発」報告書 平成25年度荒川区地域産業活性化研究補助金 2014

## 国際学会発表(抄録, proceeding 等)

- 1) Hiroki Ohtani, Takahiro Hirayama, Xiaoguang Lu : The development and the quality assessment of the dose rate measurement carry in earth surface. 7<sup>th</sup> International Symposium on Naturally Occurring Radioactive Material. 2013
- 2) Hiroki Ohtani, Xiaoguang Lu, Noriaki Shiratori : Decontamination of the water for agricultural use using a scallop. The3rd Asian Congress of Radiation Research (ACRR). 2013
- 3) Hiroki Ohtani: Cultivation for Radiological Technologist in Japan, International RT Curriculum Forum 2013
- 4) Hiroki Ohtani, Xiaoguang Lu, Fan Li: Decontamination of Radiocesium Contaminated Soil Using Electrokinetic Remediation Technology, 13<sup>th</sup> Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP2013) PG-53, P.64 12-14 2013
- 5) Hiroki Ohtani, Hirona Takagi, Daisuke Horikawa, Hyuma Hamada: Decontamination using the scallop block to the radioactive cesium contaminated water by the accident of the Fukushima nuclear power plant. European Congress of Radiology (ECR2014) 2014

## 国内学会発表

- 1) 大谷浩樹, 盧 暁光, 高木優奈, 春日沙織, 横田知里: 医用放射線防護クリームの開発 日本放射線技術学会 第69回総会学術大会 227, 2013
- 2) 大谷浩樹, 高木優奈, 白取則明: ホタテ貝殻を用いた里山からの支流の除染, 東京都立産業技術研究センター 研究成果発表会 要旨集 83, 2013
- 3) 大谷浩樹, 盧 暁光, 高木優奈: ホタテ貝殻を用いた農業用水の除染研究, 第50回アイトープ・放射線研究発表会 要旨集 182, 2013
- 4) 大谷浩樹: 子育てを支える心理放射能学のすすめ, 第5回施策提案発表会 2013
- 5) Hiroki Ohtani, Takahiro Hirayama, Xiaoguang Lu, Hirona Takagi: Development of the shield for radiation survey meter. 第106回日本医学物理学学会学術大会 医学物理 Vol.33 Sup.3, P.120 2013
- 6) 大谷浩樹, 高木優奈, 山口友花里, 木下麻友子, 津村 奎: 放射能環境を生きていく心と知識, 第23回日本保健科学学会学術集会 Vol.16 Suppl p.20, 2013
- 7) 大谷浩樹, 高木優奈, 盧 暁光: 医療福祉のための心理放射能学の構想, 日本放射線技術学会

研究助成

- 1) 大谷浩樹:平成 25 年度荒川区地域産業活性化研究補助金, 環境汚染物質に対する浸透遮蔽石の開発

その他

- 1) 大谷浩樹:文部科学省技術審査会「放射線等に関する学習用機器(簡易放射線測定器)の貸出」審査員 2013
- 2) 大谷浩樹:文部科学省初等中等教育局「放射線に関する出前授業及び教育職員セミナー実施事業審査委員会」審査員 2013
- 3) 大谷浩樹:放射線・放射能の基礎知識 ひたちなか市 二中学地域の輪をつくる会(環境部会)教育講話, 2013
- 4) 大谷浩樹, 清水 悟, 石村忠昭:特許公開「放射線遮蔽塗布材」, 特開 2013-253798, 2013
- 5) 大谷浩樹:放射線について考えてみよう, 文部科学省委託事業「放射線に関する出前授業」講師昭島市立拝島第三小学校 5 年生 2014
- 6) 大谷浩樹, 平山貴浩:特許公開「地中放射線量の計測方法及び地中放射線量計測補助具」特開 2014-010088, 2014
- 7) 大谷浩樹:放射線について考えてみよう, 文部科学省委託事業「放射線に関する出前授業」講師八王子市立中山中学校 3 年生
- 8) 大谷浩樹:文部科学省委員「学校における放射線教育支援事業審査委員会」審査員 2014

## 原著論文

- 1) 庄司友和, 樋口壮典, 飯田哲也, 稲垣公俊, 加藤洋: Dual Source CTを用いた冠状動脈造影 CTにおける使用基準の有用性 心電同期高速二重螺旋スキャンと螺旋スキャン, 非螺旋スキャンの被ばく線量比較: 日本放射線技術学会雑誌, 69(3), 257-263, 2013.

## 国内学会発表

- 1) T Negishi, A Shiraishi, H Nagashima, S Abe, Y Katoh, I Ogura: Evaluation of average glandular dose at full automatic exposure control. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会, 抄録集 179, 2013.
- 2) 安部真治, 斎藤佑樹, 根岸徹, 小倉泉, 加藤洋, 清水優介: 撮影・透視装置用非接続形 X 線測定器の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9), 1024, 2013.
- 3) 落合幸一郎, 椎葉公仁, 今井宣雄, 中村浩章, 加藤洋, 小倉泉, 根岸徹, 三宅博之: 非接続形測定器による practical peak voltage: PPV(加重平均ピーク電圧)の測定. 日本放射線技術学会雑誌, 69(9), 1071, 2013.
- 4) 長倉健司, 庄司友和, 飯嶋恵, 柴田公望, 加藤洋: オーバースキャンニングに対する Z 軸コリメータの被ばく低減効果の検討. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 123, 2013.
- 5) 庄司友和, 飯嶋恵, 長倉健司, 柴田公望, 加藤洋: 多機能 X 線アナライザーを用いた CT 装置の線量プロフィール. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 124, 2013.
- 6) 飯嶋恵, 庄司友和, 長倉健司, 柴田公望, 加藤洋: 多機能 X 線アナライザーを用いた Variable Helical Pitch の評価. 日本放射線技術学会関東・東京部会合同研究発表大会 2013, 抄録集 125, 2013.

## 研究助成

- 1) 中生勝美, 加藤洋, 中村衛, 渡辺修一郎, 長田久雄: 平成 24 年度科研費(挑戦的萌芽研究), 台湾離島に來襲した大津波の検証と低レベル放射線の生態系への影響.
- 2) 中生勝美, 加藤洋: 平成 25 年度東北大学東北アジア研究センター公募型共同研究, 福島原発事故による環境汚染に対する集落単位の除染活動と台湾離島の核廃棄物貯蔵場の完全管理.

## その他

- 1) 加藤洋: 放射線計測の理論4-検定と推計-. 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会予稿集, 99, 2013.
- 2) 加藤洋: 食品汚染の評価. 第 41 回日本放射線技術学会秋季学術大会予稿集, 132-133, 2013.
- 3) 中生勝美, 加藤洋: 福島原発事故による環境汚染に対する集落単位の除染活動と台湾離島の核廃棄物貯蔵場の完全管理. 東北アジア研究センター研究成果報告会, 2014.

学術論文
------

- 1) Kiyomitsu Shinsho, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda, Ryo Morimoto, Daiki Maruyama, Hidetoshi Saitoh and Noboru Sakurai “Basic Characteristics of Tissue Equivalent Phantom Thermoluminescence Slab Dosimeter using New TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ ” Radiation Measurements, Vol 62C, No. , 2014, pp 15 - 21
- 2) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Genichiro Wakabayashi, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda “Response of a Plate-type Thermoluminescence Dosimeter to a Therapeutic Carbon Beam” , Journal of the Korean Physical Society, Vol. 63, No. 7, October 2013, pp. 1432-1436
- 3) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 櫻井昇, 若林源一郎, 福田茂一「熱ルミネッセンススラブ線量計」, 医学物理, 33 卷 3 号 pp.137-144
- 4) 眞正浄光, 「“熱蛍光体による放射線イメージング” = 放射線治療計画の検証から環境放射線測定まで」, 光アライアンス, 24(6), 26-30, 2013-06

研究報告書
-------

- 1) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一:平成 24 年度放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書「組織等価 3 次元熱ルミネッセンス線量計の重粒子線に対する特性の研究」平成 25 年 4 月
- 2) 眞正浄光, 櫻井 昇, 永川栄泰, 河原大吾:平成 24 年度都市課題解決のための共同研究成果報告書「放射線イメージングデバイスの開発」, 平成 25 年 4 月
- 3) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 芳原新也:平成24年度近畿大学原子炉等利用共同研究経過報告書「熱蛍光体を利用した中性子イメージングデバイスの開発」, p71-75, 平成25年9月

国際学会発表等
---------

- 1) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Satoshi Tamatsu, Shigekazu Fukuda, Genichiro Wakabayashi “Evaluation of base materials of TL slab Dosimeter for heavy-ion radiotherapy” Heavy Ion in Therapy and Space Radiation Symposium 2013 (HITSRS2013), Chiba, Japan, 2013., May15-18
- 2) Y. Koba, K. Shinsho, S. Tamatsu, S. Fukuda, G. Wakabayashi ” LET Dependence of Glow Curve of TL phosphor  $\text{Li}_3\text{B}_7\text{O}_{12}:\text{Cu}$ ” Neutron and Ion Dosimetry Symposium (NEUDOS12), Aix-en-Provence, France, 2013
- 3) Daiki Maruyama, Kiyomitsu Shinsho, Noboru Sakurai, and Hidetoshi Saitoh, “Feasibility study of thermoluminescence slab for CyberKnife beam alignment test”, International conference of Medical Physics, Brighton, United Kingdom, Sep.1-4, 2013,

国内学会発表等
---------

- 1) 丸山大樹, 眞正浄光, 櫻井昇, 漆山秋雄, 齋藤秀敏, 「熱蛍光スラブ線量計のサイバーナイフ照射中心位置検出への応用」, 第 105 回日本医学物理学会, 2013 年 4 月
- 2) 玉津早駿, 古場裕介, 眞正浄光, 福田茂一, 「組織等価ファントム熱蛍光線量計のグロー曲線の LET

- 依存性」, 第 105 回日本医学物理学会, 2013 年 4 月
- 3) 眞正浄光, 「熱蛍光スラブ線量計による高精度放射線治療計画の 3 次元検証システムの開発とその応用」, 平成 25 年度 都市科学連携機構 第 5 回施策提案発表会, 2013 年 7 月
  - 4) 玉津 早駿, 古場 裕介, 眞正 浄光, 福田 茂一, 「組織等価ファントム熱蛍光線量計(TEP-TLD)のグロー曲線の LET 依存性」第 106 回日本医学物理学会, 2013 年 9 月
  - 5) 玉津 早駿, 古場 裕介, 眞正 浄光, 福田 茂一, 「精密熱蛍光解析によるグロー曲線の LET 依存性に関する研究」第 74 回応用物理学会秋季学術講演会, 2013 年 9 月
  - 6) 古場裕介, 藤原健, 眞正浄光, 「重粒子線治療における線量分布測定のための検出器開発について」, 第 28 回「放射線検出器とその応用」研究会, 2014 年 1 月
  - 7) 小川剛史, 叶井絵梨, 山下良樹, 神野郁夫, 眞正浄光, 大高雅彦, 橋本周, 荒邦章, 尾鍋秀明, 「熱ルミネッセンス板を用いたエネルギー分解コンピューター断層撮影に関する検討」, 第 28 回「放射線検出器とその応用」研究会, 2014 年 1 月
  - 8) 眞正浄光, 大島梨奈, 古場裕介, 若林源一郎, 川路康之, 福士政広, 「市販セラミックスの熱蛍光特性による放射線イメージング」第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月
  - 9) 柳澤 伸, 眞正 浄光, 古場裕介, 櫻井昇, 「軽量セラミックスによる組織等価熱蛍光スラブ線量計の検討」, 第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月
  - 10) 小川剛史, 山下良樹, 神野郁夫, 眞正浄光, 大高雅彦, 橋本 周, 荒 邦章, 尾鍋秀明, 「平板放射線検出器を用いたエネルギー分解 X 線コンピューター断層撮影法の開発」第 61 回応用物理学会春季学術講演会, 2014 年 3 月

#### 研究助成

- 1) 眞正浄光: 都市課題解決のための技術開発プロジェクト「放射線イメージングデバイスの開発」(代表者)
- 2) 眞正浄光: 科研費 基盤 C「板状熱蛍光線量計による新しい中性子オートラジオグラフィ法の開発」(代表者)
- 3) 眞正浄光: スタートアップ調査「福島県における樹木中および地面の放射性物質流動経路探索システムの構築」(代表者)
- 4) 眞正浄光: 受託研究費「セラミックスの熱蛍光特性を利用した放射線イメージングデバイスの開発」(代表者)
- 5) 眞正浄光: 受託研究費「熱蛍光スラブ線量計自動測定装置の臨床応用に関する研究」(代表者)

#### 招待講演等

- 1) 眞正浄光, 「熱蛍光体による放射線イメージングシステムの現状と展望」第 105 回日本医学物理学会シンポジウム, 2013 年 4 月
- 2) 眞正浄光, 「セラミックスによる高分解能放射線イメージング技術」BIOTECH2013, 2013 年 5 月
- 3) 眞正浄光, 「熱ルミネッセンス現象を用いた放射線計測」日本学術振興会「放射線科学とその応用第 186 委員会」, 2013 年 5 月
- 4) 眞正浄光, 「“熱蛍光スラブ線量計”開発までの道のり」第 7 回日本診療放射線学技師教育学会, 2013 年 5 月
- 5) 眞正浄光, 櫻井 昇, 永川栄泰, 河原大吾, 「放射線イメージングデバイスの開発」, 産業交流展, 2013 年 10 月

特許

- 1) 発明者：真正浄光，発明の名称：熱蛍光体，及び熱蛍光放射線検出デバイス，特願 2014- 38797

## 原著論文

- 1) Minoru MITSUDA, Masayuki YAMAGUCHI, Ryutaro NAKAGAMI, Toshihiro FURUTA, Norio SEKINE, Mamoru NIITSU, Noriyuki MORIYAMA and Hirofumi FUJII : Intensity Correction Method Customized for Multi-animal Abdominal MR Imaging with 3T Clinical Scanner and Multi-Array Coil, Magnetic Resonance in Medical Sciences, Vol.12, No.2,p.95-103, 2013.
- 2) Masayuki YAMAGUCHI, Minoru MITSUDA, Kenji EZAWA, Ryutaro NAKAGAMI, Toshihiro FURUTA, Norio SEKINE, Mamoru NIITSU and Hirofumi FUJII : Artifact-Reduced Simultaneous MRI of Multiple Rats With Liver Cancer Using PROPELLER, JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING, 38,p.225-230, 2013.

## 研究助成

- 1) 関根紀夫: 高エネルギー加速器研究機構放射光共同利用実験採択, 課題番号 2012G773「X線位相コントラスト法による肝臓灌流機能に関する研究」(実験責任者)

## 原著論文

- 1) 松田 雅弘, 新田 收, 妹尾 淳史, 白谷 智子, 渡邊 修: 健常高齢者に対する健康指導によるストレス刺激時の脳内活動の経時的変化について 機能的 MRI による分析健康医科学研究助成論文集 29 号 Page47-57(2014.03)
- 2) Kasahara K, Tanaka S, Hanakawa T, Senoo A, Honda M.: Lateralization of activity in the parietal cortex predicts the effectiveness of bilateral transcranial direct current stimulation on performance of a mental calculation task. Neurosci Lett,545:86-90,2013 Apr 27
- 3) Yamada N, Kakuda W, Senoo A, Kondo T, Mitani S, Shimizu M, Abo M: Functional cortical reorganization after low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy for upper limb hemiparesis: evaluation by functional magnetic resonance imaging in poststroke patients. Int J Stroke. 8(6):422-9, 2013 Aug
- 4) Fukunaga, I., Hori, M., Masutani, Y., Hamasaki, N., Sato, S., Suzuki, Y., Kumagai, F.,Senoo, A.: Effects of diffusional kurtosis imaging parameters on diffusion quantification . Radiological Physics and Technology ,6(2):343-348,2013 Jul

## 総説・解説

- 1) 黒野 昭彦, 月本 洋, 岡本 智幸, 菊池 吉晃, 妹尾 淳史: ノンパラメトリック線形回帰分析を用いた脳の賦活領域の検出. 電子情報通信学会論文誌,96(11):2838-2844,2013.11

## 国内学会発表

- 1) 佐野 雄一郎, 妹尾 淳史: f-MRI による速読・速聴時の脳機能活動に関する研究, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集 70 回 Page267(2014.02)
- 2) 松田 雅弘, 新田 收, 藤本 泰成, 妹尾 淳史, 木下 正信, 古川 順光, 楠本 泰士, 多田 裕一, 小山 貴之: 長時間の単純計算課題が脳活動とプロラクチンに与える影響について 機能的 MRI による検討. 日臨床神経生理学,41(5):487,2013.10
- 3) 小菅 正嗣, 鎌形 康司, 本井ゆみ子, 堀 正明, 増谷 佳孝, 福永 一星, 濱崎 望, 下地 啓五, 鈴木 通真, 鈴木由里子, 佐藤 秀二, 吉田茉莉子, 青木 茂樹, 服部 信孝, 妹尾 淳史: 带状束の拡散パラメータ測定による AD, DLB の鑑別. 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:341,2013
- 4) 福永 一星, 錦織 瞭, 堀 正明, 増谷 佳孝, 熊谷 文孝, 鈴木由里子, 濱崎 望, 佐藤 秀二, 芳士戸治義, 鎌形 康司, 青木 茂樹, 妹尾 淳史: 拡散時間の変化が Diffusional kurtosis imaging(DKI) に与える影響. 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:363,2013
- 5) 熊谷 文孝, 堀 正明, 増谷 佳孝, 桂 正樹, 鈴木 通真, 福永 一星, 錦織 瞭, 濱崎 望, 鎌形 康司, 佐藤 秀二, 鈴木由里子, 吉田茉莉子, 新井 一, 石井 尚登, 近藤 聡英, 青木 茂樹, 妹尾 淳史: 神経膠芽腫における, DKI を用いた各組織の拡散定量値の比較(voxel by voxel study). 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会 講演抄録集:368,2013
- 6) 白谷 智子, 新井 光男, 新田 收, 松田 雅弘, 多田 裕一, 妹尾 淳史, 柳澤 健: 固有受容性神経筋促通法の骨盤前方挙上パターンの中間域での静止性収縮が手運動野の脳活動に及ぼす影響 機能的 MRI における検討, 理学療法学 40 巻大会特別号 3 PageS-A 運動-001(2013.05)

## 著書

- 1) 医用放射線辞典 第五版(医用画像情報学部分を担当), 共立出版, 2013.

## 総説・解説

- 1) 乳井嘉之: 第 105 回日本医学物理学会(JSMP)学術大会レポート. INNERVISION, 28(6), 18-22, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 乳井嘉之: 逐次近似的画像再構成法を用いたトモシンセシスの映像化に関する基礎的研究. 第 106 回日本医学物理学会学術大会報文集, 医学物理, 33(3):123, 2013.
- 2) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ヘリカルCT装置のレーザー光による教育用模擬システムの構築, 電気学会基礎・材料・共通部門大会抄録(12-P-1), 438, 2013.
- 3) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光によるヘリカルCT装置の教育用模擬システムの構築, 電気学会全国大会抄録集料(1-010), 13, 2014.

## 研究助成

- 1) 乳井嘉之(研究代表者): 平成 25 年度 研究代表・基盤研究(C)「デジタルトモシンセシスを模擬した教育用シミュレーションツールの作成」, 採択.
- 2) 乳井嘉之(研究分担者): 平成 25 年度 研究分担・基盤研究(C)「ヘリカル X 線 CT 装置のレーザー光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発」, 研究代表者: 小倉 泉, 採択.

## 原著論文

- 1) T. Numano, K Hyodo, N Nitta, J Hata, N Iwasaki, K Homma: Apparent Diffusion Coefficient Mapping using a Multi-Shot Spiral MRI Sequence of the Rat Brain. Open Journal of Radiology 2014;4:13-24
- 2) Numano T., Kawabata Y, Mizuhara K, Washio T, Nitta N, Homma K: Magnetic Resonance Elastography using an air ball-actuator. Magnetic Resonance Imaging 2013;31:939-946 (Impact Factor 2013: 2.022)

## 国際学会発表

- 1) T. Numano, J. Hata, K. Mizuhara, K. Takamoto, T. Washio, H. Nishijo, K. Yagi, and K. Homma: April 20-26,2013 Salt Lake City USA: Simple MR Elastography: A Gradient-Echo type Multiecho MR Sequence. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 21th Annual Meeting & Exhibition, 2437
- 2) Hata Junichi, Numano Tomokazu, Mizuhara Kazuyuki, Washio Toshikatsu, Takamoto Kohichi, Homma Kazuhiro, Yagi Kazuo, Yano Keichi, and Ohtomo Kuni: April 20-26,2013 Salt Lake City USA: Analysis of the Stiffness Anisotropy Structure Using MR Elastography in the Skeletal Muscle. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 21th Annual Meeting & Exhibition, 3514

## 国内学会発表

- 1) 沼野智一: 2014年3月 東京 JST 発新技術説明会 第3回ライフイノベーション分野(創薬,医療技術)「MR エラストグラフィによる生体組織弾性率計測と新しいMR エラストグラフィ機器の開発」
- 2) 沼野智一, 高本孝一, 西条寿夫, 川崎一朗, 甲斐範光, 片桐秀樹: 2013年11月 東京 第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会「MR エラストグラフィによる大腰筋弾性率計測の試み」
- 3) 沼野智一, 水原和行, 川畑義彦, 鷺尾利克, 本間一弘: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「潜在的なMR Elastography 利用者を増加させるための技術開発」
- 4) 沼野智一, 高本孝一, 川崎一朗, 甲斐範光, 水原和行, 西条寿夫, 鷺尾利克, 本間一弘: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「簡易的MR Elastography による大腰筋硬度計測の試み」
- 5) 森田俊之, 沼野智一, 三澤雅樹, 新田尚隆, 兵藤行志, 本間一弘, 佐藤昌憲: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「Autopsy imaging による組織内変化の経時的計測」
- 6) 服部峰之, 加賀尚博, 平賀隆, 沼野智一, 兵藤行志, 本間一弘, 大竹紀夫: 2013年9月 徳島 第41回日本磁気共鳴医学会大会「多孔質体上を連続フローさせた超偏極 129Xe による吸着相 Xe のNMR」
- 7) 沼野智一, 高本孝一, 川崎一朗, 甲斐範光, 水原和行, 新田尚隆, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「Magnetic Resonance Elastography による大腰筋弾性率の計測」
- 8) 沼野智一, 堀江常満, 村上克彦, 森谷浩史: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「胸部 Computer-Assisted Detection (CAD)ソフトウェアの性能評価に関する提案」
- 9) 新田尚隆, 青木孝子, 沼野智一, 三澤雅樹, 兵藤行志, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「超音波とMRI の画像計測に基づく軟骨音速の非侵襲評価法」

- 10) 服部峰之, 沼野智一, 兵藤行志, 本間一弘: 2013年8月 東京 第32回日本医用画像工学会大会「超偏極キセノンMRIによる呼吸器機能の画像診断」
- 11) 沼野智一, 畑純一, 水原和行, 高本幸一, 鷺尾利克, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「Magnetic Resonance Elastography by using a Multi-echo MRI sequence」
- 12) 沼野智一, 堀江常満, 松浦孝俊, 村上克彦, 森谷浩史: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「撮影パラメータが肺野内結節自動検出ソフトウェアのGGO検出能に及ぼす影響」
- 13) 根本道子, 加藤洋, 沼野智一, 越沼沙織, 山本康義, 山岸宏造: 2013年4月 横浜 第69回日本放射線技術学会総会学術大会「特殊繊維素材の軟X線遮へい効果の検討」

#### 研究助成

- 1) 沼野智一: 科学研究費補助金 基盤(C) 研究代表者「新しいMRエラストグラフィ技術の実用化に関する研究」2013-2015
- 2) 沼野智一: 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)FS 探索タイプ 研究代表者「新型 MR Elastography 加振動装置の試作と実用化の検証」2012-2013
- 3) 岩崎信明, 大和田浩子, 木戸達之, 沼野智一: 科学研究費補助金 基盤(C) 研究分担者「運動機能障害におけるエネルギー必要量の算出法の確立-二重標識水法と間接熱量測定法」2011-2013

#### 受賞

- 1) 沼野智一, 畑純一, 水原和行, 高本幸一, 鷺尾利克, 西条寿夫, 本間一弘: 2013年4月 第69回日本放射線技術学会総会学術大会 CyPos 賞 銀賞「Magnetic Resonance Elastography by using a Multi-echo MRI sequence」

#### 特許

- 1) 沼野智一, 川畑義彦: 2013年10月4日: 特許第5376593号: 特許権者 公立大学法人首都大学東京, 高島製作所株式会社。「磁気共鳴エラストグラム(MRE)の作成方法及び作成装置,並びに磁気共鳴エラストグラム(MRE)作成用のボールパイプレータ」

#### 講演

- 1) 2014年2月7日 東京 平成25年度東京都立病院放射線技師会勉強会「fMRI & MRE -MRIの基礎とMRエラストグラフィ-」

## 国際学会発表

- 1) Myojoyama and H.Saitoh: Improvement of CBCT Image Quality using Electron Mode of Linear Accelerator, ICCR2013(Melborne), 2013年5月.
- 2) Myojoyama and H.Saitoh: Megavoltage CBCT using Electron Mode of Linear Accelerator, ICCR2013(Melborne), 2013年5月.

## 国内学会発表

- 1) 明上山温, 齋藤秀敏: A Improvement Method for EPID Images using Electron Mode of Linear Accelerator, 第105回日本医学物理学会学術大会, 2013年4月.
- 2) 針生将嗣, 明上山温, 齋藤秀敏: MVCBCTによる高画質再構成の基礎検討, 第106回日本医学物理学会学術大会, 2013年9月.
- 3) 明上山温: EPID Simulation using A Simple Monte Carlo Method, 第106回日本医学物理学会学術大会, 2013年9月.

## 原著論文

- 1) Inoue, K., Hosoda, M., Tokonami, S., Ishikawa, T., Fukushima, M.: Investigation of radon and thoron concentrations in a landmark skyscraper in Tokyo. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry 298:2009-2015, 2013.
- 2) Inoue, K., Fukushima, M.: Current status of hypoxia imaging in cancer therapy. Radiation Biology Research Communications 48:364-374, 2013.

## 著書

- 1) 井上一雅: 法令. 福士政広編, 第2種放射線取扱主任者マスター・ノート:165-247, メジカルビュー社, 東京, 2014.

## 国際学会発表

- 1) Inoue, K., Umeda, I.O., Fukushima, M., Fujii, H.: In vivo high quality SPECT imaging of mouse brains using I-125 labeled compounds. European Association of Nuclear Medicine, 2013.

## 国内学会発表

- 1) 大脇由樹, 成田浩人, 福士政広, 井上一雅: 塩化ストロンチウム注射液に含まれる Sr-85 の特性X線について. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会:2013.
- 2) 井上一雅: The usefulness of fully three-dimensional OSEM algorithm on lymph node metastases from lung cancer with  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会:2013.
- 3) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価法の検討. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 4) 三浦沙紀, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故における昆虫汚染調査. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 5) 前寺郁彦, 佐野亮介, 梶山皓子, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 6) 森山ひとみ, 成田浩人, 大脇由樹, 井上一雅, 福士政広: 塩化ストロンチウム( $^{89}\text{Sr}$ )注射液に含有するストロンチウム-85 による画像化に関する検討. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 7) 依田隆史, 井上一雅, 福士政広: SPECT/PET 兼用装置を用いた基本性能評価. 第67回日本医学放射線学会東京部会春期学術大会:2013.
- 8) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅: 昆虫へ放射性セシウム汚染の調査. 第23回日本保健科学学術集会:2013.
- 9) 福士政広, 清水秀雄, 井上一雅: 伊豆大島の環境放射線の推移. 第23回日本保健科学学術集会:2013.
- 10) 加藤誠二, 関本道治, 関根芳晴, 竹内幸浩, 西田克次, 福田実, 矢野敬一, 井上一雅, 福士政

広:  $^{18}\text{F}$ -FDG-PET/CT における画質評価指標の検討. 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会: 2013.

- 11) 井上一雅, 梅田泉, 福士政広, 藤井博史: I-125 標識化合物を用いたマウス高画質 in vivo SPECT イメージング. 第 53 回日本核医学学術総会: 2013.
- 12) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: Sr-85 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み. 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会: 2013.

#### 研究助成

- 1) 井上一雅: 文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B), 多機能分子プローブの開発による術前・術中センチネルリンパ節同定検査の統合.
- 2) 井上一雅: 首都大学東京傾斜的研究費(若手奨励), 高分解能 I-125 SPECT/CT イメージングの確立とマウス脳機能解析法の開発.
- 3) 井上一雅: 財団法人がん研究振興財団がん研究助成金, 術前・術中センチネルリンパ節同定検査の統合を目的とした多機能分子プローブの開発.
- 4) 井上一雅: 首都大学東京傾斜的研究費, 福島第一原発事故の影響による小生物のセシウム汚染の調査研究(分担).

#### 受賞

- 1) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 優秀ポスター賞, Sr-89 放出ガンマ線を利用した Sr-89 注射液のイメージングへの試み, 第 33 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2013.
- 2) 大脇由樹, 井上一雅, 成田浩人, 福士政広: 最優秀学生賞, 塩化ストロンチウム注射液中に含まれる Sr-85 の特性 X 線について, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013.





首都大学東京 健康福祉学部 研究費評価・配分委員会部会

部会長	木下	正信	(学部長)
委員	飯村	直子	(看護学科長)
委員	池田	誠	(理学療法学科長)
委員	石井	良和	(作業療法学科長)
委員	福士	政広	(放射線学科長)

登録番号(26)48

平成25(2013)年度研究年報  
(第10号)

平成26年1月発行

編集発行 首都大学東京 健康福祉学部  
〒116-8551 東京都荒川区東尾久7丁目2番10号  
電話 (03)3819-1211

印刷 東京都荒川区西日暮里5-7-2  
〒116-0013 株式会社マステック  
電話 (03)3802-4371



古紙配合率70%  
再生紙を使用しています。